

統合データ2023年度版：

【自由記述】現在子育てをしながら、子どもが生まれる前には「想定していなかった」「知らなかった」ということがありましたら、ぜひお書きください。（子育て期）

朝早く起きること(子どもの母親（1人目）、20代前半、0歳0か月-0歳5か月)

授乳でこんなに悩むとは思わなかった！

<自治体名>の子育て支援がこんなに手厚いと思わず、調べて使えるサービスが多くて助かってます！(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)

睡眠不足(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)

授乳室が意外と身近なスーパーにもあり、気軽に利用ができるのでお出掛けがしやすい。産まれる前までは目にも留まらず、街中のあちこちに授乳室があることを知らなかった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)

駅や施設にベビーカーで行った時に満員で乗れない。何度も見送っています。

電車とホームの間が広くベビーカーの車輪も落ちやすいです。

<地域名>に比べて<地域名>は授乳室やベビールームが少なく出かけるのには億劫です。

また授乳室も奥まった所にあたりカーテンの仕切りのみだったりするので防犯面が不安です。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)

赤ちゃんはおっぱいが好きでうまれたらすぐに吸うものだと思っていた。練習が必要なことは知らず、母乳もすぐに出るようになると思っていたし、乳首に吸いやすい吸いづらいがあるのも知らなかった。母乳育児が難しいものだとは知らなかった。

新生児は飲んだら寝るものだと思っていた。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子育てにかかる費用(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子育て向けのサービスがいろいろあること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

母乳育児の難しさや、寝かしつけ、抱っこぐせの大変さは知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

特になし(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子どものお世話の仕方について、ほとんど知らないまま、産院を退院して、子どもとの生活に入ること。大変戸惑いました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

寝れないこと。一日のスケジュール。産んでからが大変な日々の始まりだったということ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

こんなにも手続きが多くて、やることが多いのは想定していなかった。子供を連れて外出することのハードルの高さも実感している。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

産後ケアを行なっている産院があること。

また事前に見学できる施設もあることを

自分の通っていた産院の助産師さん教えてもらって初めて知った。おかげで産前に1件見学へ行き、雰囲気などを知ることができてよかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

赤ちゃんは、思っていたよりしっかりしていて、意志の芽生えが早くて、大人の言っていることが分かっているような風をかもしたので、赤ちゃんって不思議〜！ということがたくさんあります(´▽`(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
最近子どもを連れて外に出かけることが増えたので、赤ちゃんでも遊びにいける場所やイベント情報、子連れOKなレストラン、美容院、病院などの情報を積極的にネットや広報誌で調べています。家の近くにこんな場所あったんだ！と今まで知らなかった発見が多いです。 また、ベビーカーで出かけることも増えたのですが、普段利用している道がベビーカーでは通れない道ということを知り、エレベーターの場所を事前に調べてから外に出かけるようになった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
全てです。赤ちゃんがどんなふうに成長発達するのか、親がどんなに大変か、、、ひと月ごとでこんなに違うとは、こんなに親が疲れるもののだとは、同時にこんなに幸福なもののだとは思いませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳育児がいかに大変か。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
覚悟はしていたつもりだが、子育てをしながら働くことへの不安が強くなった。現在は産育休中なので比較的ゆとりをもって生活できているものの、職場へ復帰すると果たして生活が成り立つのだろうか？と思う。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ほとんど知らないことばかりでした。 なので、LINEで赤ちゃんの情報が送られてくことはとても役に立っています。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子育てがこんなに大変で、自由がなくなること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の心身の疲労が想像以上に辛かった。退院後から産後ケアを速やかに受けれるサービスがあると嬉しい。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に子供中心の生活に変わるということを母親になって初めて実感した。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
児童館など子育て広場でイベントを開催し、保護者が行きやすい場作りがされている。ただ、同じ曜日に偏りがあり、改善点は多い。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんは授乳後すぐになると思っていた(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
外出のしづらは想定していなかった。家の周りは坂が多く、ベビーカーでも抱っこ紐でも移動の負担が大きい。 最寄りのショッピングセンターのスーパーやパン屋も狭かったり、授乳室がなかったりと、子育てしだしてから不便さに気がついた。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
おむつ、粉ミルクの出費がこんなに負担だと思っていた。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
実家や義実家に気軽に子を預けられる状況・環境ではなかったこと。子の生活リズムや発達状況を常に共有していないので預けることに不安がある。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
知らないことばかりでこんなに鼻が鳴ったり、自力で寝ないのは知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ここまでしんどいとは思わなかった！(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
成長の速さ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

保育園が点数方式の割り振りだということ。 歩道がガタガタで歩きづらいこと。 駅がエレベーターを使って利用するのが時間を取られること。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
出産前には、出産そのものに意識がむいていて、その後の生活の想定は極めて少なかったように思います。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳について(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
モロー反射で眠れないこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
夫が思っていたより仕事がハードになってしまい、助けを求めにくい。言えば仕事を休めると言っていたのに無理。自分の仕事復帰のタイミングが全然掴めない。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳のあげ方 母乳をあげる前のおっぱいの準備(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんはすーっと眠るのが難しいこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんはもっと寝るものだと思っていたが、日中寝なくてびっくりしました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
特になし(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳やオムツ換えできる場所を意識してなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳が中々出ない事。授乳の大変さ。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の手続きの複雑さ。早期から検討しなくてはならない。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
地域でいろんなイベントが企画されている事。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
世の中のお母さん達のすごさ。＜地域名＞、＜地域名＞付近に授乳室がない。赤ちゃんを連れてると声をかけてもらえること。赤ちゃんが泣くとお母さん達はすごく気を使わなければならないこと。行く場所が限定される。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の身体がこんなにも不自由だとは思いませんでした。もっと子どもの頃から男女共に学校教育して欲しい。なぜ見てみぬ当たり前がまかり通る社会で未だいるのか不思議です。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供が産まれる前は「子供がいなくても今が楽しいから子供を産む必要性」などを考えてましたが、産まれて来てくれて「必要性」などという言葉では説明できない楽しさや幸せ感を実感出来ています。今は子供がいらない生活が考えられないくらい産まれてきてくれてありがたうという気持ちでいっぱいです。 この気持ちは子供が産まれてきてくれなかったら一生感じることはなかったと思います。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
身体のしんどさ。 自分1人の時間がとても少ないこと。 子育て中は完全な休憩がなく、昼も夜も子供の世話が必要で心身が疲弊していくこと。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
お金に余裕があればいいのになあとは思いますが。 子供を増やして欲しいのであれば、児童手当を月10万ぐらいもらわないと異次元じゃないと思います…(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

保育園で風邪などの感染症をもらってることが想像以上に多いこと。また、その風邪が他の家族にうつらないように対策するのが困難であること。(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産後のサポートは充実しているが、産前のサポートはあまり充実していない。切迫早産で入院しているとき、夫が仕事をしながら第一子をワンオペ育児していて、とても申し訳なかった。 状況に合わせて産前から育休を取ることができればいいのにと感じた。(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
病気で心配事が増えるかと思いきや、広範囲によるアザで見た目的な心配事を抱えています。完全には治らないと聞いているので、そういう悩み事が自分に降りかかるとは想定してなかったので、ショックを受けています。(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
寝れないこと、1人の時間がほとんどないことがこんなにしんどいと思わなかった。 苦手だと思っていた子どもが、こんなにかわいいと思わなかった。(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
・新生児は飲んで寝てが基本だと思っていたので割と起きていることにおどろいた ・育児給付金で受け取る金額が働いてる頃の手取り金額とさほど変わらない(働いてる時の税金取られすぎ) ・保育園入所申し込みで、「就労」項目で申し込みしたのちに出産、育児休業より保育園を継続することは認められているのに、「妊娠」項目で申し込みすると産後休暇終えた時に保育園をかならず退園しなければならないこと(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
上の子の赤ちゃん帰りなど(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもの成長が一定でないこと。(急にできるようになる時期が来るのであせらなくてよいこと)(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
病児保育のお迎え時間が早いので仕事で間に合わない(子どもの母親(2人以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳については子供が生まれてから経験をもっていろいろ学んだ。 子供の健康に関すること、例えば予防接種や熱を出した時の受診の判断、中耳炎にかかりやすいことなども子供が生まれてから知った。(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
単体児と多胎児を育ててみて、オムツとミルクの消費量が全然違うと知りました。 その2種類で月に5万円ほどかかっています。助成が少しでもあったらと感じました。(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
自分の時間がほぼとれないこと。 エレベーターの場所の確認をよくする。 意外と近くになかったりして不便。 小さい子を連れて長時間外出することの不安やコロナ禍の中、外出先でのおむつ替えなどに抵抗を感じたりすること。(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
娘の鼻詰まりがひどくなり病院を受診した際「赤ちゃんは鼻でしか空気を吸えないから鼻詰まりがひどくなると酸素が取り込めず良くない」と言われました。 鼻が詰まれば口で息ができるじゃない、と、思っていたので、とても驚きました。 これからは気になったらすぐ病院で吸引して貰おうと思いました。(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
背中スイッチがあること 授乳をやめると夜中起きなくなると聞いていたが、授乳を辞めても、夜中起きる子は起きるのだと知った(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
・予防接種の大変さ ・2人育児は想像していたよりも大変でした(子どもの母親(2人以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

保育料が予想より高い。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
夫の育休が数日間しか取りにくい。 赤ちゃんは眠けてもすぐ寝ない。 産後の体型が勝手には戻らない。 オムツは長時間吸収とうたっていても、不快感があり泣き続けるため頻繁に交換が必要。オムツ代やミルク代で1万以上かかる。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに寝れないとは知らなかった 陣痛の痛みが知らなかった(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
長女を産んだ3年前よりも、いろんな制度が増えていた！驚き！ また、子どものお世話については、泡沫浴、ヘソ消毒もなくなったりと、いろいろ変わっていた！(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
BCGが集団接種ではなくなったこと(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供にかかる諸々の費用(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子育て中の悩みへの対処法を調べてみると、様々なアドバイスに出くわすことが多く、結局どうすればいいのかわからない、ということがあまりに多いことを想定していなかった。 例) 母乳と粉ミルクは混ぜても良い/ダメ 母乳は吐いてでも飲ませる/2時間ほど間を開けて与える K2シロップは1ヶ月3回/3ヶ月10回飲ませる など(子どもの父親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育所について。(子どもの父親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
外出が難しくなること。(両親のどちらかが面倒をみるか、誰かに預けるか、もしくは連れていくか)(子どもの父親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもの成長について個人差が大きいこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園にこんなに入りにくいと思ってなかった(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 一つ一つの行動・発達について心配、不安になること。 離乳食が想像以上に大変なこと。(食べてくれないので余計に)(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 産褥期は自分が出産前に想像していたものよりはるかに辛いものだった(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 保育園に入ると特に最初の2ヶ月は頻繁に熱を出すので、慣らし保育期間が1ヶ月だと足りない場合があること。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 保育料が自治体によって違うこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 働く上でも日常生活のスケジュールを立てる上でも、睡眠や食事のタイミングなど、子供の生活リズムに意外と縛られてしまうこと(悪くは捉えていないですが、予想以上でした)(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月) 保育所に入ったら1ヶ月内に就労・復職しなければならない事(知らなかった)(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月) 産後の心身のケアについて(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

保育園に預け職場復帰するための具体的スケジュールや二人目を希望する場合の復帰スケジュールや二人目の産休育休スケジュールのこと。それに関わるお金のこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
・産婦人科によって助産師さんの数や部屋の大きさ等が異なり、過ごしやすさも全然違うということ ・授乳の大変さ(母乳がすぐ出るわけでないということ、乳腺炎やその他母乳トラブル) ・自宅近くの希望する保育園は人気があり、受からないかもしれないということ(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーになった途端、移動時の制限がとて増えること。これまで何も意識していなかった少しの段差や数段でも階段があるだけでとても大変になる。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園等について 特に認定こども園は自分の時になかった制度なので知らないことばかりで驚きました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
意外とお金がかかる！(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
待機児童ゼロというので、一歳でも第五希望まで書けばどこかには入れるのかと思っていましたが、実際は「通いたい園」に入れるかは運次第、「現実的に通える距離の園」に入れるかも運次第、小規模に入れても卒園後3歳から確実に入れる園があるわけではない…と、3歳以降のことまで考えて保活をしなければならないというのは想定外でした。 また、保活を始めてから知ったことですが、各園の施設・設備や教育・保育サービスの差の大きさも想定外でした。園によっては追加徴収金もありますが、基本的に同じ保育料を払うというのを疑問に思うほどでした。 妊娠中に区役所で相談した際、0歳4月からの入園を勧められたため、当初は半年で復職するつもりでしたが、離乳食も始まったばかりの生後半年で、自身の身体もまだまだボロボロ、夜も眠れない…少なくとも私自身としては、とても安心して預けられるような状況では無かったのも、想定外でした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出かけるたびに、駅の作りや商業施設が赤ちゃん連れ又はベビーカー連れだと不便で、子どもを持つまではまったく気にしたことがなかったので割と驚きました。具体的には、エレベーターの場所、駅のホームがバリアフリーじゃないこと。 先日訪れた、＜施設名＞の全フロアのトイレにおむつ替えシートや授乳部屋がなかったこと。 妊娠中の通勤や、今現在赤ちゃん連れで出かける際に電車に乗ると、優先座席にサラリーマンが堂々と座っているので、もっと子育て世帯に優しい街だと思っていたのがっかりしました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳できる場所が少ない。＜駅名＞前のように、休日でも使える授乳スペースがあると便利。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに毎日しんどくて疲弊するとは思ってもみなかったです。自分の子どもに対して食べたいくらい可愛いと思うことが普通だと思っていましたが、実際はそう思うことがあまりなく、子育ても仕事のような感覚でやっていることは想定していませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ふらっとひろばや児童館などの活用法(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供がこんなに可愛いとは思わなかった。ニュースやSNSでは子育ては辛く苦しいことだという発信がほとんど。 もっと子育てをポジティブなこととして発信してほしいし、その為の社会のありかたを考えるようになった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想定していないことばかりです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)

・食べ物が喉につまる危険があること ・昼寝をしないと夜泣きに繋がるということ ・子供の寝相が悪く、夜中に心配で何度も自分が起きてしまうこと ・子供服、肌着のバリエーションが多くて難しいこと ・仲の良かった旦那を嫌いになること
毎日が想定外の連続です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子育て中は同じ月齢の子のママとのつながりや存在がとても助かるし楽しいとは思っていなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
生後3ヶ月が泣きのピークだと言うこと。 生後2ヶ月までは実家に帰っており、いざ日中子供と二人きりの生活が始まる！と思ったとたんずーっと泣きっぱなし。精神的にかなり参りました。産後実家に帰るなら3ヶ月くらいまでいた方がいい！（予防接種のスケジュールもあるので悩ましいですが） 離乳食の進め方も分かりません！ 硬さ、大きさ、大丈夫なのか？とビクビクしながらあげてました。 産後すぐの支援はたくさんありますが、幼児期の支援はあまりない事。 遊ぶ場所はあっても、悩みを聞いてもらえる場所が少ない気がします（子育て応援プラザくらい？） 乳児期の肌荒れがアレルギーに繋がるという事(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想定している以上に大変(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
精神的な負担が大きく、自分がしっかりしないといけない(健康面など)というプレッシャーを感じる。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園入園が決まった途端ミルク拒否が始まり、仕事復帰したものの授乳のために中抜けせねばならず、本当に予想外でした。可愛さも想定以上です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
地域にある子育てサポートの様々な仕組みや場(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
全てです。生活リズムも様々なお世話も離乳食も、育児雑誌やSNSで予備知識をつけたつもりでしたが、十人十色、千差万別とはまさにこのことかと実感しています。妊娠から出産、産後、赤ちゃんとの過ごし方の現実などについて、小中高で医師や助産師からきちんと教わる場を設けるべきだと思います。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーでは行きづらい場所、歩きにくい場所がたくさんある(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
お食い初めの仕方。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
産まれた時から保湿をしっかりすることでアレルギーが軽減出来るかもしれないなんて妊娠するまで知らなかったですし、ベビーパウダーも今は使わないなんてビックリでした！(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育ての大変さは想像以上でした。夜中にこんなに寝られないとは思いませんでした(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
便利な道具が子供の発達に影響すること。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにお金がかかるとは思いませんでした。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)

こどもの発達のこと、 子供の預け先が簡単見つからないこと。 お金のこと等。 知らないことだらけでした。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産後の母親の大変さ、子育ての大変さ 子ども第一になり自分の時間がない 孤独になりやすいところ(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
学童に入らない可能性がある(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
上の子と下の子の生活リズムのすり合わせが難しい。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
兄弟でもこんなに個性があって違いが大きいこと。寝る子寝ない子、食べる子食べない子、慎重な子大胆な子、それぞれ心配はあるけどその子のペースで成長すること。病気や言動なども気になることがあれば、病院や周りの人に相談すること。周りの協力は自分から助けを求めなければなかなか得られない。自分一人で頑張る必要は無いが、助けたくてもヘルプを出さねば助けにくい状況である場合もある。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳室の場所。家から児童館が遠いこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに可愛いと思わなかった。小さい頃から保育園に預けて働くことがとても寂しく感じた。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
全部。 産んでみないとわからないことばかり。 第一子と第三子は10歳開いたので 第三子は可愛いしかない。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
<自治体名>がいろいろな子どものイベントや支援をしているということ。 保育園などの入園しにくい年齢があるということ。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園にこんなに入りにくく、育休期間がのばせないのが、現実であることは知らなかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育所に入る手続き等がこんなにわかりにくいと思わなかった(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産前産後に保育園へ預けられることや、第二子第三子への助成金制度など全然知りませんでした。また、処理してもらうの時間がかかりかかること。書類を提出して2ヶ月後にしか保育園へ預けられなくて、結局出産が早まり生まれてからになりました。つわりもあるし、もう少し手続きが簡単で処理が早くなればいいなと思いました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
すべて。母乳がこんなにも出ないものかという焦り。産後の母体の変化。離乳食の大変さ。季節に応じた洋服の種類や着せ方。こどもとの外出やベビーカーでの外出が大変なこと。保活が複雑で大変なこと。育休中の孤独感や取り残されている感じ、保育園に入れるのかなど不安を抱えて過ごすこと。こどもの成長は楽しみではあるが、産前までは子育てについて何も知らなかった知ろうとしなかったと今は思う。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想像を遥かに超えて可愛かった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
妊娠出産にかかる費用が想像以上に多大であること。出産後も教育費など、ぴんきりですがすごい額のお金がかかり、3人以上産む選択は難しいと感じることは当たり前だとようやくわかりました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
<自治体名>は児童館が多いこと(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)

子どもが保育園をこんなに嫌がると思っていなかった。（家が大好き） 夜、こんなにも何度も起こされると思っていなかった。常に眠い。。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
思ったより、風邪をひく（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
保育園に行くとは病気をもらいことはあると思いますが、こんなに頻繁に体調を崩してしまうとは思いませんでした。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
年少扶養控除が廃止されていたこと 両親がフルタイムで働けば奨学金が借りれなくなる可能性があること（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
保育園や幼稚園、小学校について。行事や金銭面など考えていたものと違うことが多かった。 働きながらの子育て。ものすごく心身ともに大変だった。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
保育園の待機児童と保留児童の意味が違う点。（子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
保育園がここまで激戦だとは思わなかった。住んでいる地域の方が優先になるかと思っていた。勤務形態による点数制なこと、保有点数が高ければ、他区から跨いでの入園でも優先されることなど。（子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
思ったより金銭的な負担が大きい。 子供の成長があまりにも急で驚く。 特に～3ヶ月くらいは全くと言っていいほどなので気力が持ちにくい。（子どもの父親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
育休は楽しいものと思っていたがめちゃくちゃ大変だった 子供の外見やどちら似か、発育等に対して義両親でも意見や感想ですら言われるとイライラしてしまうことがあって自分でも驚いた 夫婦で育休をとって楽しい時もあるが1人の時間がないと息が詰まるし、お互いに家事育児を監視しているような感覚になり疲れてしまった、そのことを認めて定期的にお互い外出したり部屋にこもってもいい曜日を決めた。 子供と一緒にいるより妻と一緒にいる方が息が詰まったり、会話するのも嫌になる時があるのは想定していなかった。1人の時間や家族を離れた息抜きは夫婦共に必要だと思った。（子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
保育園の種類や場所。食べ物の禁忌。（子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
仕事を辞めるようになること（子どもの母親（1人目）、20代前半、1歳0か月-1歳5か月）
保育園の申し込みや探し方、医療関連（子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月）
会陰裂傷の傷は一年経っても時々傷んだり、骨盤矯正に行かないとどうしても腰を痛めてしまったり、自分の場合は歪みの影響でヘルニアになった事。（子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月）
保育所関連の手続きの煩雑さ、離乳食・幼児食の用意の大変さ（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
ほぼ全てです（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
子どもがいると、夜泣き等睡眠が中断されるのは聞いていたが、休日の朝でも早起きしなければならない（子どものために、生活リズムを整える意味でも）こと。（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
保育園に行き始めたらいきなり頻繁に病気する。（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）

想定以上に産後の育児が大変なこと。 産後うつは夫婦共々なりうること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
夜中に起きることもあるし、離乳食もスムーズに食べてくれないし、思うようにいかないことが多く、こんなに子育てが大変だとは知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
思ってる以上に保育園にお金がかかること なぜ3歳までは無料じゃないのか 育休で手当でるのは1才までののに、それなら3才まで手当出してほしい(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
・自分自身や夫が体調不良の時の対応が大変。 ・育休中、用事で預けたい時の預け先がなかった(一時預かりが満1才からだだったので利用できずだった)(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供がこんなにかわいいこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
育児よりそれに付随する家事の方が大変だということ(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
胸が想像以上にしぼむこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
後追いを見てると可愛いと思ってたがいざ自分がされると逃げ場が無くなる。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
1歳児入園の難しさ。特に第1子は夫婦ともフルタイムでないと点数的に厳しいということを知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもの成長はみんなそれぞれでゆっくりの子も早い子もいるのと思っていたのに、実際子育てしてみると周り比べて、あれもできないこれもできないと心配になるとは思っていなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
すべて(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
0歳から5歳まで通えるこども園があるということを初めて知りました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
思った以上に自分の時間が無い。 保育園に入る難しさ、早まり生まれの子の保育園入りにくさを実感した。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
いつでも保育所に預けて働きに行けると思ってたのに、近くの保育園はいっぱいで、簡単に社会復帰できないところ。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもの可愛さ 公共機関のベビーカーでの移動の面倒さ(エレベーター探し、)(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てが、こんなに過酷とは思わなかった。 体調不調でも、子どもの世話があるし、行事や予防接種など、やることがたくさんある。また、仕事始めて両立のしんどさは、想定してなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
想定していなかったこととして、小学校学区。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもは突然熱を出す(体調を崩す)ということ。以前働いていたとき、お子さんを持つパートの方が当日の朝に子どもの体調不良を理由に欠席するとの連絡を頻繁にされることがあり不信感を覚えていました。今ならお気持ちを解ってあげられたように思います。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
街に段差が多く、ベビーカーだと目的地まで大幅に遠回りすることが多い(例:駅で西口にはエレベーターがあるが、東口にはない)(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

保育園に希望通りに入れない 兄弟別の園になることもある(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
医者に子供の容体をみてもらうタイミング(子どもの父親（2人目以上）、40代後半、1歳0か月-1歳5か月)
出産育児では想定外のことが多々ありますが、最近は特に子供を連れて出かけることのハードルの高さを痛感しています。ただ、調べてみると子供と遊べる場所はあちこちにあり、公的なあそび広場なども活用させていただいています。また、予防接種をはじめ医療機関にお世話になる頻度も高く、病院選びにはとても悩みました。(子どもの祖父母、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園に行き出してから、子供の不調の連続には、ここまでとは想定していなかった。コロナのせいもあるのだろうけど、保育園がいまだに、保護者1名しか中に入れず、この先の参観や行事を観れないのかと思うと悲しくて仕方ない。(子どもの祖父母、60代以上、1歳0か月-1歳5か月)
子供に対する扶養控除がない 保育料が高すぎる(高年収世帯ではないのに6.6万円)(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
近所の公園の数や、年齢に合った遊具の有無が結構重要だなということ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもや夫、自分に対しても、思ったよりイライラすることが多い(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
病気の時に病院を受診する大変さ。小児科や整形の少なさ？(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
育休中の家計が厳しいこと。 育休が取れる間はしっかりとりたいが、家計の問題で復帰をするか悩む。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
寝かしつけに思った以上に時間がかかること 思った以上に子どもに体力があって、公園で子どもが走っても追いつけないこと 外が好きな子どもの雨の日の過ごし方に困ること 公園に行っても公園の外に行きたがって、車道に飛び出そうとすること 街中のゴミを何でも拾って口に入れること(公園のゴミが多すぎる)(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに自分の時間が無いとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
休日保育してくれるところが少ない(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
思いのほか、自分の時間を確保することが至難な技なところ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
仕事に復帰し、子供が小学校へ通い出してからの子供の生活(学童保育)や自分の働き方をどうするかについて。保育園を卒業したら、出産前の状況に戻れると思っていた。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
赤ちゃんがこんなに可愛いとは知りませんでした。もっと早く第一子を産んでおけば、第二子以降も余裕を持って考えられたのかなと思います。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
夜にこんなに寝かしつけが大変と知らなかった。産後の体からこんなにしんどいということもわかってなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
危険を防止するために動き回る子どもに常に意識を向けることが、こんなに疲れるとは予想以上でした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育てと仕事の両立は思ったよりも大変でした。保育園に入った途端、子どもは病気続きでずっと病院通い、親も風邪をずっと引いている状態です。夫婦2人では手が足りないこともあり、2人目を作ることは考え直しています。 核家族での子育てへの支援がもっとあれば良いなと思います。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)

乳腺炎について全く知らず、繰り返したかったので、すごく悩んだ。また、保育園や幼稚園の制度を全然知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもが生まれてから知らなかったことばかり体験していますが、やはり保育園に入れるのは苦労しました。 一次では第五希望まで全部だめだったので…(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
妊娠中の産婦人科での医療費が助成されることや、産まれた後に子どもにかかる医療費がほぼ全て助成されること。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
思ったより子どもと毎日2人きりはしんどい。だからといって外に出るのも億劫。 保育園に入るのが厳しいとは思っていなかった(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
母体の負担。育児の大変さすべて！(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
1自分の時間がなさすぎる(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園に通い出すとしょっちゅう発熱すること。 保育料が思ったよりも高かったこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
・保育園と幼稚園の違い。 ・児童手当に所得制限があること。 ・子連れでの外出の大変さ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
ベビーカーで生活するようになって電車の乗り換え、店舗内での移動などエレベーターの配置や導線によって移動にとっても不便に感じることもある。歩きタバコの人の手元のタバコの火が子供の視線と同じでとても危険に感じる。電子タバコの人が堂々と歩きタバコをしているが、口から出した煙が減っているわけではないのでその人の後ろを歩くときにとても不愉快(1人の時は追い越して歩くようにしていたが、子供連れやベビーカーだとスムーズに追い越せない)。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
大切であるはずの点字ブロックや道路の段差の高さ、エレベーターや改札機、店舗の入口の幅の狭さ、子ども自身の重さ、周囲の人の優しさ(時に厳しさ)(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
すべて(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
こどもを産む前は、お金もないし子育てしていけるか不安があったり、自分の時間がなくなるのは大丈夫かなとか思っていたけど、産まれると子どもがいることそのものが幸せで、子どもがいることで自分が今まで知らなかった体験をしたり成長できることも多いことに感謝しています。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
異次元の寝不足(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
・発達には順番があること ・寝てる間に家事をすればいいと思っていたが、思ったより寝ない、自分も疲れて寝てしまう ・自分のメンテナンスをする時間をとるのが難しくなること(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供が熱などで体調不良になると、親の体力が大きく奪われる事。特に寝不足になったうえに、病児保育に預けられず一日中1人で面倒をみるのは限界に近いのでは、と思ってしまう。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こどもが病気になった時の、育児と仕事の両立の難しさ。病児保育を利用できる場合と満床で受け入れてもらえないこともある。親族を頼れない事情がある家庭は同様の悩みをお持ちではないでしょうか。自分の仕事の具合と残りの年休を気にする毎日。絶対に休めない日に突然こどもが体調不良になったら…年休がなくなってしまったら…どうしたらよいのだろうかという不安がいつもつきまとう。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
まだ2歳になっていないのに、手の届く範囲が多すぎる。 母乳の出が悪いことで、こんなに悩むと思わなかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)

我が子の可愛さ、親の心配や不安の気持ちを実感した(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
第1子のときは、近くに園があるのに第1希望が近くの園でも入れない人が多い。今は子どもの数が減ったせいか解消されたように思う。
小さいうちの方が子どもによって発達スピードが違うのでネット情報が全てではない。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
妊娠中のリスク(気をつける病気や食べ物、高血圧などがたくさんあること)、新生児が全然寝ないこと(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
自分一人で家事も育児も主導しなければいけないこと。シングルでもないのに。祖父母世代や近所の知人に頼れないこと。保育所の先生は忙しすぎて相談しにくいこと。子どもの発達の気になるところは、検診でひっかからなくても自分で動いて療育につなげないといけなかったこと。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
産褥期は動いたらダメなことを知らなかった。ただ子育てを手伝ってもらうために里帰りしてと思っていた。こんなにこどもにが暴れるとは想定していなかった。歩道のない道路はとてもじゃないが歩かせれないと感じるが、灘区内はそういう道路がとて多くてとても困っている。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子供がいる状態で、病院や美容院、人間ドックなど自分の用事で出かけることの大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
戸建てに住んでいることもあるのか、周囲からの目がすごく厳しい。隣からは子供の声気になるから窓を閉めてと言われた。簡単には自治体から助けを求めることが出来ない。保育園の情報が少ない。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなにも、母親1人への負担が大きいものかと。 復職しても、夫の仕事スタイルは変わらない、変えられない、職場の理解はない。 今もそうだが、朝から晩まで、私が負担することになる。仕事と両立するための外部の支援サービスはこんなにもないものなのかと。最後は自身が仕事を辞めざるを得ないのかと思う。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
上の子に障害があり療育に通っていますが、低年齢のうちほとんどの療育が親の送迎、付き添いを要することを知らなかったため、常勤の仕事は続けられなくなりました。健常児なら保育園に預けて働きつづけるつもりだったので想定外でした。扶養控除が無いのに児童手当が所得制限で切られることも、コロナ禍も、想定外でした。 いわゆる『子育てで罰』を実感する日々です。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供が2人になると、1人が風邪をひくと時間差でもう1人もかかり、親もかかり、また子供にうつりと繰り返して完治するのに時間がかかる。仕事を休むことも1人目の時より増えた気がする。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
医療費無料 待機児童(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
一時保育の事業がほぼ機能していない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供がこんなに熱を出して仕事を頻繁に休まないといけないとは思っていなかった。病児保育も実際預けるとなると、知らない先生に病気の子供を預ける不安もある。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育ての大変さと考え方の個人差(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供を保育園や幼稚園に預ける際に、希望しているところへ必ずしも入園できるとは限らないということ。 子ども手当の支給に、世帯主の所得制限があること。 こどもの医療費が年齢により無料ではなくなる。こと。(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)

行動範囲があつという間に広がる事。 自分でドアを開けたり低いサークルの柵は乗り越えてしまう。。など成長スピードの早さ。(子どもの父親（1人目）、50代、1歳6か月-1歳11か月)
夫が無視をしだすなんて想定していなかった(子どもの母親（1人目）、20代後半、2歳0か月-2歳5か月)
私自身、県外の出身なので、色々<地域名>は観光していますが、子供が産まれるまえは、子供向け施設に行ったことがなかったので、インターネット情報や、情報誌などをみて、しらべて行ってるような感じです。私の故郷にも、前住んでた<地域名>にも児童館はなかったので、児童館の役割については初めて知りました。生まれる前までは、保育園についても人ごとでしたので、子供ができて、<地域名>に引っこしてから、初めて色々調べたりしました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
だいぶ情報が得られる時代ですが、他の子はどうなんだろうと言う相对比较がなかなかできないのが少し気がかりです。他と比べる必要はないのですが、子の態度などが一般的なのか気になる時にどこからも情報が得られません。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子連れで児童館で遊べること。子どもだけが利用するものと思っていたので、産後もっと早くから通っていれば友だちもできたのかなと思います。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
自分のことと言えば産後のガルガル期や抜け毛期など 子どもで言えば「この月齢ならこんなものが食べられる」という目安(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
ここまで毎日大変でやることが多いとは思っていませんでした。 例えば高齢者の介護は色々と制度があって、助けてもらえるサービスが多いのに、子育てはなかなか気軽に使えるサービスがないです。 児童館なども、何度か行きましたが、人見知りで大泣きするため行けません。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0
こんなに自由が無く、思い通りに何もかも進まないものだと感じだ(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
・歯磨きでの フッ素塗布 ・保育園が北側にあまりない ・学童の場所(子どもの母親（1人目）、40代後半、2歳0か月-2歳5か月)
想像以上にお金がいる。自分の時間が持てない。子の成長が遅すぎる。(子どもの母親（1人目）、40代後半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなにも気持ちに余裕がなくなる事(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
想像以上に病院に通う。支出の多さ、時間がなくなる事。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

産後、こんなにも心身ともにつらいのを知りませんでした。母親と父親とでは、親になった責任感の違いというか、男の人と女の人の考え方、脳の作りが元々違うのを思い知らされました。 母親は自ら子育てについて関心を持って調べたり子供のことを考えてバランスをとりますが、それもしながら、夫の協力もお願いしないといけないのが大変でした。もっと積極的に男性も母親目線で妊娠期から子育てに参加できたらいいなあと願っています。3人目といえども、コロナ禍での妊娠、出産は検診にも付き添いしてもらえず、本当に孤独な妊婦でした。 子供達や夫にこんなにも手がかかるとは思ってもみませんでした。 いろんなことにいっぱいになり、第一子が産まれてから9年経ちますが、ずっと心身ともに休めていない不安な日々が続いているような気がします。 産後の新生児訪問だけでなく、母親の定期的なフォローがあればいいと思います。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもを人に預けるサービスを利用する際の事前準備の手間。(ファミリーサポートやベビーシッター、病児保育など、いざという時に子どもを預けるサービスを使うには、事前登録が必要なものがほとんどなので、先を見越して準備しておく必要がある&登録に関して提出する書類の記入内容が多く、まあまあ手間がかかる。子どもを預けるためなので、仕方ないと思うが)(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自分のペースで生活するのはほぼ不可能。睡眠は特にとれないので、寝れるタイミングがあれば寝ないといけない。 予防接種等、大切だが忘れてしまいそうな事項が多々ある。 子育て費用は思った以上にかかる。 子育て支援は地域によって手厚さが異なる。 探せば子育て関連の色々なイベントがある。 ベビーカーで移動できない駅(エレベーターがない)が未だにある。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
休む時間がない。1人では子育てできない。周りの協力が必要。周りに甘えること大切。上の子たちのときは両親も働いていたり、働いている旦那へ協力を求めることが申し訳なくてうまく周りに甘えられず苦しかった(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもがこんなに可愛いとっていなかった。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなにも自分の時間が無くなるということ。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
長期間睡眠不足になること 子育て本どおりにはいかないこと(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもは母親が大好きだということ(子どもの母親(2人目以上)、40代後半、2歳0か月-2歳5か月)
出費の多さ(オムツ代や保育園の支払いなど)(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
職場でお母さんポジションにこんなに位置づけられるのかということ。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
「3時間おきの授乳」の本当の意味を知らなかったw(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
赤ちゃんのお世話のこと、保育園のこと、など知らない事ばかりでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)

・保育園を預けるためのルールが想定以上に細かく、市のサイトも見づらいこと ・＜自治体名＞がたくさんの支援を用意していること ・児童館がとても進化しておもしろいところがあること ・月齢ごとの成長や気をつけるべきこと。（離乳食を始めるタイミングなど。） ・当たり前ですが、親になったからと言ってすぐに「子育て」できるようになるわけではないこと（子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月）
保活の大変さ 仕事との両立（子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
子育ては全然思う通りにならないし、親がちゃんとすれば大丈夫と思っていた自分は甘かったなと知りました。出産するまでの自分は、子育てする人にとって優しい人ではなかったなと反省しています。（子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
イヤイヤ期がこれほど大変だとは想像出来なかった。仕事家事育児で親がリフレッシュする隙がなく、追い詰められています。（子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
産後うつや産後クライシス。 高齢出産する程、症状が出やすく長引く気がする。夫婦の関係も変わったし、夫からも理解が得られなかったのも未だに夫婦に溝が残っていると感じる（子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
街中は危険がいっぱい。歩道のガードレールの重要性に気付きました。 膝を怪我して走って追いかけることが出来ないのでも子供用ハーネスを活用したいが、高齢者や周りの目が気になってなかなか使う勇気が出ない。（子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
イヤイヤ期がある事、その対応が大変だった。 予定通り進まないのでも仕事に影響する。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
コロナ禍前妊娠、コロナ禍の出産であり、最も想定していなかった状態での妊娠出産育児とかなり困難な状況であった 医療情報（ウィルスの種類、予防接種）保育園情報（保活含め）想定以上の育児と仕事の両立の困難さ こどもの遊び場（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
・生まれてすぐの間は授乳のために夜間寝れないこと。 ・離乳食が必要になること。また作り方。 ・出産時にお金が予想以上に必要になること。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
こんなにもお金かかるのに児童手当が15歳までで金額の少ないことにがっかりした。政府は生んだ時の助成しか考えてないし。駅にエレベーターがなさすぎるし、段差が多くてスロープがない道、こんなにも日本は子育てに優しくない国なんだと実感中です。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
こんなに孤独に悩むことが増えるとは思っていなかった。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
細かいことまで入れれば、ここに書ききれないほど、たくさんある。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
こんなにも働きにくいのかということ（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）
保育園の詳細な情報、自治体の支援の情報など、ネットなどでは細かい部分を全然調べられないこと。育休に関わる手続き、入園に関わる手続きのわかりにくさ、煩雑さ。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
子育てって、大変！！！！（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）
仕事辞めたけばよかったです（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月）

子どもを連れて出歩くことが、体力的にも精神的にもかなりの重労働ということ。 電車やお店で肩身の狭い思いをすることがあり、子どもや子連れを歓迎してくれそうかを事前によく調べてから出かけるようになった。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
幼稚園、特にプレ保育等の情報が、自分から調べないと分からないことが多すぎた。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
体力消耗の速さ、忍耐力、人間性が試されている気がします。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
睡眠不足がこんなに続くと思っていた(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなに時間におわれ、自分の時間がないとは思わなかった。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の時間をとるのが難しいことを、出産して初めて知りました。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
育児の大変さ、トイトレが難しいなど(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
特にない。(子どもの父親(2人目以上)、50代、2歳6か月-2歳11か月)
出産すれば母乳が必ず出るわけではない事(子どもの母親(1人目)、20代前半、0歳0か月-0歳5か月)
出産の体へのダメージがかなり大きく、回復するのに時間がかかる(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
お金のかかり方。出産手当金や育休給付の遅さがこれほどまでとは知りませんでした(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
妊娠中から保活をしている人がいること。 母乳育児が上手くできず、やむを得ずミルク育児に切り替えたこと。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供を連れての外出の大変さ(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
シングルマザーだと受けられるものが多々あると思っていたら思いの外元々給料を貰っていたようで色々なお金を受け取ることができなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
おしゃぶりは全ての赤ちゃんが大好きでつけてくれるものだと思っていたが(哺乳瓶の乳首に慣れる目的や、おっぱいをすぐにあげることができないときに一時的に使いたいため)、全くつけてくれずペツと外してしまうこと。依存しやすいのかと心配していたが、むしろ好きじゃない赤ちゃんもいることが分かった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
陣痛の痛みが想像以上であることや、新生児が夜寝付けないなどの苦労は分かっているようで、分かっていたという点です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーはすごく揺れる 道が悪いところが多い 狭くて通れないところが多い すごく大変(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
小児科で病気をうつされる恐ろしさ。 小児科があんなに混んでいると知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんのおしっこの量の少なさ マクドナルドハウスのこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)

知らなかった、教えて欲しかったことは、母乳育児を推奨するばかりで、乳腺炎については一言も教えてもらえず、実際経験したときにすごく辛かった。それともう一つ。哺乳瓶拒否ということが起こると知らなかった、これも絶対に教えるべきです。入院中に哺乳瓶で飲んでいたらいつでも飲むと思っていた、産後しばらくたって主人に預けたときにはじめて哺乳瓶を使ったら完全拒否。なぜ病院も産後訪問でも教えてくれなかったんだろう。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産休中に入る手当が恐ろしいほど遅い。 産休に入るまでこんなにお金がないとは思わなかったし、わからなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園などの入所できるかどうかが点数制であるというのは入るまでは知りませんでした。きょうだいがいるとすぐ入れるものと思ってましたが、当時2番目の息子を長女と同じ保育園に随時申込した際すぐ入れませんでした。一時的に別のところに入り、2ヶ月後に同じところに入所しましたが、別々のところに通うというのは正直大変でしたので、もう少し働く親のことを考慮しては入りやすい環境ができると良いなと思いました。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子育てに関する情報(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
・授乳をはじめた時、こんなにこんなに痛いなんて驚いた！陣痛が痛いのはみんな知っているけど、授乳が痛いなんて、多分経験のない人はほとんどが知らないと思う ・出産前は働きやすいと思っていた職場が、育休明けで復帰してから、保育園で色々な菌やウイルスに感染して我が子が休む度に自分も会社を休み、働きにくく感じてしまった そんな気苦労の上に、病院は平日しかやっていないし、自分にも感染してしまって体調も悪いし、そんな中で子どもの看病をする大変さを知らなかった ・0歳4月で入園したが、実際に産まれるまでは、それがこんなに寂しいことだとは知らなかった 離れ難く、働かないとお金に余裕がない自分に悔しく、大泣きする子どもを無理やり離して出勤する自分が虚しく、本当に心が辛かった やさしい先生方のおかげもあり、何より子ども本人のがんばりで今は慣れてきたが、4月5月は心が病んでしまいそうな程、離れることが耐え難かった まだ0歳なのに頑張らせる必要はあるのかと葛藤した ・料理が苦手ですべてできないので、離乳食作りがこんなに大変だとは知らなかった でも子どものためと思うと頑張れたので、少しずつだけできるようになってきた 子どもがよく食べてくれるので作りがいがあるが、食べてくれない子だったら心が折れていたと思う… ・地域の輪（会館、子育てサロンなど）に入っていったり、近所の人たちと話したりすることが、思ったより楽しい 妊娠前までは知らない人とは話さない生活だったけど、妊娠してお腹が大きくなってからは通りすがりのご老人が声をかけてくれたり地下鉄で席を譲ってくれる人がいたりして、人のあたたかさがよりわかった 産後はママ友もできて、会館や子育てサロンの職員さんもやさしくて、育児中は家で親子だけの世界と思っていたけど、外に出たらみんな明るくて楽しくて、知らない人と知り合うのも良いなと感じた(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育所や産後ケア施設など専門職が関わる場面での子どもの事故が多くあること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
生後10か月になっても授乳大好きで、2時間おきくらいに子どもが吸いに来るため、昼は自由に行動しづらく、夜は睡眠不足が続くこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

・24時間目が離せない子と過ごす日々がこんなに長く感じるとは思っていませんでした。 ・保育園に関する情報提供や手続きが非常にアナログであること。空き定員くらいはHPで確認できるものと思っていました。また「詳しくは窓口で」と書かれていることが多いのに窓口に行くと（担当の方によっては）尋ねたことにそっけなく答えてくれるだけで詳しい情報を聞き出すのが難しいこと。 ・「なんでも相談してください」と言われてちょっとしたこと（でも自分にとっては辛いことや気になること）を相談しても大半の場合は検索すればわかるようなことを返されるだけで何も解決しないし気持ちも楽にならないこと。 ・おもちゃや絵本が月齢に応じて適したものがどんどん変わっていくこと。（子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
自由時間が少ない。こんなに保育園に入りにくいとは思わなかった。（子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
<自治体名>の子育て支援が非常に充実しておらず、ましてや所得制限で支援を受けられない行政サービスが多いこと。（子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
授乳について勉強する機会が少なすぎたので、もっとあったらよかったと思った。（子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
産後うつになり、「ホルモンのせい」というだけで片付けられないほど、大変な状況になりました。産後は助けてくれる人が身近におらず、孤立してしまいました。産前は、こんなに肉体的にも精神的にも大変な状況になるとは全く想定していませんでした。（子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
子供のかわいさ（子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
離乳食作りの大変さ 二人育児の双方の心のケア（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
家事サービスは産後数週間しか利用出来ないが、それ以降の方が利用したいと思うことが多々あり。 仕事しながら家事は大変なので家事支援サービスを利用出来るようになって欲しい。（子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
意外とまわりに小さい子どもがいること。当事者になって、目につくようになったのかもしれませんが。（子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月）
赤ちゃんがこんなにかわいいとは知らなかった。（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
出産する前と比べて、寝ても寝ても疲れが取れにくくなったこと。年齢もあるかもしれませんが、子育てがこんなにも体力勝負だと思ってませんでした。（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
想像するよりもお金がかかること。乳幼児期はお金がかからないって言われてたけど、育児用品にめちゃくちゃお金かかる。今後どうなっちゃうんだろうという見通しが立たない。（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
想定よりかわいかったですが、 想像より忙しかったです。 離乳食の初期のイメージはありましたが、意外と食べる量の増える後期以降のほうが準備が大変でした（子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
意外と支援が手厚いと感じた。ありがたいことです。（子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
眠れないこと（子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
地下鉄のエレベーターの使い勝手の悪さや道路の歩道の狭さ、平坦ではない事（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
子どもの体調不良での欠勤はある程度覚悟していましたが、毎週休むことになるとは想定外でした。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）

子供を預けるハードルが高いこと。 自分の病院や予定は後回しになったまま。 歯磨きの方法。 月齢に適した歯ブラシ、フッ素、磨きかたが出来ておらず虫歯が出来てしまった。 10ヶ月健診は必ず受けるようにして歯磨きの方法を学べるようにして欲しい。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
恥ずかしながら、新生児は日夜関係なく授乳が必要ということを出産するまで全く知らず、出産初日の夜に新生児室から呼ばれてびっくりしました。 コロナ禍で母親教室に参加できなかったこともあり、自分1人での情報収集の限界に気付かされました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
・市販される授乳記録ノートの存在。病院から退院してしばらく、病院で使っていたものをコピーして使用していました…。新生児は授乳回数、尿やうんちの回数が重要で、記録が必要なんてこと、全く知りませんでした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子どもの足音によるご近所トラブル(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
保育園に預けるのに64時間以上働いてないといけないこと。 子供いたらわかると思うけど実際子供の発熱や体調不良でそんなにはたけなくない??(子どもの母親(1人目)、20代後半、3歳0か月-3歳11か月)
男の子だと、よく熱でるのはビックリしてる。月一のように病院通うとは思ってもいなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
妊婦は思っているより多い。 子供がいると子供以外の話題がない。 乳児はスペランカー。 保育園には入りづらいし、入ったところでフルタイムでなんか働けないし、小学校に入ったらますます働けない、本当に女性の生活やキャリアとかを軽視した社会だってこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
出産後の様々な大変さ(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)
お金かかりすぎるし、税金とられすぎ(子どもの母親(1人目)、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
病院によって出産費用がクレカ対応、現金のみなどがあってびっくりした(子どもの母親(1人目)、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
ひとり親の障害児をもつ親のサポートが全然ないと感じた。お金のサポートだけでなく、放課後デイサービスの時間、長期休暇の預け先、児童クラブはすべて断られ、非課税世帯はサービスすべて無料だがギリギリラインで課税世帯はそういったサービスの利用に高額支払。すべて想定外。(子どもの母親(1人目)、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
子どもが泣いたりしたとき、優しい方も居ますが、子ども嫌いの方が多く、肩身が狭いことです。子の泣き声で日中でも毎日マンション下の階から棒でドンドンされて、恐怖で引越しました。(子どもの母親(1人目)、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
母乳育児ができないのを想定してませんでした。それにかかわる事前知識もなかったです。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなにお金がかかると思わなかった 周りの地域は2人目の保育園は無料だったりするのに<自治体名>は6割負担だったりするのが残念(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)

発熱にて仕事を何日も休まねばならず、子供が小さい間はフルタイムの仕事をするのが難しいこと。 自分の時間があまりとれず、誰かに預けなければ歯医者や美容室もいけないこと。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
途中入園がそんなに難しいとは知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供と2人での外出は大変！でも、スーパーなど店員さんや他のお客様が親切に手伝ってくださる機会が増えた。子供が大きくなって余裕ができたなら私も赤ちゃん連れで困っている方を見かけたら手を差し伸べられる人になりたい。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
意外と力強いなと感じます。ベビーチェアから袖を引っ張られて私がかかされました。 あと、動き出す6ヶ月くらいから大変さが増しました。その分、笑うようになってきて楽しさも増えました！(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
体力がいる(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにも身体がしんどいとは思ってなかった。腰痛がひどくて、走ったりできない。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園になかなか入れれない事と 子供2人連れてのお出かけがおっくうになった(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
つわりで何もかも絶望的になることを含めてこんなにも妊娠・子育てが大変だとは思ってませんでした 赤ちゃんは自分では寝ない トイレはひとりでゆっくり入れない 着替えるひとつの工程で10分以上かかる 食事すると後片付けに途方に暮れる など全てにおいて想像以上でした 人間1人育つのがとても大変なことなんだと思います。 あとは公園に毎日お世話になる 絵本に親のわたしが心感動する など独身のままではあり得なかったことをしてるなと良い意味で思います～(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育ては思った以上にお金がかかる(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもと一緒に歩ける道路が少ない。道幅が狭かったり、歩道がなかったりするところがあって安全に歩けるところが少ないと思った。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
2人目が生まれた時に1人目が1歳児だったので育休退園になりました。他の自治体では退園にならないところも多いし、退園になることを知りませんでした。2人を家庭保育は辛いです。退園は産後2ヶ月で、ちょうど産後鬱になり外との繋がりが絶たれ辛い時期があり、泣いていました。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供の病気についてほぼ何も知らなかった。 来年から復帰だが今のスパンで子供たちが病気になるとフルタイム復帰して続けていけるか不安です。病児保育の充実を早急に対応していただきたいです。働くママたちみんな本当に切実です。＜自治体名＞の規模に対して利用できるところが少なすぎます。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の時間が想像以上にないこと。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)

粉ミルクも、子供に合う、合わないがあること。粉ミルクを変えたら便秘をしなくなった。 小児科選び。産まれてからじゃないと行けないし、集めれる情報が限られてるので、ドクターショッピングするのも子連れだと大変。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
新生児のときの授乳、睡眠が育児書に書かれているより頻回で大変でした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
支援センターなどの子供を遊ばせる場所があること(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
病気の種類の多さ つわりの辛さ トイトレの難しさ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供2人目のハードルの高さ。想像していたより子育ては大変だったこと。 出産するまでは夫と2人で子育てをしていくイメージだったが実際は平日は100%私1人で育児している。子供の生活リズムを考えると共働きになってもそれは変わらないので、2人目を希望しているが産前産後の保育園利用も、保育園に空きがあればということだったので、今年はずでに空きがないと言われたし、来年もない可能性が高いと思うとハードルが高い。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育て日本一と見かけたがそうではなかった。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
親の介護(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
ある程度は想像していたが、子供がいることで、思うようにいかない事がこんなにも増えると思わなかった。 仕事も時間も。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子供産まれる時にどんなものが必要なのかわかっていなくて一般的に必要なもの購入しましたが、その子その子でいるものは違うだなんて言うことが子育てをするとで知りました。使わなかったものが結構あるので知らなかったなと改めて勉強になりました。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
成長が、ひとりひとり全く違うこと。他のお母さん達と話すと、情報を得られるが、我が子の成長のゆっくりさに心配になることも…(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに母乳をあげることが大変だとは知らなかった。(乳首が痛い、乳房が張って痛くて横向きで寝らないくらい痛む、など)(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに可愛いと思えるとは思っていなかった。毎日愛おしさが増している。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーグッズが高い(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
法定の産休より先に休職すると上の子が保育園を退園になること。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに子どもが可愛く、育児が楽しいと思っていませんでした。育児についてネガティブな情報ばかり受け取っていたせいか、出産前は不安なことが多く気が重かったです。 ぜひ、ポジティブな情報(例えば、育児を経験することでこんなに成長できる、とか、楽しいことがある等)も、たくさん発信していただけたらと思います。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳、寝かしつけしかしていないのに1日があっという間に終わる(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
うんちの色やにおい(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
最適なベビーグッズがわからず、不要なものを買ったりレンタルしてしまった。 育休に入ったらマイナスの給与明細が届いた。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

保育園の探し方や提出書類の多さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
それぞれの赤ちゃんによって、こんなに個性があるなんて知りませんでした。(ミルクの飲む量、睡眠時間、泣く泣かないなど)(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
暇な時間、何すれば良いか分からない(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
予想以上にお金がかかるのと自分の時間が取りにくいこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
予防接種のスケジュール管理が必要だということ。ほとんど自分の時間を取れないということ（子供が寝ている間はある程度何でもできると思っていました）。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
・体調が100%良い、という状況がなくなったこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上にお金がかかる。必需品はもちろん、あると便利な物(今となっては必需品となりました)まで、使える時期は短いものの安くない。また、これらの中には産まれてから購入を検討するものもあるため、購入段階でまだ産休手当が出ていないので貯蓄から出す事となり、金銭的な不安を感じている。 また、支出はこれよりも多いので手当が給与満額でない事が想像以上に厳しいと感じた。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
よく寝る子であっても初期は3時間おきの授乳が必要なこと。それにより寝不足になること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに子どもが熱を出して休むとは思わなかった。病児保育が近所にある助かっている。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
妊娠から出産までにもものすごくお金がかかることと、給付金が支給されるまで時間がかかりすぎることです。夫も育児休職したので2人とも全くの無給期間があり、貯金がなかったら生きていけなかったと思います。男性の育休取得はお金のない人にはできないと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ありとあらゆる所を引っ掻く、爪が伸びるスピードがはやい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
夏生まれなので、室内の温度調節がとても難しく、赤ちゃん用の洋服も急遽買い足したりと、予測もしなかったことがあった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーグッズの知識。 ベビーベッドはミニサイズだと2ヶ月でサイズアウトすること。ベビーシートは取手付きで着脱可能なものは狭いということ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳が頻繁で大変という話は知っていたが、授乳そのものがこんなに難しいとは思ってなくて戸惑った。最近は「両親」学級なので難しいのかもしれないが、授乳のときの赤ちゃんの抱き方や乳首の咥えさせ方など、産後でボロボロ、頭が働かないときではなく、事前に知りたかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳育児にした場合の母親の負担、胸のメンテナンスの難しさや痛みなどを感じる事(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
とりあえず、出産までの子どもの成長には気をかけていたけれど、生まれてから母乳育児の大変さや子どもの月齢の発達目安も知っておくべきだったかなと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
育児全般。里帰りしていなければパニックでした。両親学級に定員オーバーで参加できなかったのですが、今思えば貴重な機会なので、ぜひ希望者全員参加できるようにすべきだと思います。出産後、必要に応じて勉強、準備しようと思いましたが、特に新生児期は携帯を見る隙もなかったです。また、本メールはラインを開くと文章の一番下のURLリンクが表示されるので、都度上までスクロールしなければならないのが、ちょっとした手間だなと思います。(忙しいとそのまま閉じちゃいます)。呼び名の、ちゃん、くんも、選択式にするか、さんにしてもと思います(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

こんなに授乳がたいへんだとは思いませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園が思ったよりお金がかかる。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
お出かけのしにくさ、授乳の大変さ。お出かけするときに授乳できる場所を探したり、できるところがあっても混雑していたり衛生面が気になるところもある。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
義両親に対するガルガル期(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
想定以上に子育てに関わる人数がいないと母親の負担が大きいこと、子育ては母親の仕事という考えが祖父母～自分たちの世代まで染み付いていて母親の希望が通りにくい。父親、祖父母へ産前の情報提供があると良い。 区のサポートがこんなにあるとは知らなかった。訪問型のサービスが本当に助かっています。子育て中の学びや新たな人間関係作りのきっかけになるイベントが増えると嬉しいです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビー休憩室の大切さ。赤ちゃんをお世話できる場所がないと、お出かけは難しい。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
頭の形・向きぐせ…知っていたら産まれてすぐ入院してる時から対応していた 医療証のありがたみ（感謝してます） ミルクを飲み切る適正時間や哺乳瓶の種類 赤ちゃんの好む体制（Cカーブ） #8000の存在(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園に預ける大変さ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
住んでいる地域に小児科や児童館、子育てひろは、保育園などがどの程度あるのか意識していなかった。子育てをするには必要な施設なので家から近い方が良いと思う。 ベビーカーで歩道を歩くと傾斜や段差が多くて歩きにくい事は知らなかった。 出かける時には授乳室があるかどうかで行く場所を決めるとは思っていなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月) 母乳育児についてもっと妊娠中に勉強しておけば良かったと思いました。思っていた以上に量やタイミング等難しく、悩みが深かったです。出産した途端に産院の言われた通りにやりましたが、産院によっても指導方法が違うようで、母親学級等で事前に母乳やミルクについても教えていただけると良いと思います。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月) こんなに眠れないとは思っていなく始めの1ヶ月半くらいまで本当にしんどかった。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
離乳食のはじめ方、おもちゃの選び方(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
お役所のと密な連携具合（想像よりこまめにケアして下さり助かります）(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
知らないことだらけですが、そうやって学びながら親になっていくのだと思います。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
キツスなや児童館が新生児から利用できるということ。 地域ボランティアの方が家事を手伝ってくださるサービスがあるということ。 産後ドゥーラさんのサービスを受けられること。 初めてのママ用に保健所でひよこのおへやというイベントがあり、親子の悩みを相談できたり交流できること。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子どもを育てながら家事や買い物をする大変さ。 オムツの消費の早さと値段の高さ。 保育士なのに知らなかったことだらけ。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の申し込み方や所得でお金が変わること(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園児の感染症のピークは冬ではなく6月～8月の夏場であるということ。子供の感染症で、大人が罹患した方が重症になるものがある。私は手足口病に感染してしまい一年以上経ってもいまだに発疹の痕が残っています。 また、どんな保育サービスであれ急な保育のピンチヒッターサービスはない。夜間のサービスもない。絶対に仕事を休めない日の子供の体調不良は夫婦でどうにかするしかなく頼るものがないということ。平気で1週間とか休みはめになる。夫婦で半休ずつ使ったり、何なりして工夫するしかない。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
未就学児向けのイベントは意外と近隣で行われていること。探し方がわからず見つからないだけで、よく探せば見つかることを学んだ。妊娠中から児童館に行くような動線が作れたらなと思います。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
コロナはもっと続くと思っていた(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
<自治体名>の子育て支援事業が、ほかの区に比べて少ない、あっても利用条件に制限があったり、利用回数が極めて少ないなど、充実していない。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
予防注射で、2ヶ月を少し過ぎて予約しようとしたらいっばいだったので1週間後になり、当日は体調が悪くなく延期になり、大型連休をはさんでしまったので、初めて打ったのは3ヶ月目でした。ロタには接種の期限があるからと先生と看護師さんが一生懸命日数を数えてくれました。もう少し早めに動いていればよかったなあと思います。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
1日たくさん動いていても10分とゆっくり自分のことをすることができない、こんなに自分の時間が取れなくなるとは思わなかった。子どもとの時間なので幸せを感じるから、大丈夫だけど、慣れるまで1年くらいかかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
部屋の隅にある埃等も拾ってくれることで、よりこまめな掃除の大切さに気付かされました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
忙しいけど子育てがこんなにおもしろいとは思わなかった！(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
様々な支援に所得制限があること。 保育園の入園システムについて。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
児童館など意外とかの施設がたくさんあること(子どもの父親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子供の発達全般 ベビーカーで行ける場所やエレベーターの動線 街中で子供を抱き抱える重みや恐怖感(子どもの父親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こどもはどんなに小さくても1人の人間で自我がありなかなか思いどおりにしてくれないことが多々あること。(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
行政の色々な支援があること。出産費用が高くなっていること。(子どもの父親(2人目以上)、50代、0歳0か月-0歳5か月)
古い子育て常識がかなりの確率で非常識に近い事がわかったのと新しいやり方が正解なのかが不安です。(子どもの祖父、60代以上、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーが入れる施設が少ない事が知らなかった。スーパーやコンビニ、病院と言った生活に必要な施設、お店の建物内が狭かったり、段差、階段がありとても不便だと感じている。ベビーカーで入れるお店、病院などの一覧があると助かる。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)

沢山ありますが、一番は「自分のこどもは減茶苦茶かわいい」ということでした。元々こどもは苦手で、一方で夫婦の昇進や転勤などから逆算すると今を逃したら今後厳しいんじゃないかという夢のない妊活から始まった子育てでした。いざ生まれてみると、他人のこどもと自分のこどもで、自分の感情はこうも違うものだなと驚かされました。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
気持ちの余裕さがあまりにもないこと 自分の感情がコントロールしにくいこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想像以上に病気をもらってきて、仕事を休んで看病したり自分もうつって体調崩しています。会社で支給される有給と看護休暇だけではたりず、主人は自営業なので休めず、ワンオペになります。 欠勤にならないような休暇制度がほしいです。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに眠れないとは思いませんでした。また、外出する時もいろいろと気をつけながら過ごしていると気が張って疲れることがあります。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカー嫌いで乗らない 抱っこじゃないと寝ない(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
最初の育休手当が入るまでの期間が長いこと。光熱費が予想以上に上がったこと。児童館には小学生未満の子供も遊びに行けること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ご飯を立ててスプーンでかっこみながら食べたり、目を開けたままシャワーをする事。それも幸せです。笑(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
・自分の子どもが一番可愛いフィルターが絶対にかかること。 ・街中のバリアフリー事情。ベビーカーで外出する際、段差やエレベーターについて、不便に感じるが多々ある。バスの車体を傾斜させてくれるかは運転手による。住宅地は、歩道に傾斜がついていることが多いため真っ直ぐ走行しづらい。ハブ駅にもかかわらずエレベーターが小さいと並んで待つことも多く、移動に時間がかかる。 ・独り身の身軽さ。目が離せない子供がいることにより、何をするにもとても時間がかかる。 ・おしゃれなカフェに行かない理由。おむつ替え台、授乳調乳室がないから。商業施設は一通り揃っているから安心。 ・妊娠、出産、育児の大変さ、時間の取られ方、生活習慣、周りとの付き合い方、全てが変わること(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
小児性愛者が多いこと。嫌悪感。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供の成長の過程やなんでも、口に入れてしまうことなど子育てするまで知らなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
産後の抜け毛や会陰の傷の痛みがなかなか治らないこと。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
たくさんの知らない人が声をかけてくれること。かわいいねーとか。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園入園後もしばしば体調を崩しお休みとなるため、仕事の調整が高頻度で必要になること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
想像以上にお金がかかる。育休でも満額もらえるわけではなく、手取りがかなり減ってしまう。ただ、早く職場復帰したとしても時短勤務な上に保育料がかかり、育休でもらう額とあまり変わらなくなってしまう。育休中も住民税がかかることも知らなかった、。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
情報収集力の大切さ。保活(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園が0歳4月ではぼ埋まること(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食の準備のめんどくささ(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

子供が風邪をひいたら、親ももれなく風邪をひく 親が風邪をひいた際は、子供の預け先がない(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
抱っこ仕方 毎日毎日成長すること 旦那にイラッとする可能性があること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
想像以上に都や区からの支援やサービスがあること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園全般の知識(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
ガルガル期について、産後初期に極度の睡眠不足になること、乳腺炎について知らず、産後半年位までは、とても大変でした。個人差はあれど、出産前に家族で上記について知る機会、話し合う機会があったらなと思った。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
夜間に起きるとは聞いていたが、ここまで頻繁に起きるとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
ほとんどの人は母乳がなかなか出ないことをまったく知りませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産後1ヶ月ほぼ寝たきりだった、寝かしつけが想像以上に大変、着せるべき服がいまだによく分からない、ベビー服のサイズはネットだとよく分からず実際着せると小さすぎたりする（サイズ表記はブランドや国によって異なり参考にならないことも多い）、バスに乗る時は場合によってはベビーカーを畳む必要がある、不器用だったり力が無いと抱っこ紐を使うのは難しい、家族計画が定まらないまま家と保育所の検討を進めなければならない(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供との触れ合い方が、毎日同じになってしまうので、飽きさせてしまっていないか心配。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産後鬱は知っていたが、 実際に産んでから1ヶ月の自分の精神状態の異常さは経験しないとわからないものだった。 寝ていない状態で、すぐ壊れそうな命を前にずっと気を張って、自分は体のあちこちが痛い… 。陣痛の痛みよりもよっぽど辛かったです。 それだけでわけもわからない怒りや涙が湧いてくるなんて想像していませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
マタニティ向けのイベントがあることを知らなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
私自身、妊娠出産が予定外だったので、最初は全部が想定されていませんでした。しかし、産まれてきてくれた息子は元気でとっても愛おしい存在です。毎日がお互い新しいの発見で、とても楽しく過ごしています。寝返りから、ハイハイ、つかまり立ちまでが少し早くてびっくりしていますが、この先もっとビックリすることが溢れている未来で、子育てには前向きな姿勢で挑んでいこうと、子供の成長が楽しみです！(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーでの移動の大変さ、こんなに可愛いと思わなかった、仕事を終えてからお迎え行って寝かせるまでの間がこんなに大変だと思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子育て広場や、産後ケア、保育アドバイザーなど自治体の子育て支援が充実していること、子供の医療費が無料ということは知らなかった。 産後、腱鞘炎や膝が痛くなったりすることは想定していなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにあっという間に子ども成長していくとは思いませんでした！(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)

離乳食についてはゴックン期後半になるにつれていろいろな材料を組み合わせさせてあげるなどメニュー表があり、手作りであげたい気持ちがあるため離乳食作りは結構大変と思いました。また離乳食を食べさせることや麦茶の飲ませ方なども勉強しながらあげたりと大変だと思いました。また赤ちゃんはすぐ汗疹ができやすく、1日2回シャワーをかけることやボディクリームなど塗ることも想定しておりませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園から帰ってきたあとの忙しさは想定以上でした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
児童館や支援センターがこんなに身近にあり、スタッフの方が親身になって見守ってくださる場所とは知りませんでした。子どもは思った以上に遊ぶ場所が必要だし(じっとしておもちゃで遊ぶことが全然なくハイハイするには家は危険が一杯)、親も家族以外の誰か気持ちを共有できる人と話すことが重要で、それは想定以上でした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
身体がこんなにしんどいとは思わなかったです。体力回復のために運動したいのですが働き始めたので時間もなくて、もっとうまくできていると思っていたのに…という気持ちです。また、計画通りに1日が終わることが少ないです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
・3ヶ月以降は乾燥肌になるということ ・夜泣きが7、8ヶ月～始まるということ ・月齢が浅い方がお出かけしやすいということ (日中に寝ている時間も長く、体重も軽い)(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
助成金に所得制限があること。東京都などから、色々なポイントが貰えること。医療費が0円なこと。思っていたよりもずっと子育てが楽しかったこと。認可保育園費用が思っていたよりもずっと高かったこと。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
・マミーブレイン ・予定の時間通りにすすめられない ・お出かけの荷物がやたら多い(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
外出時の授乳、オムツ替えが場所によっては不便であることや、腰の座っていない乳児連れで使えるお手洗いがいないこと(ベビーカーでは入れなかったり、抱っこ紐では子供を椅子に座らせられないため)。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園のこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供の熱や夏風邪など、体調をくずす頻度は想像以上でした！(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
夜間授乳の辛さ(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
・エレベーターの重要性(エレベーター付きの賃貸にすれば良かった。) ・児童館等が多い(ありがたい) ・ベビーカーに乗せると泣く(ベビーカーが嫌いな子供がいるなんて…) ・優しい人が多い(子連れだと知らない人から声をかけてもらえる)(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出産がコロナ禍だったのもあり、妊娠中、産後も外出するのが怖くなったこと。また、子ども2人の育児をする中で月齢の違うそれぞれの子を相手にするのが大変。食事も離乳食と幼児用それぞれ用意するのが大変。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーでの電車移動が大変なこと。エレベーター長蛇の列で、かなり待つ。ホームに下りる、駅から出るだけで、かなり時間がかかる。 子供とずっっっと一緒にいるのが、しんどいこと。 医療費がかからないこと。ありがたい。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

赤ちゃんが一日に何回も寝たり起きたりするということを知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育て支援が色々あることはまったくしらなかった。 また子育てのこんなにお金がかかること、心身ともに疲弊することをもっと周りに知ってほしい。 こどもがかわいいのとは、別の話ということを知ってほしい。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
新生児はよく眠ると聞いていたけれど、寝ない子もいるということ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
2人目以降にものすごくお金がかかることを実感した。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
<自治体名>の子育て支援サービスが微妙に利用しづらいことです。産前に利用登録することができず産後の体がボロボロの状態でも利用登録することになったり、夫が育休を取ると利用できない支援があったり、支援サービスによって窓口が異なるため複数回利用登録する必要があったりと、誰のための支援サービスなのか疑問に思うことが多々ありました。私はもうこれ以上子供を持つのは難しいと感じたため産みませんが、今後、妊娠出産をする方たちの為にぜひ改善していただきたいです。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
下にかかりっきりにならず上の子のフォローもしようと思ってたがやはり下の子中心になりがち(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
2人目育児の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
イヤイヤ期がこんなに厄介だとは思わなかった。 赤ちゃん期がかなりあっという間で貴重だった。食べない子、寝ない子は本当に大変。子育ての相談をする先がない。<自治体名>の相談場所に相談してもテキスト通りの回答しかなく残念だった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供を育てる前は産休育休中は時間もたっぷりあるから時間的には余裕だと思っていたが、実際は子が1人でもやる事はたくさんあって、育休中でも忙しくて全然ひまじゃない。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
何もかもが想定外です。特に、出産後すぐの頻回授乳が、こんなに辛いものだとは知らなかったです。解消できない寝不足で、メンタルもかなり落ちました。また、夫がもっと協力して労わってくれると思っていたのに、夫は子どもが産まれても、あまり変わらなかったのも想定外でした。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
家事と子育ての夫婦間の分担がとても難しいこと(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにも心身共に疲れたり、接し方に悩むと思っていませんでした。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
ほぼ全て？42歳にもなりますが、子どもとの生活は、想像できないものでした。想像できないくらい大変だし、素晴らしいものでした。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーで駅を利用する時、 エレベーターが無い時や、遠くにありとても不便を感じる事がある。 バスに乗車する時も畳んでなるべく邪魔にならないようにしている。 ベビーカーでの公共交通機関を利用する時に肩身が狭く感じる。 子供は本当によく体調を崩すので、 仕事を休まなければ行けない事が多い 有休や看護休暇では足りなくて、 リフレッシュの為に休暇が取れない。 こんなに子供が体調崩す事が多いとは知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)

2歳差の二人の子供育児がこれほど大変だとは想定してませんでした。育休復帰後、(旦那の働き方は変わらないと思うので)仕事を続けられるか不安があります。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
第一子出産の時、授乳がこんなに大変だとは知らなかったと思いました。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
SIDSを防ぐためには赤ちゃんをあっためすぎない方がいいという説があること。後で知って反省しました。新生児期が夏でしたが、厚着させてしまった。(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
たくさんありすぎて、覚えてないです(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳、離乳食、ともに想像以上に時間がかかる。(子どもの父親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
インフラ代が高い(子どもの父親(1人目)、40代後半、0歳6か月-0歳11か月)
なし(子どもの父親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子育てしながらこれまでのような仕事をするのが難しいこと(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもの尊さ(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
何にしても所得制限があること 保育園に入りづらいこと 第一子が保育園児じゃないと第二子とカウントしてくれないこと 第一子が高校卒業したら第一子じゃなくなる 少子化なのに何も対策ができていないこと 子育て世帯への世間の目が冷たいこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園に入りづらい(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園には入れるつもりでいたが、子どもが産まれてから自分の気持ちが変わり、保育園に預けるという選択をしないことになるとは想定していなかった。(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
抱っこ紐の装着が慣れるまで難しいこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに子どもが巻き込まれる事件や事故、性犯罪が多いこと お金を稼ぐことのできない年齢なのに扶養控除が無いこと 日本が子育てに厳しい国であること(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
すぐに保育園に入れると思ったのに、全然違います。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
母乳がよく出る体質で、乳腺炎になりやすく困っている。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
どのようなサービスが無料で受けられるのか、またどのようなことにお金がかかるのか。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後の母体のしんどさや、メンタルの不調(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てに関する自治体のサービス等(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)

母乳を飲まないことがあるのは知らなかった。 育児書通りに進まないことも多い(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
0歳～2歳ぐらいの子が広々と遊べる場所が少ない(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
預けるサービスがたくさんある一方で、自分が子供を預けるということが不安で預けづらい。嫌なニュースとかがあるので、＜自治体名＞は安心と思って、もしもがあると想像してしまって預けられない。キッズなどかも、子供の安全のためとは分かりつつ親が中に入れないのが預けるのに不安を感じてしまって踏み出せない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
でかけるのが大変なこと。寝ないこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに大変だと思わなかった。 子育てが始まると毎日忙しく疲れもあり積極的に情報を得るのが難しい。 特にインターネットでもなかなか探せない地域の子育てに関する情報を得るのが難しい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
・産む時より、産んだ後の身体の辛さ (出産の大変さは目にする) ・思ったよりも家事負担が増えて負担が大きい、旦那に伝わらない ・何ヶ月～と書いてあってもその通りではない(食べ物や、おもちゃも)(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
思ったよりも育児にお金がかかること。 医療費が無料であること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
乳幼児の時は色々教えてもらう機会が多くあって子育てについて色々知れましたが、6ヶ月を超えたあたりから少なくなって、教えてもらう機会が無いと知らなかったです。産まれたてから、少し大きくなって色々また変化が出てくるときにも、月齢にあった教えてもらう機会が欲しかったです。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後になって夫が激務の部署へ移動させられたことによる家事育児の躰寄せ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
想像の数倍大変で、楽しい(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに子どもがご飯を食べるのを嫌がったり、寝るのを嫌がったりするとは知らなかったです。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
赤ちゃんと一緒だとこんなに家事や自分の生活ができないことを知りませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
37.5度以上発熱した場合、解熱後24時間は登園できないこと。その場合に区の病児保育施設が満員で何度も使おうとしたが予約が取れないこと。代々として民間のベビーシッターを手配すると2万円/日以上費用がかかり、発熱で数日休むと、保育園料と総額で10万円以上/月の出費となり家計がとても苦しくなること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
児童館や育児学級など子育て支援や、情報交換や遊ぶ場所があって無料で利用でき大変助かっている。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
児童館の存在を知らなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
日曜に遊べる屋内の公共の無料の場所がほぼない。(特にハイハイ期)(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
離乳食をなかなか食べてくれなかったこと。途中早い段階でミルク拒否になったこと。子どもが寝ながらおっぱいを飲むこと。夜間授乳がなくなること、まとめて寝られないこと。想像以上に職場復帰した際に以前と同じようには働けないことが予想されること。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

想定していなかったこと 夫が育児にほとんど参加しないこと。私が体調を崩してようやくサポートしてくれるようになった。(体調を崩さないとサポートしてくれない)
知らなかったこと 1歳になると途端に連日具合が悪くなって薬漬けの日々になること(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
予防接種や定期検診など計画的に進めないといけないものがあること。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保活の大変さ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
女性の方が負担が大きいこと 産後ケアはあるけど、子育てケアがもっとあったらいいのにと思った(ママがもう少し休める環境がほしい)(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てひろばや児童館など子どもに関する施設を知りませんでした。地域の病院などの情報交換ができて助かっています。 保育園や幼稚園の情報が、個々の園に確認しなければいけないのが不便だなと感じます。各園の方針や給食有無など、最低限の情報をまとめたものがあればなーと何度も思いました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自分が寝たい時に休める訳ではないこと SIDSの予防方法(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
昔の子育てと今の子育てが違うということは想定していませんでした。 子育てをしていると自分たちの親からアドバイスを受けますが、昔はやっていたことも今はしないのが普通ということについて私たちは受け入れられるけれど、親世代にはなかなか伝わらず…自分の親には言いやすいけれど、特に義父母には言いづらいという場面がよくあります。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
夫の職場ではまだ育児に対する理解が乏しく、残業などが多くて家庭での家族の時間があまり持てない。社会的にも育児に関する認識は変わってきているが、まだまだそうでない業界もあることに少し驚きました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
これ程までに自分の時間が無くなるとは思っていませんでした。でも、それはそれで今を楽しめてはいます。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供が産まれる前とは生活ががらりと変わり、知らないことだらけでした。妊娠中にも、出産後の事を知ることができるよかったなと思います。産後は余裕がないので、少しでも余裕のある妊娠中に色々な情報を得ておきたかったです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
ここまで出産以降のことを何も知らないとはわかりませんでした。コロナで亡くなった妊婦教室？が開催されていれば…母乳のことも何も知らなかったので、すごくつらかったです。病院から退院した翌日、胸が張って硬くなり熱も出たけど、そんなことが起こると誰も言うてくれなかったので困惑しました。あと、入院した病院が産後ケア対応施設でもう数日泊まれたのに、それも後から知りました。区の支援事業について出産前はほとんど知らなかったです。母子手帳をもらう時、山盛りの(ほぼ読まない)冊子よりも、支援事業の説明をしてもらったらいいのと思いました。それか児童館に案内してもらおうか。児童館によってはそういうのほとんど案内してくれないところもあるので、最初に行ったところが微妙だともう次行く気をなくし、1人で孤立していました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
想定以上に日用品にお金がかかる。 夫の転職により帰宅時間がかなり遅くなりシングルマザーのような日々。 自分の会社ではひとりっ子が計画年子で育休連続取得している人しかいなかった。一回目の産休は暖かく迎えてくれたけど、2回目を望んだ時にどうなるのか不安。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

1年経っても夜間授乳がなくならないこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
最近はいやいやがすごく、思い通りに進まないことが多いと感じます。 特に食事の時は野菜を食べさせるのに、とても苦労しています。 仕事している方が楽だとは思いませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
産後の体調が想定以上に悪かったが、1年が過ぎた頃に大分回復し、元通りになりました。目も老眼などの症状が出て、悪くなるとは知らなかったのですが、今は回復して元通りです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
児童館や一時保育が近くにないこと。非常に困っています。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供特有の病気の知識(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
すべてにおいて、出産前には想像もつかないことばかりです(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
児童館がこんなにも素晴らしく、ありがたい施設だとは知りませんでした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
一時保育の場所が少ない。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
児童館の役割を知らなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
父親である夫の子供への関心度が思ったより低い(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
発達に個人差があることは分かっていたが、想像以上に気になる、心配になってしまうこと。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
離乳食は誰でも食べるしベビーカーも普通に乗るものかと思っていたが、苦戦した。歯磨きも嫌がる中無理やりやるものなんだなと思った。でも試行錯誤しているうちに解決したら別の悩みに切り替わるので悩んで塞ぎ込むことはない。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
特になし(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
自分の時間が全然とれない。今まで許容できていた夫の趣味の時間にもイライラするようになった。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
離乳食時のスプーンやフォークの練習について知らなくて、食べさせたり掴み食べばかりさせていて、上の子は3歳になっても上手く使えず後悔している。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供が二人以上いると、保育園や区役所に出す書類、予防接種の予診票をゆっくり書く時間がないことに気がきました。もう少し提出物が少なくなると思います(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
母親の代わりは他の人にはできないということ いかにも母をまわりがサポートすることが大切か 産まれる前は、夫や家族がしっかり？していればなんとかなると思っていた もうひとつは、こどもによめ全然違うので他人のアドバイスがあまり役に立たないこと 共感してもらえたりする空間の方がよっぽど居心地良い(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自治体の子育て支援の手厚さについて知らなかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供の体調不良や病気の種類(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
うまれる前より後の方が大変と誰も言ってなかったこと。上の子にイライラしてしまうこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

(悪いほう) 家周辺の車の通行量の多さ、歩き・路上タバコの迷惑 (良いほう) 公園や児童館のありがたさ、地域の人々の温かさ (その他) 地域とのつながりの大切さ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに子どもが病気するとは思わなかった(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
①自分の生活リズムが崩れることは想定していませんでした。 ・早寝早起きのリズムでなくなり、いつ起こされるか分からない。 ・いつもの食事の時間のリズムが崩れる。(1人目はずっと泣いていて、泣いたら抱っこを徹底していたので昼寝をしてくれた間が自分のお昼の時間でした。)
②こんなに旦那との関係が悪くなるとは想定外でした。(子どもの母親(2人目以上) 40代前半 1歳0か月-1歳5か月)
まずは、出産のための産院の予約が取りにくかったことから始まり、ほとんどすべてすらなかった。育児給付金のことや、保育園のこと、児童館など、ほぼ、何も知らないことから始まった(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
些細なことでもとてもイライラすること。 家事の負担がとても増えたように感じる。 じかんがない。(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
特に無し(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
夫が家にいないことが多く、どちらの親元も遠いと、自分の時間がなさすぎる。一時預かりにもお金がかかるので躊躇してしまう(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに育児が大変で孤独だと思いませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園入園までの準備、手続き関連は全く知らず、手探り感がありました(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
産むときは大変とよく聞いたが、産んだ後の方がより大変なこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
法定健診そのほか、区の助成で受けられる健診もあり、想定よりも仕事を休むことが多い。仕事復帰後に、土曜日に健診や予防接種が受けられる病院を慌てて探した。 0歳で保育園に預け仕事復帰したが、保育園に預けると使えない制度(育児の分割取得やサポート支援)などもあり、使える制度が思いのほか少なかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
パートナーとの関係が悪化(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
自分が産後体調が悪くなるのは想定外だった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育てがこんなに体力とお金と時間を必要とするとは思いませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
体調不良のときの対応。良い小児科・耳鼻科・皮膚科等を知らない、どこに・誰に頼っていいか分からない、どこまでは様子見でどこから専門家に見てもらわなければならないか判断がつかない。子供の体調不良は、日中も不機嫌で大人も大変なのに、夜も寝れなくて大人も睡眠不足になり、家族全身体調が悪くなること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
産後の体調不良が壮絶だったため、1年半以上経った今も産前のような元気はない。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
<自治体名>は児童館等の子育て支援に恵まれていると思う(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)

子ども一人一人個性があるので、必ずしも育児本通りにはならないという点(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
経験しないと分からない大変さ、愛おしさがあった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育てをしてみると、区によって子どもが遊べる施設や公園の数が全然違うことに気づきました。 <自治体名>でこども向けの施設や公園などもっと知りたいです。また渋谷区や品川区のように子どもが遊べるような大型施設も出来ると嬉しいです。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園に入るのが異常なほど大変。両親が共働きでも入れない園もある。また夫でも妻でも、失業して休職中だと、申請時のポイントが一点しかもらえず、ほぼ保育園に入れるのが不可能という事実。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
住民税を多く払ったことで認可保育園に落ち、払った甲斐がない。不満。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
たまに女性用トイレにしかオムツ替え台が無い場所がたまにあり、男性も子育てに参加している現況とズレていて困るときがあります。 また、子供と一緒に乗るために買った電動アシスト自転車は地下であれば子供を自転車からおろして抱っこしながら下り坂を降りるなどとても無理だったり、頭上に上げるタイプはまず無理だったりと制限があるなぁと感じています。いずれ駐輪場も子乗せタイプは優先にならないかな…と思うところです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
思ったよりも買い物が大変。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
乳幼児の肌のケア。 こんなに汗疹になりやすいとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子育て支援と言いつつも、結局頑張って働いてる人にはそんなに関係ない。支援たくさんもらってるの方がいい生活してる。ならば公平にしてほしい(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
産後の体調(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
1左右のおっぱいが連動すること。 2保育園に入れるのが寂し過ぎた。 3保育園の洗礼は子どもより親の方ががっかり受ける。 4妊娠中より出産後のほうが太る。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
コミュニティやイベントの少なさ(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
自分の時間が思っていた以上にない 大人のご飯を作るのが面倒になっている 自分の食事は後回しになりがち(子どもの母親（1人目）、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子供を預けられるところが少ない(子どもの母親（1人目）、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自分自身の働き方について常に考えさせられる。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
とてもお金がかかり、子供の体調不良などでうまく働かず、3人育てるのはこんなに大変なんだなあと思っています。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもが生まれてから、こんなに頻繁に病院に通うことになるとは想像していなかったのですが、医療費補助などがあり経済的にとても助かっています。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
仕事をたくさん休まなければいけないこと(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)

親が食事をしていないと、子ども1人では食べないんだ、ということ。ここまで親の様子を見て真似っこしていること。良い意味でも良くない意味でも、子は親の鏡。であること。 周囲から五感を使って学びとって成長していること。子どもの成長に合わせて、子どもを信頼して任せる、見守る距離感、が必要になってくること。 ダメダメの連発では子が混乱してしまうこと、危険、お行儀が悪い等のランクわけが必要なこと。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
ワークライフバランスの難しさ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
障害をもってうまれてくるなんて(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
<自治体名>の教育水準が低い。それなら住みたくなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子ども不可の賃貸住宅が多い 花火できるところがない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
児童館や公園が<自治体名>にはたくさんあること。(子どもの父親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
当たり前ですが、子供ができると広い家が必要になり、家賃の負担が増えること。(子どもの父親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
エレベーターがベビーカー優先と記載があるのに譲らない人が多いこと。(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもの元気の良さ。(子どもの父親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
第1子という事もあり、日々の成長や子どもの個性に想定していないことや知らなかったことが多く、発見の多い毎日をごしています。 思ったよりも大変で、でも楽しいな、と思いながら日々を過ごしています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
公園の遊具や児童館、図書館など古さ。他の区に遊びに行くととても感じます。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
全て産んでからわかったことだらけ。ハイハイより先につかまり立ちしたなどの成長過程。産む前は、保育園にあずける気満々だったが、産まれたら悩みに悩んで、幼稚園からにすることにした。子育て関連読み漁り、母親との信頼関係を育てるのが大事な時期だろうと考えが変わったため。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
そもそも、育児がこんなに大変なものだとは思っていませんでした。自分の時間がここまでなくなるものだとも思わず、生活が一変しました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
ベビーカーで行動する大変さ（<地域名>にはエレベーターなく、空港への乗り換え大変）公演のありがたさ、子どもの夜泣きの激しさ（現在2歳2ヶ月ですが、夜驚症疑いで小児科に受診中）時短でも家事育児負担が母に傾きすぎて（元々父親の方が給与水準高く、合理的な判断により母が時短することに決めた）疲れ切っていること。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
フリーランスで働いている母親が支援が何もない、情報もない。保育園に預けるのもとても大変だったし2人目を考えた時に保育園にそのまま預けられるのか不安。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

子供がこんなに可愛いってこと笑。 子供がくっついて寝るのであまり深い睡眠がとれないこと。 くっついて寝られる悩みは他の方に聞いても5歳くらいまで続くそうですね。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
毎週休日の子供と遊びに行く場所を探す生活になるということ(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
助成金や割引があること(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもができることの多さ、成長の速さ(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
15歳までの子どもの扶養控除が無かったり、児童手当に所得制限があったり、保育料に累進性があったり住民税額支払い額が高いほど入園順位が下がること、納税すればする程に子育て支援から外される事を知り、大切な我が子が除外される事にとっても悩みました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
徒歩5分の場所へ行く時、子供と一緒にだと30分かかることもあるということ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
抱っこ紐を利用できるころが一番動きやすい。 2歳ごろになると連れて買い物にいくだけでも大変。 想像以上に病気をもらってくるのでその看病だったり、それで仕事を休む気まずさだったり、悪天候の中での保育園の送り迎えだったり、聞いていた以上にどれもこれも大変です。 それが全部吹っ飛ぶくらいの子供の可愛さも想像以上でした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
現在共働きですが、自分も熱を出し、子供も熱を出した時、主人が働いている時間帯(特に泊まりの勤務などがあるため)どうすれば良いのか想定していません。頼れる場所があるのかもわかりません。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもは保育園に入ると病気ばかりもらう。仕事にならない。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
すべて(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
病気の時のお薬は、子供用に甘くしてくれている事があり大好きでしたが、溶連菌にかかり、抗生剤が苦すぎて、いろんな方の知識をかり、チョコレートアイスで乗り切りました。 薬局によっては、子供用の無料の保険薬対応していない薬局がある事を知り、とても嫌な対応を受けて悲しかった。 もっと入り口前に記してほしい(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
夫の物忘れの激しさが想定外でした。子供のお出かけに必要なグッズの準備を忘れます。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
自分の体力と脳みその退化(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
とにかく活発で想定以上に目が離せないこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなにプレッシャーがかかるとは思わなかった。 こんなに身体的にも負担があるとは思わなかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

こんなに子供の成長していくに伴って次々と状況が変わっていくことを知らなかった。例えば離乳食でも前半と後半は全然違うし、一歳でも0ヶ月と6ヶ月だとだいぶ違う。今まで、何歳ですか？と聞いて、月齢まで言われると、そこまで求めてないぞと思っていたけど、ああ、なるほど…と、やっと意味がわかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもの体調不良で仕事を休みがち(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、2歳0か月-2歳5か月)
とにかく1人目は”脳みそが入れ替わる感じ”なのでいくら育児書なんて読んでいても、全てが未知との遭遇でした！(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
2歳差育児の大変さは想像以上でした。 上の子に時間を合わすと下の子は全然睡眠時間が足りない。 公園に連れて行きたくても、近くにないとベビーカーと歩き、もしくは抱っこ紐とベビーカー、と選択肢があるが抱っこは腰痛に響き難しい。おんぶで自転車乗れるまでどこにも行けないとおもった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
同じように育てた姉妹の個性がバラバラで、特に食べ物の好みが違うので食事の準備が大変なこと。 食べない時は本当に食べないこと。 寝かしつけに1時間以上かかる時があること。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
共働き世帯で親の支援が得られない場合、1人育児はこなせても、2人育児の負担は非常に大きいことを理解しきれていなかったと感じる。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子供がいることに理解の少ない職場もある(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
区の色々な支援事業があること(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自分自身の体力の無さ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
働いてなくても子供を預ける場所がもっとあれば良いと思います。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
区や都の子育てに関する政策や補助について(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
仕事と家庭と育児の両立の大変さに気付かされています。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保活について。漠然と大変そうだと思っていましたが、保育園が決まったら引越しが難しくなることは盲点でした。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
出産、育児が始まってから妻の性格が一変し攻撃的になった。(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自分の時間がほぼゼロになること(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自分の時間があまりにもないこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、2歳6か月-2歳11か月)
区のこども向け施設などが古すぎる、アナログな手続きが多い、区の格差がある(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の子供が騒いだりわがまま言ったりすると、すごくイラッとするのを初めて知りました。 人のうちの子供はわがまま言ってもかわいいなと思ってましたが、自分の子は、家に帰っても、外につれてってもずっと一緒に、逃げ場がなくて、周りの人が優しくしてくれない場所にはどんどんいけなくなっていました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)

ベビーカーを使うようになり公共交通機関や商業施設でのバリアフリーについて気にするようになった。少しの段差でも危険が伴うことや、駅構内でのエレベーターの少なさに絶望しました。商業施設でもエレベーターは満員で乗れないことは当たり前。ベビーカーでの外出がここまで大変だとは思っていませんでした。おむつ交換場所も限られることも苦勞しました。ベビーカー専用エレベーターを作るなど改善をお願いします。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
高所得であるほど認可保育園に入りづらく、認可保育料がとて高く、認可外保育料補助は所得制限で補助がない。育児と両立しながら高い税金を納めているのに負担感が大きい。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなに大変だと知らなかった、が正直なところです。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
小さなことでも、育児の方針について、夫と意見が分かれるときに、何が子にとって最もよい答えなのか迷うことがあります。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子供が過ごすスペースは手の届くところをすべて片付けないといけないこと(片付け苦手なので)(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
想像した何倍以上に、幸せ。 産まれてきてくれて良かった。 想定以上にお金が必要。政治に関心を持つようになった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
イヤイヤ期と言うものがあるのは知っていたが、想像以上に大変だった。 ずっと2人子供が欲しいと思っていたが、いざ子育てすると1人で手一杯で2人目に踏み切れない。金銭的にも不安が多く、1人の方が賢明であるように感じる。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
断乳したら朝までぐっすり寝ると聞いていたのに、我が子は2歳半になってもまだぐっすり寝てくれず、今ではそういうタイプなんだと理解しています笑。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
扶養控除がないこと。 学区制であること。 子どもは室内で遊んでるだけではフラストレーションが溜まること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子育てしながら働いている人への周囲の目は復帰してみないとわかりませんでした。意外と足引っ張ってくる人もいますとか、子育て仲間の有り難さとか。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
家事の時間がない、自分の自己研鑽(仕事の本を読むなど)の時間がない(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
個人差が激しすぎること。 言葉では理解できても、どこまでを個人差とするのか計りかねる事が多い。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
医療費はかからないのはありがたいが、結局生活費がとてかかるので、楽になるわけではないこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
保育園費が高い(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の身体がこんなにボロボロになるとは思わなかった。子どもを産むとはそれだけ大変なことだったのだと実感している。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなに大変とは思っていなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
たくさんある。おっぱいをあげることがしんどい(寝不足になる、吸われると乳首が痛くなる)、自分の時間がほぼなくなる、送り迎えがあるのでフルタイムで働くのは無理、などなど、知識としてはなんとなく知っていたが実際経験するまではきちんと理解できていなかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)

働いていないと、受けられるサポートがあまり無い。あってもとても利用しにくい。教育に関する情報があまりない。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
全部です。赤ちゃんが夜中寝ないこと、離乳食を食べられるようになるまで時間がかかること、イヤイヤ期のことなど全てが想定外でした。百聞は一見にしかずです。(子どもの母親(1人目)、40代後半、2歳6か月-2歳11か月)
小児の救急医療の入り口が狭い。母親の再就職の難しさ。いざという時に頼れるサービスの少なさ。移動や外出の難しさ。遊び場の少なさ。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
時短で働いた時の減給の凄まじさ。笑 1人目出産後は、2時間時短勤務でしたが、こんなに引かれるの！？と思い、2人目出産後は30分の時短で働いてます…毎日へとへとです。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
最初の子を産んでから10年、こんなに再就職のハードルが高いとは思わなかった。出産を機に退職したが、辞めるべきではなかった。ここまで少子化も進み、さらには子育て世帯にさえも世の中の制度や税のかけ方など負担になってくるとは思わなかった。子供がすくなくなるということは将来の働き手がいなくなるということ。この国はそれすらもわからなくなってしまったのかなと思う。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
親の頑張りと子どもの成長の仕方が必ずしも比例しないこと(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子どもを連れてのお出かけの難しさは想定していませんでした。ベビーカーだとエレベーターを探したりなど、子どもを連れて行きやすい施設やご飯やさんを探したり…こんなに掛けるって大変なのかと思いました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
二人目が保育園に通い出して二人いると当たり前ですが病気をもらってきてうつされることが2倍、、、。親である私も年齢が上がっているため一人目の時より治りにくく長引きやすいです。二人目あるあるなのかな。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
定型児が生まれることが当たり前だと思っていたので、 非定型児に対する接し方がわからず、毎回知らないわからないことばかりで辛い(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
案外何とかなる反面、そこに甘えてはいけないこと。(子どもの父親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
正直思った以上にお金がかかる。(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
特にに浮かびません(子どもの父親(1人目)、40代後半、2歳6か月-2歳11か月)
近所の住人に喫煙者が多く、煙が家の中まで入ってくるので子供達への影響が心配です。(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
出産費用が高すぎます。(子どもの母親(1人目)、20代前半、3歳0か月-3歳11か月)
保育園関係費用について(子どもの母親(1人目)、20代後半、3歳0か月-3歳11か月)
コロナの発生と年少扶養控除が無く、消費税の増税や社会保障の負担がどんどん大きくなり、ロシアとウクライナの戦争によって物価が高くなり暮らしにくくなった事。(子どもの母親(1人目)、20代後半、3歳0か月-3歳11か月)
日々、こどものやる事が突拍子もなく驚く。思い通りになることは何ひとつないし、諦めの境地のなかで育児をしている。他人がぱっと思いつくアドバイスは、全部やったあと。「待ち」「見てるだけ」の時間多いが、気は抜けないので、ぼーっとしてるわけではない。笑う時間がすごく増える。驚くほどあっという間にお金がなくなるが、無駄なお金が大多数(ご飯をつくっても食べない分の食費、こどもと荷物持たずタクシー、ちょっとした交渉につかうお菓子など)(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)

出産後～2ヶ月頃までの育児がこんなにも大変なのを知らなかった。授乳、寝かしつけ、泣いた時の対処などなどとにかく色々情報を探していました。
児童館の集まりが色々あるのをあまり分かっていなかったの、近くの児童館を通った時に知りました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
よく食べる、大人向けの味も食べられる(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
仕事と子育ての両立が女性は特に不利(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
扶養控除が無いこと、児童手当に所得制限があること(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子育ての情報が想像以上に溢れており、忙しい日々の中で必要な情報にアプローチすることが難しい(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
想定以上に子どもの力が強く、親が怪我をしそうになることがある。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
産後うつについて(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
病児保育があるのを知らなかった(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
妊娠しやすい年齢のこと 2人目が欲しいけど、なかなかできないし、すでに更年期の症状が出始めている気がして、もっと若いうちに知っておけば、子作りを早めたかもしれない(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子育てに関する全て(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こんなに相談窓口があるとは思わなかった。幼稚園か保育園は、義務だと思っていた。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こども向けの行政サービス、公共交通機関利用時の問題(ベビーカーでのバスの乗り降り、駅構内のエレベーターのありなし、電車の混雑時の子連れでの利用など)(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
3歳児検診が平日にあること、必ず受診しないといけないこと。 真夏の日中に1時間も拘束されてしないといけないことなのか、疑問に思う。
共働きの家庭が多い時代に合わせて、受診日を選べるようにして欲しいと思った。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
仕事をしながら子育てをすること、またイヤイヤ期は想像以上に大変なことだと知りました。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
補助金や子育て支援サービスが思った以上に厚かった(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
健診の機会がきちんとあること。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
自分の子も他人の子も、子供は子供だった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こんなにも子どもが体調を崩すとは思わなかったし、一年に一回引くか引かないかの主人がこんなにも子どもの風邪をもらうとは思わなかった(病人が二人は大変)(子どもの母親(1人目)、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)

子供の成長が思うようにはいかないこと。(子どもの母親（1人目）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
家事育児の負担が想定以上に女性にかかること 仕事で他者と同様に成果を出さなければいけないこと(子どもの母親（1人目）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
赤ちゃんが2、3時間おきに起きる。 お父さんになっても何も学ぼうとしない。 子供の成長がびっくりするぐらい可愛い。 子供に怒ってしまう時は大体旦那が原因で自己嫌悪になる。 保育園の料金が思ったよりも高い。(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、3歳0か月-3歳11か月)
妊娠中頻繁にひゃっくりを出していた子供は5歳になる今も数日に1度でており、頻度が比較的多いと思った。兄弟児はそんなことがなかったので、妊娠中の特徴が産まれた後も継続していて新鮮に感じている。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
思い通りにいかないことが多い。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
学費(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
・睡眠が十分にとれない日々が続くことが、どれほどしんどいことなのか、子育てをして初めて知りました。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
すべてのことが想像以上でした。 3時間おきに授乳というのは3時間は眠れるのだと思っていたし、空のベビーカーを押して赤ちゃんを抱っこするママを不思議に思っていました。 子どもという生き物が大人と全く違うこと、自分の時間がないということの意味が分かっていなかったです。 家事と子どもの相手を1人で同時にすることの大変さとストレス、それを同じ空間にいながらやっていない人には分からない不思議…。 電車やお店で子連れを助けてくれる優しい方がどれほど多いか。 子どもの、自分に向けてくれる愛情と信頼。
夫は育児の戦力にあまりならないことは想定していなかった(家事はするが育児は子どもの送迎くらいしない)(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子育ては楽しいばかりじゃないこと(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
赤ちゃんは夜中に起きるということ。第二子に至っては睡眠が安定したのが3歳くらいだったのでしんどかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
地域のつながりを持つことから得られる幸福感(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
日本は子育てしにくい。 子どもと母親への目が冷たい。(子どもの母親（2人目以上）、50代、3歳0か月-3歳11か月)
自分の時間みたいなのが無くなること(子どもの父親（1人目）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
教えてあげなくては、寝ることも食べることも上手にはできないということ。(子どもの父親（1人目）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
自分の時間が取れないという言葉が、トイレすら自分の行きたいタイミングで行けないという意味だと想定していなかったです(子どもの母親（1人目）、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)
子育てが育児書どおりにいかないことばかりだということ(子どもの母親（1人目）、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)

安定して働くために行政とパートナーの力を沢山借りていますが、それでも体調を崩してしまったので誰かの手を借りないと育児は難しいのだなと思いました。また独身時代同様の価値観で働くことは厳しいと感じました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子育ての大変さ。特に産後は纏まった睡眠が全く取れなくなる事。(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
療育(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
道路に落ちているゴミや、見通しが良くはない曲がり角などが意外と多いこと。 住んでいる家、地域にもよると思うが意外と子供と外でごはんを食べようとすると場所がない。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
<自治体名>はまだまだ保育園に入りにくいと思う。周りでも兄弟別園に通っている人がいる。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
・保育園時代より小学校入学後の方が仕事との両立が難しい。預かり時間や会社側の時短勤務制度切れなど。 ・フルタイムで働いている子育て中の女性はかなり少数派であること ・子育て支援系は「世帯年収」で区切られることがまゝあること。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
こんなに何度も毎日見て見て！聞いて！と言われるとは思わなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
自分の狭量さ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
多胎児についての情報のなさ。そして、区のイベントは子供が多数いることが想定されておらず、産後ケアも学習会なども単体児じゃないと実質は参加できない。(親1人子1人、対象以外の子供は一緒に参加できない)(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
毎日が大変。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
同じ親から生まれた兄弟でも、ひとりひとり個性が違う事。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
核家族での、0歳時の壮絶な寝不足とか、精神的不安定、それに伴う仕事のパフォーマンスの低下などは、体感しなければ、認知も理解もできないもので、それが、第二子を踏みとどらせる大きな要因になっていると思います。 仕事と両立できない、持ち堪えられないという職場環境の人が多いのではないのでしょうか。 産休、育休中の人の家に乳児保育マイスター（仮）の様な人が、支援する制度を公費負担で必要量利用できるようなれば、雇用も生まれ、出生も増え、長い目で見れば、地域の活力や魅力に繋がってくる様な気がします。(子どもの父親（1人目）、40代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子供への教育や育児関連の支出、時間の投資などの規模の大きさ。あらかじめ想定はしていましたが、今の日本において子供は贅沢品、というか十分なお金がないと授けられない経験であることをみにしみて感じます。少子化傾向の日本においては出産・育児が簡単なものであるという環境に変えないと、少子化に拍車がかかるだけだと感じます。病人と高齢者がいかに優遇されているかが良くわかりました(子どもの父親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
学童に入ることが大変かもしれないこと。「小1の壁」という言葉。(子どもの母親（1人目）、30代前半、5歳0か月-5歳11か月)
整備されているようで、道路には危険がいっぱいで、普段歩き慣れた道でも子どもと一緒に歩くと注意しなければならないことに気付かされています。ベビーカーを押していると特に感じており、小さな段差や道の傾きでも通りにくいところが多いと感じました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)

公共交通機関や公共・娯楽施設、スーパーなど日常の様々な場所で、子育て中の肩身が狭く感じるがあった。海外では、当然のごとく席や場所を譲ってくれるような場面でも、日本では知らんぷり、スマホばかりみて気にせず、われ先に、邪魔扱いをするなど。日本人の弱者への優しさ度の低さを感じている。 お金や場所だけでなく、そうした日常の何気ない場面での、周囲からの子育てをしている人達への理解、優しさがもっとあると、子育てもしやすい。引いては出産率も上がるのではと思っている。(子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
ファミサポとか気軽に登録してお世話になろうと考えていたが、子供が多動ぎみ活発過ぎて、何かあってはまずいと思い諦めた。コロナ渦もあり(子どもの母親（1人目）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
引越しに伴い、保育園の転園をすることの難しさ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)
女の子と男の子の成長の差(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
自分の時間がないとは聞いていたが、トイレや食事すらまともにゆっくり時間が取れないものとは思ってなかったです(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
自分が休みたいときに体を休めることが絶対的にできないこと。 また、保育園は働くママの事を中心に様々な面でサポートがあるが、小学校にあがると即座にサポートが手薄になるだけでなく、地域活動やPTAも強制的であり、ますます自身の子供との時間がとりづらくなること。社会全体で子育てを支援する形のはずであっても、昔ながらの体制が変わらず残存し続けており、特に多くの方が疑問を抱きつつもそれでも変わらない（PTA強制加入等）事項があり、共働き世帯が自身との子供の時間がますますとれないケースがあることについては正直全く想定していなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
地域のお祭りや町内会活動に関心を持つようになり、実際に参加するようになった。社会人としての視野が広がり、社会やコミュニティ、周りの子ども達への関心も高まった。(子どもの父親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)
子育てがかなり大変と聞いていたが、予想以上に大変だった。 産休中は孤独で話せなかったので、職場復帰できて気分転換になり、元気になった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
アソビでは育児はできないこと 社会や会社が育児を女性に押し付ける構造がずっと変わっていないこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
学童に入ることの難しさ(子どもの母親（1人目）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
物が増えること。色々決めておく必要があること。(かかりつけの病院や医院)(子どもの母親（1人目）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
40代の子育ては体力的に大変だった(子どもの母親（1人目）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
療育施設が充実しているということ。(子どもの母親（1人目）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
仕事とのバランス 預かり保育の少なさ(子どもの母親（1人目）、50代、6歳0か月-6歳11か月)
偏食やトイレトレーニングが大変でした。(子どもの母親（1人目）、50代、6歳0か月-6歳11か月)
産後は早めに仕事を再開したいと考えていたが、実際家の事をしていたら時間がなくて、全然仕事復帰に向けて動けませんでした。(子どもの母親（1人目）、50代、6歳0か月-6歳11か月)
身近に子どもがいなかったため、1人目のときは想定していなかった、知らなかった、ことばかりだった。 特に母乳については、出ないことに悩み、乳腺炎に何度もなりトラブル続きで 想定外のことだらけだった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)

予想よりお金がかかったり、子どもの進路などに迷います。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
子供を育てながら働くための一定の条件を満たすためには、やはり自分の何かしらの犠牲や負担がやはり大きいこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
子供が発達障害だったこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
長年生きていて、コロナはまったくの想定外でした。コロナ禍での育児は、かなり不安が大きかったです。今後このような状況になることがないといいなと思います。(子どもの母親（2人目以上）、50代、6歳0か月-6歳11か月)
共働きで、両親の助けがない場合子育ては難しい。保育園いってからは病気ばかりでびっくりした。まともには働けない。(子どもの父親（2人目以上）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
自分の時間があまりにも取れなくなること。 子供は土日のどちらかでも預かってもらえるとたすかる。(子どもの父親（2人目以上）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
自分の時間が無くなること。(子どもの父親（2人目以上）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
保育園入園が非常に困難だったこと(子どもの父親（2人目以上）、50代、6歳0か月-6歳11か月)
授乳の大変さ(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
特になし(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
1日中家にいるのに仕事をしていて12時間家を空けていたときよりも何もできないこと。家にいるだけでも疲れやすくなること。外に軽くお出かけしただけでも疲労がすごいこと。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に眠れない(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
余りにありすぎて書ききれない。 特に発達の仕方やミルクの飲み具合、睡眠の長さなど、生まれてすぐから個人差が大きいことに戸惑っている。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
あまりにも寝られないこと。頻回授乳のペースが異常に早く、1時間程度の睡眠がずっと続くこと。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
出かけるたびに授乳室を探しています。なかなか見つからないことも多く、こっそり車の中で...なんてこともあり想像できていなかったです。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
新生児の時は、想像以上に夜泣きが酷かったり、寝てくれなかったため驚きました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
そもそも子育ての仕方が分からないという事が分からなかった。どこかで教えて貰えるのかと思ってた。 相談先や頼りにする先が分からなかった。 またひよやゼクシィベビーなどの雑誌やネットが頼りな感じだった。が、その情報がただしいのか、求めているものなのか判断するにも自分の中に子育てなどの基本情報が少ない事が分かってなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
第一子の時、こんなにも寝れないものとはわかりませんでした。3時間おきの授乳だとしても、おむつ替え、授乳、寝かしつけで時間が取られ、寝る時間はほぼなかったです。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

産後の母親の体調(精神面含め)が不調になるとは知らなかった(子どもの母親 (2人目以上) 、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
仕事に対してもう少し働きやすいと思っていましたが、通勤距離や勤務時間など縛られることが多いことを知りました。 また、1人より2人になるとますます条件が厳しくなりました。 子育て中のお母さん達にも働きやすい方法がもっとあるといいのになと思います。 これから求職活動がんばろうと思います。(子どもの母親 (2人目以上) 、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
下の子に向き合う時間が、上の子といることでなかなかない。(子どもの母親 (2人目以上) 、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
海外出張や長期出張に行くハードルがとても上がった。(子どもの父親 (1人目) 、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子育て世帯の制度の悪さ(子どもの母親 (1人目) 、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
住環境のこと。子が生まれてから、賃貸アパートでの子育てに限界を感じ引っ越した。もっと前々から考えていれば良かったと思った。(子どもの母親 (1人目) 、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
現在子供の発達について不安があるが、発達障害の親戚もいないため生まれる前は定型発達の子が生まれて当然だと思っていた。(子どもの母親 (1人目) 、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
仕事とは違い、育児には評価されるということがないことを感じる。(子どもの母親 (1人目) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
オムツとミルク代がこんなにかかるなんて思わなかった。(子どもの母親 (1人目) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
16歳未満の年少扶養控除がなく、児童手当の所得制限のみあること。(子どもの母親 (1人目) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食の手づかみ食べ…まさか毎日こんな大変だとは思わなかった。(子どもの母親 (1人目) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳間隔がこんな短いとは知りませんでした。産後の体の辛さも勉強不足で知りませんでした。(子どもの母親 (1人目) 、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
母乳はすぐに出るものだと思っていたが違った！(子どもの母親 (2人目以上) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
イヤイヤ期の大変さ。車に乗せるだけでこんなに手こずるとは…。(子どもの母親 (2人目以上) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供の預け先がなく、思ったように仕事復帰出来ない。(子どもの母親 (2人目以上) 、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもが1人の時は大丈夫だったか、2人目が生まれ、心身ともに余裕がなく、こんなに自分がイライラしやすい性格だったとは知らなかった。(子どもの母親 (2人目以上) 、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
母乳は思ったより出ない。 新生児は泣くけど、涙が出ない。 予防接種が多いなど日々あります。(子どもの母親 (2人目以上) 、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
思ったよりお金がかかる 子供によって子育て難易度が違いすぎる(子どもの母親 (1人目) 、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
未満児の保育料がとても高いこと。(子どもの母親 (1人目) 、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)

こんなに寝ないこと 離乳食作りがとても時間がかかること 病院の待ち時間がとても長く、しかも頻繁にいかないといけないこと(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
支援センターが家の近くにあること全く知らなかった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供の個人差がすごい(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
ほぼ全て(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供の体調が悪い時、自分や家族も体調を崩したり、仕事が忙しかったりと、いつも余裕をもって看病できるわけではない、ということを想定していなかったです。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
自分の親（子の祖母）を鬱陶しく感じる事が増えたこと。協力は有り難いが、子育てに対する考え方やペースなどが違い、余計にイライラしてしまう事がある。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
諸々の講座や育児支援のサービスについては知らなかったです。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後のメンタルと体の不調（腰や肛門が痛かった、尿漏れ、抜け毛など） 夫婦の在り方の変化（夫との子育てへの意識の違い）(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てや子供と一緒に生活は自分が想像していた以上に制約と負担が多いと思いました。しかしそれと同じぐらいには楽しいことも多いと思いました。現在では2人育てていますが、経験がものを言うことの最たるものが妊娠子育てだなと思います。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
手足口病などの感染症に対する知識(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
想定していた以上にうちの子が食に関心がなくて離乳食に苦労したこと。今も食べれるものが少ないから工夫するのが大変。ハイハインなどのお菓子を全く好きじゃないことにびっくり。うどんなどの麺類も好きじゃないから外食がまだできない。 とても怖がりだから新しい環境や他の赤ちゃんの声が苦手。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
イヤイヤ期の子ども車に乗らない問題。 ぬいぐるみと登園。 病児保育の受け入れの少なさ。 それによって仕事に支障がでる。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
一時保育の制度は知っていたけれど、当日すぐの利用はできない（予約状況や準備等でなかなか難しい）ことや、いきなり長時間は避けた方が良い、と言われること。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子育て支援センターが意外と近所にあること。保育施設と隣接されているところは園児以外は入りにくいと勘違いしていた。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
配偶者を嫌いになった 子育て前は想像もできなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
寝不足がここまで自分の体調に影響するとは思いませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
思った以上にお金がかかるところ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子供は親のことが大好きということ。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)

周りの子達と成長の差が出てきて、その差が縮まることを信じていたが、本当はその差が徐々に広がってくると言うことを知らなかった 発達障害のある子の関わり方はとても難しいことを知らなかったです(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月) なんと言っても母親の負担が大きい。(子どもの父親（1人目）、40代後半、1歳6か月-1歳11か月) 覚悟をしていたつもりだったが、思った以上に子育てが大変だったこと。(子どもの母親（1人目）、20代後半、2歳0か月-2歳5か月) 想像よりたくさん病気になる(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月) 受診の大変さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月) 2歳児の主張がこんなに激しいとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月) 働きながら子育てをすることがこんなにも大変だということ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月) 二次性徴期の、子供への対応について(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月) 自分の時間が全くと言っていいほど無くなった事。例えば、牛丼屋に単身で入ればこれまで15分で食事が済ませられたが、子連れだと店を出るまで50分かかる。これが子供の有無の違いなんだと実感して、受け止め、諦めている。(子どもの父親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月) 子供が産まれても夫は父親にならないということ。夫が最大のストレスになったこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月) 家の近くに1号認定で入れる幼稚園やこども園の定員があまりにも少なかったこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月) 保活が思ったよりも早くに始まること 使用済みの紙おむつの量が多く、ゴミ出しの時に重いこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月) 育児の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月) 雨の日に遊べるところが少なく、あっても大変混雑していて、遊び場に困る。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月) 何をするにもお金が必要。(子どもの父親（2人目以上）、20代前半、0歳0か月-0歳5か月) こんなに心が苦しいと感じる瞬間が何度もあるとは思わなかった。子供は可愛い。けど母親が社会に出る、仕事をするのを親世代は「なぜ？」と感じるようでそれを遠回しに言われる。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月) 出産、子育てに対する金銭的負担、育児休業給付金が予想以上に少ないこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月) 夜間授乳が基本、離乳するまで続く。(思っていた以上に寝不足が続く) 抱っこでしか寝ず、足腰の負担が強く、身体を壊しそう。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月) まわりに小さい子供がいなかったので、想像していたより子育てが大変でした。 インスタやSNSで見ていたキラキラ子育てを思い描いていたのですが、寝不足や抱っこ疲れでヘトヘトな毎日です。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
--

夫が育休を取れていません。 会社へは出産前から育休を取る旨伝えており、人事からはOKと言われていたそうなのですが、直上司の同意が得られないようで、なあなあにされている状況です。市内の企業に対して、自治体からも何らかの働きかけをしていただけたらありがたいです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
再就職をするのに子供を保育園に入れる難しさ(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
<自治体名>には気軽に子どもを連れて行ける場所が少ないこと。 1人で子どもの世話をする過酷さ。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
3人目の保育園は費用免除になると思ったら上の子の年齢で免除にならないことを知った。 免除になるのは限られていて使えないな…と思った。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
常に寝不足になること。支援センター、ホームスタート、ファミサポなどの事業があること。街の人々が割と助けてくれること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産まれてからが大変だということ(笑)(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
やるが多すぎる。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てが想像以上に大変だった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自由な時間がほとんどないこと 子育ては実際にやってみないと、その苦労は分からない でもずっと子供が欲しかったので、毎日楽しく過ごせている(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保健センターは簡単に（気軽に）相談できる場所ではないこと 働いてると育児相談する場がない 子どもを保育園に預けてると、保育園をお休みした日に室内で遊べる場所がない 休みの日などでも室内で遊べる公共の施設がない(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
妊婦も障害者マークの駐車場利用が可能な事 子供は毎日想定外な事ばかりしてくれるからだから楽しいと言う事(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
入りたい保育園、幼稚園に入れない、という事があること。都会の話だと思っていましたが、上の子の幼稚園に年度途中で空きがなく下の子は別の所に出しています。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
お金がかかる 保育園が高い、途中入園だと入れるところが限られる(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもの成長や発達がここまで個体差があることを知りませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
<自治体名>のは子どもの医療費がかかること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
新生児育児の大変さは想像を絶しました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもを連れていける外食先や、オムツ替えの出来るトイレなど。特にトイレは、男性用には付いておらず、母親がすべてやらなければならない点や、子ども椅子が付いておらず、自分がトイレに行きたくても場所によっては行けない所はあるなんて想定していなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自由がないこと、見ていないと子供が飛び出して行ってしまう、ガードやベビーカーを嫌がる、預け先もあきがない、行ける場所が少ない。子供の為の出費が多く、お金を節約しなければならない。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園の実態など。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)

親の所得で子の支援金が一律ではないこと。 第三子認定が上の子どもが小学3年生で打ち切られること。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園に行き出して、毎月風邪をひいて休んでいます。風邪も引くとは想定していましたが、ここまでとは思いませんでした。 保育園入園に際して育児休業明けの予約制度があることを知らず、市役所の窓口で相談したところ教えてもらって知りました。(子どもの父親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
生活の変化(子どもの母親(1人目)、20代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子育ての大変さ全般 夫との家事育児の分担の大変さ辛さを分かってもらうことが大変(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子ども中心に考えると、住む場所によって利用できるサービスや暮らしやすさが全然違うこと。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育園入園後、風邪を子供がもってくる頻度がとても多い。その風邪で、親も体調不良になること。 思ったよりも多いし、大変です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自宅作業でも子供見ながら仕事はできない。保育園預けなきゃできない。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
出産よりも、育児がこんなに大変だとは思わなかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
診察、通院に時間がかかる。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
現在認可外保育園に通っていますが、年齢によるのかもしれませんが認可の保育園の空きがほとんどないことに驚きました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
保育園選びがとても難しいこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
・生まれたばかりの赤ちゃんのとき、ずっと抱っこしてないと寝てくれないこと。 ・保育園でたくさん風邪などをもらってくる。また、それが頻繁に親にも移り、今まで経験したことがないほど症状が悪化すること。 ・子連れのお出かけが大変だということ。少し大きくなったらディズニーランドに連れていきたいと思っていたが、とても連れて行ける状況ではないこと。 ・子どもがとてつもなく可愛い存在であること。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
他市町村と長野市の子育て支援の違い。医療費補助や、出産祝い金などなど。(子どもの母親(2人目以上)、40代後半、2歳6か月-2歳11か月)
現在保育園に通っていますが、こんなに頻繁に風邪等もらってくるのは想定していませんでした。(看病で仕事をお休みする頻度がこんなに多いとは思っていませんでした。)(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
子育てがこんなに大変で追い詰められることだとはおもわなかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
<地域名>内に子連れで行ける施設が少ない。屋内で遊ばせる場所が少ない。<地域名>は子育て不便。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)

子供が言うことを聞かない 子育てに祖父母が口を出してくる 公園が少ない 室内遊び場が少ない(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
出産前後の女性の心理的な変化、精神的に不安定になることがあるということ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
産後にケアしてくれる施設があり、補助で利用できることを知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
時間のなさ(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
トイレやお風呂でさえゆっくり一人で入れないこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
①一歳以降からの育児の情報がピタっとなくなる事。 ②HSPとか感覚過敏傾向がある子には、頑張らせたり強く叱ったりしてはいけない事。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
子育てがこんなにも大変なものだとは想定していなかった。 思うようにいかないことの連続。子どもの体調不良、自分の体調不良。思わぬ子どもの体調不良など、思いもしなかったことがこんなにも起きるなんて、子育てがこんなに大変だなんて想定していなかった。 また、預ける先がなければ思うように働くことや動くこともできないという現実。退職してもまた再就職すればよいと簡単に考えていたのに、コロナ、子どもの体調不良などの中で、全く思うように再就職することもできず、再就職の大変さ、難しさも痛感している。 子どもとの日々、想定していなかったことの連続の日々です。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
子どもを育てながら働くことが、想定していたよりも大変です。小学生になれば楽になるかと思っていましたが、小学校や学童の仕組みが働く親に優しくない部分が多いと感じます。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子どもが生まれてから知ることばかり。睡眠時間や余暇がこんなにはないとは思わなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
産後直後の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
一人目の時は、子供の発育が他の子に比べて遅いことに不安になったが、この<事業名>や保健師さんのおかげで安心して二人目の時は心配がなかった。 今一番気になるのが回りのママ友ともよく話しているが、コロナ禍で、小児科受診の予約が取れないこと。朝一にたった3分で1日の予約が埋まってしまう。 午後診てほしい場合も朝一に予約取れないと診てもらえない。仕事しながら子育てするのが大変です。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
産後クライシスの事。実際に第一子は産後クライシスになった為。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
子どもの無尽蔵な体力。少し減っても寝ると戻るのも、親の体力が戻る前に更に体力が奪われる。(子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
お金のために半めに働き出しましたが、小さい頃の子供たちと一緒に時間を過ごしたかったです。当時はそう思いませんでした。○年前に戻って、もっと子どもと遊びたい！と今思ってます(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)
幼稚園も小学校も授業料は無料だが、給食費や教材費などがあり想像以上にお金がかかる(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)

(兄弟が生まれて分かった)子どもの性格によって子育ての大変さが全然違う。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)
元々子どもが好きで待望の我が子でした。産後うつ等もなくパートで働いていました。 どこに原因があるのか分かりませんが、突然の軽鬱症状……とても不安でした。 虐待する親の気持ちが分かるようになりました。 そして、子育てにおいて親のメンタルがとても大切だという事に気付きました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
赤ちゃんがあんなに寝ないと思わなかった 1人の時間がない 早寝早起きを目指したいが、仕事と両立だとできない(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
子育てがこんなに大変だと思っていなかったです。子どもと意思疎通ができるようになってからはだいぶ楽ですが、赤ちゃんの時期が一番大変でした。親や友人に頼ることができなかった場合、虐待に繋がってしまう気持ちが他人事ではなかったです。今後悲惨な事件を減らすには、未就園児の段階は特にできるだけたくさん目の目と角度から見守れることが大切だと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
子どもが好きで待望の我が子でした。 そんな私が鬱になるなんて！ 子どもと一緒に過ごす時間が苦痛に感じるなんて思いもしませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
障害や困難なことがあっても、行政や医療、民間の機関が助けてくれるので、働きかけることが大切。 夜、思ったより眠れない。 親との関係を振り返る機会が増え、時に辛い。(子どもの母親（1人目）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
子育てってお金がかかる！(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
児童館が有料化になった。想定していなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、6歳0か月-6歳11か月)
保育園の探し方(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、6歳0か月-6歳11か月)
楽しいことだけではなく、大変な部分が圧倒的に多かったこと(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
幼稚園や小学校などのPTAの世界。 逃げられない。(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、6歳0か月-6歳11か月)
支援金の少なさ(子どもの母親（1人目）、20代前半、0歳0か月-0歳5か月)
妊婦の時、買い物していたらいきなり子供を抱っこした知らないお父さんがぶつかってきた。 電車通勤で優先座席に座ろうと思うがいつも満員、誰も譲ってくれなかった。土地柄なのか冷たいなと思った。 私はよく優先座席を必要としている人がいたら譲っていたが…悲しくなった。 子供には困っている人がいたら優しい手を差し伸べせる大人になって欲しいと思った。 妊娠は幸せな気持ちになるが、なかなか妊娠を望んでも叶わない人もいる。 私も持病があったのでなかなか妊娠することも難しかった。 子育て世代が優遇されてきてはいるが、その裏で泣いている人や子育て世代に仕事を押し付けられている人（以前の私もその1人）もいることも忘れてほしくないと思った。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

◎消耗品にそれなりにお金がかかる（おむつ、ミルクなど） ◎自治体ごとに子育て支援の内容に差が大きい ◎付近に分娩対応の産科が少なく、不妊治療クリニックからの紹介状をもって最寄りの産科に転院しようとしたら、予定日付近は定員に達したと言われ断られた(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
思ったよりも育児が大変。父親も育休を取るべき(子どもの父親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月）
保育所関係全般 分娩費のはみ出た費用を医療費控除申請できること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
子供がいると自由に買い物しにくい、電車に乗りにくい（ベビーカーで乗ることにまだ慣れない）ので遠出しにくい(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
想像していたより、こどもにお金がかかる。産後から完ミな為、ほんとにミルク代がかかる。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
出かける大変さ（準備、荷物の多さ、交通手段が少ない等）(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
子ども家庭支援センターのことや子育てに関する市の取組みなどについては、知りませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
赤ちゃんがいる生活を経験したことがなかったので、初めての経験の連続、想像以上に自分の思う通りに動けないもどかしさに、気持ちがついていかずしんどかったです。 先輩ママに話を聞く機会や実際に抱っこやオムツ替えをする経験などをしておきたかったと思います。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
子育ては大変だと思っていたが、実際には思っていた以上に大変だった。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
所得制限がこんなにあるなんて知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
自分の時間が想像以上になくなってしまうこと。感情的に怒ってしまう自分の姿。子どものやんちゃ度。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
想像以上に子供のことも仕事もこなしていくことが大変なこと、育休復帰後の仕事では頭が回らなくてメンタル面が落ちること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
情報が集めやすくなっているので、細かく知る事ができる一方、多くの情報があり混乱する場面もある。 体力の衰えをすごく感じている。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
・思っていた以上に家事がすすまない ・児童館のイベントに参加したくても、駐車場がないため行くことができない(徒歩だと遠い、バスは乗り換えが複数あり子どもと一緒に大変)(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
離乳食のメニューを考えることが大変なこと。 暑い時期に小さい子が遊べる場所が少ないこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
考えてみれば当たり前ですが、テレビ画面に近づきたがること、話したいことがあるから話すのではなくて、話すことそのものが遊びのように親が伝えたことをそのまま言い直して説明したりとにかく静かにできないこと、気に入らないと食事を口から出したりして遊ぶことは想定外でした。特に、ちょっと物の配置を変えるだけ、外出先だ景色が違うだけで気になって食事に集中できなくなるとは思いもよらず、なかなか食べてくれず大変な思いもします。でも、そういったことも、そういうものだと知っていれば対策ができたり、仕方ないと諦められたりするので、未発達の子供がどういうものか、日々知っておくことの重要性を感じます。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
所得制限で受けられない手当がたくさんあることは想定していませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月）

こんなに孤独なのかと思いました。子供はとても可愛いくて愛おいしいけど、大人と話したいと思う事が何度もありました。 離乳食の進め方が難しかったです。市販の本だけじゃ分からないです。何度も市の栄養士の方に電話しました。(子どもの思った以上に寝れない。気持ちが思っていたより不安定になる。保育園が少ない。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月) 市によって対応が全然違う 明石市みたいになってほしい(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月) 想定はしていたが想定していたよりも産後は大変だった。気分がとても落ち込んだし気軽に相談できるところがなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月) こんなに身体が痛くなるとは思わなかった。1人で遊ぶのを穏やかに見守り一緒に遊ぶ毎日を想像していたが、こんなに他の部屋にも行けない、何もできない、自由時間がないとは思わなかった。台所が独立していないのがこんなにストレスだとは思わなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月) 育児のことを何も知らないまま産院を退院し、強い不安を抱えたまま育児を始めたこと。昔と違って、身近に子育てする見本がない人が多いので、もっと長く産後のサポート期間があると思った。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月) 本当に眠れないし、生命を守る大変さは想像以上でした。自営している家族は、娘をみている時間は、休憩時間みたいなもんと言われたことがあり、、そういうふうに取り立てるなんて家族の対応も想定してなさすぎた。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月) 赤ちゃんはもっと寝るものと思っていましたが、全然寝ません。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月) 子どもがいると働きにくかったり、自分の時間こんなになくとは知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月) ベビーカーで移動する時や前抱っこで移動する時に、道路のアスファルトの出っ張りや欠けている部分など、縁石なども含めて移動しにくい部分が多いことに気づきました。 道路の陥没などは勿論のことですが、特に横断歩道を渡った先などで引っ掛かる事が意外と多く、何度も危ない思いをしました。 細かいことかもしれませんが、道路と歩道の境目の整備などにも今後働き掛けて頂けると、特に子育て世帯はより子育てのしやすい街という印象を受けるかと思います。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月) 保育園に入れないこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月) 言葉が出てきても、それがイコール意思疎通が出来る、というわけではないこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月) 40代での出産というのもあり、身体がしんどいです。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月) 世の子育てされてる方々すごいと思う。自分がしてみるまでわかってなかった。外出1つにしても非常に大変。(子どもの母親(1人目)、40代後半、2歳6か月-2歳11か月) 保育園に入ることの大変さ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月) 予想以上に個人として活動できる時間が無い(子どもの父親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月) 母乳がなかなか出ないことがあること。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月) 授乳する際のおっぱいの痛みは想定外でした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
--

病院への行きづらさ(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産後クライシス、夫婦の問題、産後鬱(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
出産にばかり気を取られていて、産まれてからの育児について全く知識がありませんでした。こんなに心配事が多いなんて。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
遊び飲みをすること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳が全然出ない(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
外出することがこんなにも大変だということ、子連れで気兼ねなく出かけられる場所が少ないことは知らなかったです。子連れで運動できたらいいのに…と思っています。＜施設名＞のジムエリアで、一時保育してくれたらなあと思っています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーでの外出がどんなにも大変が知らなかった(飲食店、交通機関、お店の広さエレベーターの有無などを気にするようになった)(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ここまで休みがないと思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに身体が辛くなると思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ここまで子育てに苦労すると思っていなかった。また産後のメンタルも家族も友人もいるし大丈夫かと思ってたけど、思いの外やられてしまった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
0歳と2歳の子供の育児は上の子がイヤイヤ期なのでこんなに大変だとは思わなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供2人になってからの働き方がこんなに厳しいと想定していなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
体力が必要なこと、思っていたよりもつらいと感じることが多いということ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こどもと一緒に生活するスペースについて リビングでの子供の遊ぶことに必要な広さ、おもちゃ収納のスペース 寝る場所問題 ＜自治体名＞に私立幼稚園がないこと 保育園と幼稚園の違い(保育園にはピアノあるわけではなく朝の会もなかったりする等) シッターさん不足
子どもの肌荒れ、抱っこしないとぐずる、日常のちょっとした音にも敏感に反応する(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
NIPT検査などの出生前検査では知ることのできない障害がたくさんあること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもの成長の過程を見て日々新鮮に感じます。思ったより子どもの話題になり話が弾んだり、知らない街の人が子どもに話しかけてきて少し交流したりしています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

子供が産まれたら勝手に母乳がでてくると思っていたので、母乳がでないことや、張ることによる痛みについてなど全く知らなかった。また赤ちゃんはみんな丸々と太ってくれるものかと思っていたが、個人差がとて多きく、ミルク・母乳の飲みが少ない子供もいることも知らなかった。 新生児期から低月齢までの赤ちゃんとはコミュニケーションが難しく、その期間に体調不良や寝不足が重なると容易にキャパシティオーバーになると思っていなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
バリアフリーが整っていなかったり、子供と一緒に入れるトイレが少ない 保育園の申込みが思ったよりも早く、空きはないのに手続きが面倒(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園には生後57日齢でいれられたけど、すぐ保育園で感染症にかかり入院して、付添い入院だったので会社を2ヶ月も休んだ。生後6ヶ月までは免疫があるから風邪をひかないと思っていたけど、それは保育園に行っていない場合の話というのを先に知りたかった。こんなことになるなら育休を1年とればよかった。保育園に通わせるベストなタイミング(→4月入園まで待つ)を、妊娠期に知りたかった。生後の赤ちゃんがあんなにふにゃふにゃなのも知らなくて、保育園に入れてしまい申し訳ないことをした。誰かに教えてほしかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに大変だと思わなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
睡眠時間が5時間を切る毎日、子育てで頼れる(信頼できる)人が少ない、美容院にすら行けない、子育て以外に何もできない(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
元々小さい子が苦手だったため、こんなに子供を可愛いと感じると思っていなかった。自分の子はもちろん、他人の子もみんな可愛く思える。 また保育士さん達の仕事や待遇についてほとんど知識がなかったが、子供を保育園に預けるようになって、保育士さん達には感謝しかないです。保育士さん達の待遇をもっと良くして欲しいと強く思う。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
家が狭くなること。 産まれる前から引っ越し検討していれば良かった。(子どもの父親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供のミルクの頻度(子どもの父親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
遊べる場所の情報などがなかったので困った(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てしながら働くのが思ったより難しい(日中働ける時間が短い、いつも保育園で風邪をもらっちゃう) 旦那が子育てにとても向いている(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
所得制限があり児童手当がもらえないのと 保育園の利用料が6万円もすること。子どもに扶養控除がないこと。育児用品にかかる費用などお金の面。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
銀杏は日本蕎麦よりも食べさせる年齢が上であること。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自分の時間がないということ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供の発熱の頻度、保育所からの呼び出しや仕事との調整、自治体等の手当等(子どもの父親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
母乳育児の大変さを知らなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)

怪我予防の多さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
想定外の怪我や病気が結構あること。 1日があっという間に終わってしまい、自分の時間が全然取れないこと。 保育園に通うようになってからの方が次の日の準備等含め、自分が忙しくなってしまった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
部屋のレイアウトや事故対策を子供の成長に合わせて常々アップデートしなければならなかったのは想定以上だった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供の体力(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子育て支援が想像していたよりも充実していること。 スーパーなどで、ベビーカーでは入れない狭いお店が多いこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
育児がとてもハードで、仕事の両立はかなりしんどい(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供を二人産んだらこんなに仕事が大変になるなんてしなかったです。誰も教えてくれなかった。知ってたら、ハイキャリアなママはみんな産まないと思います。もっと世の中が子育てにサポーターであるべきだし、まだまだ支援はたりません。病児保育もたりないし、全然サポートになってません。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供がいる生活全般。 やってみないとわからないなと思った(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
なぜベビーカーに子どもを乗せずに歩くのか(大きくなると、機嫌により乗ってくれないことを、子どもを持って知りました)(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
イヤイヤ期(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもは2人以上を希望していたが、1人目が帝王切開だったため、2人目を妻に産んでもらうことに申し訳ない気持ちがあり、なかなか相談できない。2人目も帝王切開になってしまうため。(子どもの父親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子供の個人差が大きいこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
様々な病気の種類、予防接種の大変さ、など。 保活は想定していましたが、やはり大変でした…。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
母業上手に頑張っていました 1人目の時にずっと家事と育児し続けるの孤独で辛かったので今は働いています。 ずっと家事と育児するのも辛いというのが想定外だったことです(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなに子育てが大変だと思ってなかった。母乳育児が大変。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子育て応援ギフトなど、思っていたよりも支援が手厚かった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
特に月齢が低いうちは忙しくて、まとまって睡眠がとれないことが多く、睡眠不足がこんなにもしんどいとは思っていませんでした。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんは自分で慣れないこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

知っていたつもりだったが、それでも、こんなに自分の時間が持てなくなるとは思っていませんでした。同時に、こんなに子どもを可愛いと思えるとも思っていませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
公共交通機関、スーパーなど、ベビーカーでの移動は想像していたよりも肩身が狭い。迷惑になるので時間帯を考えたりネットスーパーを使用している。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供の成長に伴う流れ(予防接種スケジュール、離乳食はいつからか等全く知らなかった)(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に理由がわからない泣きがあること。(眠くて泣く、とか)(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳に時間がかかること、ずっと抱っこしないと寝てくれないこと、夫の協力が体調回復に必要な不可欠なこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ほぼ眠れない 機嫌がいいときが少ない 全く家事ができる余裕がなくなった(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
妊娠中のことですが、検診にこんなにも費用がかかる(14回分のクーポンでは足りない)と思っていなかった。出産費用の地域差が大きいことや、無痛分娩を扱う病院の少なさに驚いた。 産後の事だと、自治体のサポートが想像以上に充実していました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ここまで子供ペースで全ての物事が進んでいくことや、注意しなければならないことが多くて、可愛い気持ちと、1日に必ず絶望感を感じるような時間があること(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子育てに関する全てのこと。
保育園申込がこんなに大変だとは思わなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんが寝ないこと 産院退院後1ヶ月が特に辛いこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
妊娠中からですが、こんなにもホルモンにすぐく振り回されるのかということはありませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳の際にすごく痛いこと。授乳に慣れることに時間がかかること。 子供に手を取られ家事がほとんどできなくなる。夫が早く帰ってくれることがこんなにも有難いこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の料金の高さ(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
頻回授乳について産まれてから知ったためこんなに夜寝られないことに驚きました。また、頭が柔らかいことも知らず、向き癖によって頭が変な形になってしまい子どもに悪いなと思っています。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
育児手当に上限がある事。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
所得制限の金額の低さ。同じ命、子供を育てるのに、稼いでいるひとほど所得制限がある意味がわからない。その分税金納めているのに、それ以上に不平等にする必要あるのか。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
育児中の孤独は産前想定してなかった。 幸い職場の先輩ママが「育児中孤独を感じてないか？赤ちゃんと一緒に職場においで」などと声をかけてくれて度々顔を出している。小売店にて「赤ちゃんかわいい。ママもがんばっててえらい」など声をかけてくれる方がたまにいる。知らない人に声をかけてもらって嬉しいとか安心するなんて子育てをしてないと知らなかったと思う。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

なにもかも知らずに産んでしまいました。 不妊治療中は不妊治療に関する事ばかり 妊娠中は妊娠中におこる事ばかり検索していました。目先の事でいっぱいでした。なので毎日くる情報は月齢にあったアドバイスなどはありがたいです(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
あらゆる育児グッズ、赤ちゃんの成長過程の行動、ワクチン(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どものものがどんどん増える。予想以上(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
エレベーターの設置場所が思っていたより少ない。 自転車飛ばし過ぎていて危険。 子どもや子連れ的女性を狙った犯罪があること。 スーパーでの買い物のしづらさ。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産前から授乳についてどうしたいかを考える機会がなく、完全母乳にしたいと思ったのは産後でした。未だ混合で、完全母乳にできるか分かりませんが、もう少し早く知ろうとしていたら今の結果とは違ったかなと思いました。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
教育や習い事にお金をかける余裕がないこと。(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳が大変、お腹のたるみが全然治らない、2人育児が想像以上にたいへん(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の待機問題。世帯年収が高いほど、入れる確率が下がる事実驚いた。頑張ってる人、たくさん税金を納めている人が、再度働ける環境を閉ざしていると感じ絶望した。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
自治体で運営している、支援しているところ 保健相談所や支援センターの存在(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
国や市区町村の金銭的や体制的な援助が思っていたよりあって、驚いた。嬉しい誤算。 よく自分の時間がなくなると聞いていたが、思っている以上に自分の時間が無かった。産後、そのことが一番辛かった。 2人目の育児は楽に感じるが、それは子供がいる生活リズムや自分の時間が無いことに慣れていることが大きいと感じた。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
仕事に行かないと自分の時間が確保できないのは想定していなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
エレベーターの少なさ スロープの少なさ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーで買い物に行くとニコニコ話しかけてくださる方がたくさんいらっしゃる。みなさんよくしてくださるので散歩や買い物が楽しいです。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
家や車などすべてが汚され壊される、子供に病気をうつされ重症化する、子供が汚れた手で触るので自分の服装が適当になる、子に対する愚痴は誰も聞かないのでストレスのやり場がない、お金がかかる、子供が成長するほど楽になると思っていたが0歳より2歳の方が世話が大変、世間でよくある2歳差兄弟の子育ては地獄、旅行に行っても安全管理の疲労でレジャーとは言えない、ミルクとオムツが異様に高い、子供にとってはゴミではないがゴミのようなものが家にあふれる、子供に嘘はつくが子供の嘘は許せない、夫婦関係が大きく変わる、ため息をつくことが多い、子供の世話をしても子供から感謝されることはない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
お金がかかる割に公的支援は少ない。(子どもの父親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
新生児は、基本的にミルクを飲むか寝ているだけと事前情報から理解していたが、なかなか眠らなかったり、ぐずったり、1日中心身ともに休まらないことは想定していなかった。とても1人で面倒を見れないと感じ、今後の働き方について身の振り方を考えるようになった。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

全て(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
マンション購入時のバリアフリーは想定外で、ベビーカーを1人では対応出来ない。(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子ども中心の生活になることが想像できていなかった。(寝たい時に眠れない、親が病気にかかっても病院に行きづらい、外に出たい時に出られない)(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
小児救急電話相談、(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子ども連れで出かけられる場所やイベントが少なく、情報もなかなか得にくいこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳トラブル(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
<自治体名>の児童館やみずべがこんなに充実してとは思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
一人でも育児はなんとかなと思っていたがかなりきつい。自分の心身のケアが追いつかない。情報は自分から探しに行かないとなかなか見つからない(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
授乳で寝不足になることは想定していたけれど、乳腺炎になったり嘔まれなくても赤ちゃんの吸い方が上手く出来ていないと授乳自体が痛いというのは子育てして初めて知りました。後、助産師さんの乳房マッサージは発熱などがあっても産後4回までしか保険診療にならないというのも乳腺炎で保険分を使い切ってから知りました。これは事前に知っていたかったし、出来れば保険診療の範囲を産後1年以内とかに拡張してくれたらいいのと思いました(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園の数や空き状況について。 年度の途中での申し込みは、待機児童になる可能性が高いことなど。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育てにお金がかかるのに、税金などでがつつり持ってかれてしまい余裕のある生活が難しいことは想定してなかったです。国や都の支援がありますが、全然足りていない状況です。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園の0歳児クラスは、次年度皆が1歳児クラスになるわけではない、ということ(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食のすすめかた(アレルギーやのどにつまらせるなどが怖くかなり慎重にすすめていたがもっとたくさんの食材を食べさせるようにすればよかった)(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
世間が冷たい事。何となくニュースで見たことはあるが、実際はもっとひどいことがわかった。常に気を配らなければ、絡まれたり、怖い思いをしたりする。<自治体名>は高齢者も多く、譲り合えない場面が多々あった。バスには基本乗れない。ベビーカーを畳むように蹴られたり寄りかかられる。赤ちゃんのために母親はたくさんの荷物を持って移動している。荷物と赤ちゃんを抱いてベビーカーを畳んで待つのはかなり辛い。 タクシーか頑張って歩くしかない。(3万円電子クーポン配布のおかげでタクシーは乗りやすくなった。) 空いている時間を調べてバスに乗っても、だんだん混んできると、途中で降ろされた。 歩いていても、自転車が猛スピードで走ってきて危険なこともある。<自治体名>は、車道を走る自転車が圧倒的に少ないと感じる。歩道を危険走行するからベビーカーにぶつかりそうになる。ヒヤッとする。とにかく出かける時は気合いがいる。天気がいいから公園にふらっと出かけられるようになりたい。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
睡眠不足がこんなにストレスだと思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)

産後でも手の強張りが女性ホルモンが落ち着くまで続く事 お昼寝をしても夜泣きの様に寝ながら泣く事がある事(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想像してたよりも時間がない(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供家庭支援センターが区内に7箇所あること。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
生活がここまで子ども中心になるとは思いませんでした。思ったように寝てくれず親の行動が制限されたり、四六時中抱っこをせがまれて放っておけなかったり、実際に自分で育ててみないと分からないことだらけでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
電話連絡の多さ(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
おむつやミルクの消費スピードがこんなに速いとは思いませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
「待機児童」の定義。待機児童ゼロの状況でも実際は保育園空き待ちの人が沢山いること。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育ては周りの力をかりなければ成り立たないことが多くあること。 周りに助けを求めてもいいこと。またその環境が整っていないこともあること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
①仕事に復帰した際、想像していた以上に熱をだして両立が難しかった事。 ②乳児湿疹について ※赤ちゃんは基本的に肌が綺麗だと思っていたのでアトピーなのではと不安になったりした ③母乳育児の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
上が女の子で下が男の子ですが男女でこんなに違うのかと思った。 男の子はママにべったりだし、よく動かし成長も早いし、こんなに大きく重くなるとはビックリした(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園の枠が本当に少ない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ほとんど想定できなかったし ほとんど知らなかったことばかり 子育て政策は是非子育て中の人をお願いしたい(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
年子育児のたいへんさ(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出産直後の大変さ。子供の行動は大人の予想の遥か上に行くこと。 思っていたよりどの子供を産んだ時代でも子供に優しい人の方が多いこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
頻繁に寝かしつけがある テレビが見れない など(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
抱っこの仕方やお風呂の入れ方もわからなかったし、病気に対するケアの仕方なんかもわからない。日常生活においては遊び方も知らなかった。(子どもの父親（1人目）、50代、0歳6か月-0歳11か月)
保育園申し込みルールの複雑さ(子どもの父親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
父親として子育ての知識がないのは分かっていたけど産後の母親へのケアが必要でむしろ父親の育休はそのためになんか想定外だった。(子どもの父親（2人目以上）、40代後半、0歳6か月-0歳11か月)

子どもは可愛いけど、子育ては漠然と大変だろうなと思っていたが、月齢により大変さが変わっていき悩みも変わっていくと感じました(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供が思った以上にたくさん風邪をひくので困っています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
アレルギーに関する知識(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園によって預かり時間や初期離乳食の有無が異なること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
・1歳クラスの保育園入園がとても激戦なこと（0歳から入園させる親御さんは、もっと子どもと一緒にいたかったと葛藤しながら働いている方も多いこと） ・想像以上に自分の時間がとれないこと（子どもを預けられる先が想像以上に少ない）(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てには休みが全くないこと。頼れる場所がないと本当に辛くて大変だし、大変な時期には助けを求める余裕すらないということは知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
割と働かないと行きたい保育園には入れないんだということ。保活する上でわかりづらくて1度区役所で聞いたけどあとからまた疑問が出てきてどこまでがOKなの？ってわかりづらいなと感じたこと。 母乳育児で母乳は出てるのに子供も吸ってるのに体重が伸び悩むこともあるんだということ。すぐ中耳炎になったりリンパ腺が腫れてしまうこと。 授乳施設やオムツ替えが、外食の時に困ること。 電車などでは意外と他のお客さんも優しくしてくれること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
夜泣き等で自分の睡眠の質が悪くなること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
夫が子どもが産まれる前と同じような時間遊んでしまう。留守番を頼んでも子どもが寝たら別室で一人で遊んでいる。危機管理や父親としての責任がなかなかこちらが期待するレベルにまで達しない(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
病児保育の利用が大変。民間は高価で公設は枠が少ない(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供がかわいい事。夫婦2人でも子育て出来る事。保健所など行っても不安を煽る様な内容が多い。情報もいつの情報？みたいなすごい昔の子育てという感じ。保健所で夫婦2人で子育てすると言ったら、無理！と言われた。沢山の人の手を借りて～とわれるが、別に大人が2人いればなんとかなる。親の手を借りて云々言われるが、親と死別してる方も疎遠な人もいると思うので、決めつけないでほしい。確かに大変な部分もあるし、病む人がいるのも分かるが、前向きに応援すべきではないのか。不安を煽っても子供が減るだけだと思う。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
無事に産まれたら安心だと思っていたけど発育面や食事、睡眠など悩みは尽きないこと、(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自治体の子育て支援の充実さ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
職場に復帰する際に改めて調べたところ、3歳までの子どもを育てている場合は、男女関係なく残業を断れる法律があることを知りました。職場の制度上は時短勤務をしないと残業を断れないように見えており、申請書も時短勤務のものしかなく、人事部に質問してはじめて残業だけを免除する申請書がもらえました。 知っていれば男女共に働き方や家計のことを考える際に選択肢を増やせると思うので、法律の内容を知る機会が増えるといいと思いました。 また、企業側も法律で定められていることは社内規定にしっかりと記載してもらいたいと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
（家族のサポートが万全でない場合）小さい子を育てている時期は、母親は体調を崩せないこと。崩してしまったら、子どもが眠るまでは、無理せざるを得ないこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

保育園が自身の年収だと選ぶことは全く出来ず、入るのがやっとだということ(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
離乳食や赤ちゃんの睡眠に関して、全く知らなかったので毎日してます(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子連れの引越しの大変さ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
街を歩いていても世間の人にこれほど気にかけてもらえたり優しさに触れるシーンに恵まれることが多く、子供が大きくなったら同じように世の中に恩返ししていけるように頑張ろうと思いました(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供の発達過程については知らなかったし、こんなにも子育ての大変さは想像以上でした。夜泣き、ぐずり、離乳食食べないなど。イヤイヤ期、赤ちゃんだからといって大人しいわけじゃない。 ベビー用品については知らなかったし、意外にも消耗品が多くてお金がかかることは想定してませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産まれてから3ヶ月くらいまで続く3時間おきの授乳。母乳があまり出なかったこと。自分の時間（トイレに行くなどちょっとしたこと）が想像以上に取れないこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
行政の情報は知らなかったです。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園が結局は足りていない 子育て支援が想像以上に手厚く、出産準備やミルク、オムツなどとても助かった(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園に行き始めたら子供が体調を崩すのは想定していたが、数ヶ月にわたって自分自身も体調を崩すことになるとは思っていなかったので想定外だった。 子供の体調不良→自分の体調不良→子供の…とエンドレスで、市販薬は授乳中に服用を迷うこともあり非常に困った。 仕事のために保育園に預けているのに、子供がもらってくるものと、自身の体調不良でほとんど仕事ができず、育休と仕事復帰の間にもう少し慣れるための期間が欲しいと思った。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
出産の大変さ、出産後、新生児期の精神的肉体的に相当ハードである事。高齢なため、よりハードに感じる。赤ちゃんファーストは貰えるまで知らなかった為、出産前に色々買い揃えてしまった為、いざ赤ちゃんファーストを貰った時には欲しいものがほとんどなかった。また育児において必要な本当に必要なもの、不要なものがわからず無駄な買い物をしてしまったりした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
女性が子育てしながら働くことが想像以上に困難な社会だということ。保育園に預けるにあたって自営業者は不利になるということ。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てよりも妊婦の方がつらかったこと(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
とにかく子育てがこんなにも大変で孤独なものとは思いませんでした。知っていたら別の道もあったかもしれません。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
扶養控除がない事。児童手当も所得制限があり、高所得者が子供を持つメリットがなくなっている事。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自分の時間が一切なくなった事(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに子育てが大変だとは思っていなかった。かつ、妻の母親がここまで干渉してくると思わなかった。喧嘩が増えました(子どもの父親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
歩き始めると目が離せなくなること(子どもの父親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

子供のいる人生がこんなに楽しいものだという事(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなにカオスな状況になると思っていなかった…(子どもの父親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
一時預かりや病児保育など、制度やサービスはあるのに全く活用できないので役に立たない(すぐ満員になる、抽選に当たらないなど)とは思わなかった。もっと当てにできるものだと思っていました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
<自治体名>にはたくさんの児童館や支援センターがあり、乳児から連れて行きやすい施設が徒歩圏内に複数あったこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子育ては思っていた以上に助けなしにはできないということ。そして、子育てを助けてくれる施設があるということ。特に、保育園がやっている一時預かりは助かりました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
出産後6ヶ月くらいの大変さ。寝不足、イライラ、何もできないなど。またそのような状態の相談先を知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
在宅子育て向けのイベントが幼稚園・保育園で行われていること。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
育児休業給付金の振り込みがおそすぎてびっくりしました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
恥ずかしながら知らないことばかりでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもの数に対してこどもが遊べる場所が少なすぎる。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園お迎えから子どもが寝るまでのバタバタ感(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
卒乳のタイミングは、知りませんでした。 ミルクのあげかたや、授乳に関しては、みずべや産院でいろいろサポートがあったり、情報を得ていましたが、いつまでミルク飲むんだろう、、、と思っていたらいつの間にか、もう卒乳していい時期になっていました。保健所に電話して聞くまで分からなかったです。授乳から卒乳までのサポートがあるとありがたいです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
親や保育園でも教えてないことを子供がやってみた時(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育ての大変さ(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
たった数週間の早産により、数年単位の発達の遅れがでること。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
夫との子育ての価値観が全然違うこと(夫は昭和スタイルで、時にはしつけとして叩いていたが辞めてもらった)。実親との確執が子育てへ影響を与えること(うまく甘えられなかったまま大きくなったので、育児辛いときに頼り方が分からない、実母が私の子どものしつけをしようとすると、なぜか自分が責められてるように感じる)(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもの発熱のしやすさ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもを遊ばせたり、預けることができる施設が近くにたくさんあったこと。(子どもの父親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに夜泣きが長く続くとは思ってはいなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)

生まれる前は、子連れの方が携帯を見ていると「なんでそんな携帯ばっかり、」と思ってしまっていたが、子育てがこんなに大変で基本的に自分の時間が無いということを理解できていなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなにも体力が持たないとは思いませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
育児は人手がいかに必要かということ。 産後ケアは特別な理由がなくても利用可能なこと。 看病の大変さ。 体力も去ることながらメンタルの強さも必要。 街の人々の温かさ。 みずべや保育園の先生方の存在のありがたさ。 育児支援制度やサービス、施設の充実。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てがここまで大変とは知らなかった 皆んなやってるから自分も大変だけど出来ると思ってたけどこんやめげそうになるくらい精神的にも辛いと知らなかった (子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
日々の疲労感がすごいですね。疲れや睡眠不足で去年は育児うつになりました。 ただ子供を通じて友人ができたり地域とのつながりができたことが日々のよろこびにもなっています。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
○寝ている時、自転車に乗っている時の指しゃぶりが1歳になった頃から増え出して、指にタコができていて、上前歯が出てきてしまっている。 今のおしゃぶりは、出っ歯にならないように作られている商品が増えていると、後から知り、0歳からおしゃぶriを使っていれば、指しゃぶりによる歯並びの影響に悩まなくて済んだなと思い、0歳でおしゃぶriを与えなかったことを後悔している。 ○生後3カ月ぐらいまでなら反射で目をつぶるので、その頃にやさしいシャワーで顔にお湯をかけるのに慣れさせておけば、顔を洗うのが平気な子になる、とかいうのを、知らず、ガーゼで顔を洗っていたので、今、顔を洗うのを嫌がり、朝から顔洗わないーと、のけぞっていやがるので、朝から楽しくなく苦労している。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
親の介護や自病を抱えていても、保育園の申し込み時に配慮はされない。障害児を育てる場合、支援施設では片親は働いていない前提なのか平日に子の予定が組まれていることが多い。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
休みが足りない。病児保育のとりにくさ。働きながらの子育てが2人目だと楽しむ余裕が全くなかった(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月) 子育て世帯に対する区や東京都の支援が手厚く、ありがたいです。1点不安な点は、待機児童対策で保育園を増やす支援をしていたためか、保育園が定員割れをしています。保育園の運営や先生方に負担が行っていないかが不安です。保育園への負担はゆくゆくは保護者への負担となるので、早急な対策をお願いいたします。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
ご飯の準備が大変なこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
時短勤務をすることで収入が大きく下がること(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)

・こんなに大変だとは想像していなかった。特に自分の時間がない事、自分が体調不良やとても疲れている時でも子供の世話は代わりがいない事 (それ以上に可愛らしくて幸せを感じる事も多々ありますが^_^) ・服の買い替え頻度が早過ぎる事 ・離乳食の手間(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
イヤイヤはどうにもならないということ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子供が病気になった時に預けられるところが少なく、申請の煩雑さや倍率によりほとんど利用できない状態になること。通常の一時保育やファミサポも争奪戦。育児を休むのは難しい。 制度としてあっても、利用しやすい環境でない。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
成長するうえでイヤイヤ期があって泣きわめかれたり食事の好き嫌いがあったりすること。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子どもがこんなに可愛いとは！忙しくも、日々楽しい発見で興味が尽きません。知らなかったのは、子連れの会社はかなり気を遣うし制約があること。(子どもの母親(1人目)、40代後半、2歳6か月-2歳11か月)
二人目が生まれて、仕事から帰宅後の時間のスピードが一人目の時の二倍速(笑)(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
2、3時間おきの授乳に関して、夜は寝てくれるものだと思っていた。24時間2、3時間おきだとは思わなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
家で様々なおもちゃや本を準備しなくても、児童館や図書館を使うことで事足りること。授乳やオムツ替えスポットがあり、出掛けやすいこと。道路に面していない遊歩道や公園が多いので、子どもとの散歩がしやすいこと。ショッピングモールで貸出用のベビーカーがあったり、アプリで借りられるレンタルベビーカーがあること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
夫がここまで不器用だとは思わなかった。何回も丁寧に教えてもできないことが多く、出来てないで放っておくこともできないし、声掛けすると落ち込まれるのがしんどい。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
思ったより大変だと思う、授乳時間が長いや自分の時間がなくなったこと。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
<事業名>をはじめ、妊娠期から情報があったので、まったく知らなかったということは、多分ないです。ただ、想定していたより、というのは大変なことも嬉しいこともたくさんあります。例えば本に書いてあるより早く寝返りをして慌てて対策をしていたり、混合でできていたのに突然哺乳瓶拒否が始まって戸惑ったりしました。なによりも、想像より子どもがずっとずっと可愛くて写真データが圧迫されて嬉しい悲鳴を上げています。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
寝不足で大変であることは想像以上に大変ですが、子どもとコミュニケーションが取れるようになってくると、なんとも言えないうれしさや楽しさがあることを知りました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
都でおこなっているベビーシッター補助 一時預かりサービス(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳室やおむつかえをする場所を探すのが大変。近所をベビーカーを押しながら歩くのが大変。(道が狭かったりガタガタだったり)(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産後直後の状況に関しては、あまり情報もなかったため、戸惑うことも多かった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園に入ることがこんなに大変だとは。<地域名>は枠が少なすぎて困った。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

保活がこんなに大変とは想像以上でした(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の送迎の所要時間と辛さ(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
三歳頃までオムツをすること。(子どもの父親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の申込み基準や子育て支援事業の詳細について(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
支援制度の多さ(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の子供の頃に比べてワクチン接種が増えていることや、アトピー性皮膚炎やアレルギーを持つ子が多く、「標準治療」とされる治療があることは知らなかったので、ショックでした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の体が想像以上に不調になったこと、 赤ちゃんが授乳を嫌がったこと、 目安の量の離乳食をなかなか食べられるようにならなかったこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園が入りづらいのはわかっていたが、実情は想像以上に理不尽だったこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
赤ちゃんが泣いている理由。お腹が空いた、眠い、オムツが不快等言葉が喋れない代わりに泣いて教えてくれているのであって悲しいから泣いているのではないことを初めて知った。子どもが生まれる前は公共の場で赤ちゃんが泣いていると何となく「かわいそうだな」と辛い気持ちになっていたが、子どもが生まれた後は他所の赤ちゃんの鳴き声が聞こえても「眠いのかな」「お腹空いたんだね」等微笑ましい気持ちになるようになりました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもが1人の他人であるということ！なんでもいうことを聞いてもらえるとと思ってました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
育児中だと、予定が立てにくいこと。 (子どもの朝寝や昼寝に、日常の買い物や出かける用事が左右されて、当日子どもが起きてからでないと、予定が立てられない)(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
夫婦ともテレワークが基本で定着していたが、最近出社を求められることが増えてしまった。出社しても席は足りないのに。子供との時間や夫婦の分担のバランスが再調整&試行錯誤し直しになっている。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
想定してなかったことだけです(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
出産後の身体の不調（母乳がすぐに出るわけではない、乳腺炎、会陰切開の痛み）。哺乳瓶拒否の存在。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子育て全般。特に出産して1〜2ヶ月間、不安な気持ちが大きくなった事が想定してませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供の成長、発達をよく知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
プレイマットとベビーゲートがないと、少しの時間も子供から目を離せないため、用意は必須だと感じた。(子どもの父親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)

自宅から最寄駅までの移動でバスを使います。いつ乗っても高齢者で満席なので、揺れるバスの中で子供を抱っこしたまままでいることが多くて毎回不安です。 旧式のバスの場合、運転席側の出口からベビーカーを下ろすことできないので、後方の入口の扉を運転手さんに言って開けてもらいます。 ベビーカー用の安全ベルトを取り付けている最中にバスが発車してしまったり、外すのに手こずり降り損ねたりもあります。 バスを安心して利用できないので、徒歩30分以上かけて駅まで歩くこともあります。 なんとか改善して欲しいものです。(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子供のお昼寝が少ない日が多く、妻の休息時間が少ない。(子どもの父親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
特にありません。(子どもの父親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
・子供の食事を用意するのが大変 ・気分によって食べなかったり食べたりする 食事問題(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなにも子育ては大変なのだということ。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
新生児のうんちの回数の多さ。乳児湿疹。ひきつけ。傷がすぐなおる。想像以上に早くやれることが増えていて、自分が想定している以上に注意が必要。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
想像以上に子供中心の生活になったこと。1日の流れの変化。常に時間に追われている感じ(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
大変になるかと思ったが、思った以上に落ち着いて子育てができています。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
母乳をあげることが、簡単ではなかったことです。時間も45分/回はかかっており、出産直後は次の授乳時間までこんなにも間が短いのか！という印象です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
授乳や夜泣きでこんなに夜中起きなければいけないとは思っていませんでした。自分の睡眠がうまくとれないことが辛かったし、そのことで自分の体調管理も難しかったです。 10ヶ月くらいまで抱っこで寝かしつけていたのですが、重くて体が痛くなり大変でした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
寝かしつけが大変。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに自由がなくなるとは想像していなかった。24時間子供は親を求めるので…。 ありがたい事ですが、時々疲れてお休みが欲しくなります。 お母さんが休めるような仕組みがもっと社会にあれば良いなと思います。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後、産前には無かった体調不良が定期的にある。毎月のように頭痛に悩まされてつらい。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
自治体によって子育て支援の差がありすぎる(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
・2人目出産後の心身の不調 ・子どもとの関わり方や子育て方針の差を夫婦で一致させる難しさ(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)

下の子が生まれて、これまで目の中に入れても痛くないほどかわいがってきた上の子が、かわいくないと思えたこと。新生児との体格や行動範囲の違いから、気持ち悪い、汚らしいと感じ、辛く当たってしまったこと。動物の本能やホルモンバランスとして仕方ない部分もあるだろうが、そうした想定外の自分の変化にショックを受けた。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
想像以上に体力気力を使うこと。 個人差があり過ぎて、一般的な成長の目安では計れないことが多いこと。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
嬉しいことですが、2人目から3人目の間が5年あいたら、出産子育てに関する支援金がとても増えていて驚きました。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供向けのサービスや施設など目に入っていなかったと気づきました(子どもの父親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
<地域名>付近に一時保育できる施設がほとんどない(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園の条件が厳しい!派遣社員の場合には大分緩い条件で保育園の点数をして貰いたいです。正規雇用と同じは無理。これからどんどん非正規の人が増えるから、子供を産む若い人達が大変です。(子どもの母親(1人目)、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園より、その先の学童期から先の細かい支援が思ったよりない事。学童がほぼ選べない状況、抽選落ちの可能性の高さ、落ちた時のフォローを会社と交渉する以外ほばない事。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子供がいることでこんなにも眠れなくなるとは、出掛けることも大変になるとは、子育ては想像以上に本当に大変だと感じている。元々自分は子供好きではない方だったが、やっぱり我が子との時間は楽しいと感じられる一方、一人暮らしも長くして、結婚もしたくて家族も欲しくて明るく賑やかな家庭を作りたいと思ったのに、時々「一人になりたい」と思うことがあること。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自分の時間がない。保育園にあずけたら一時保育の利用ができない。保育園は原則就労だから。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
仕事へのストレスが減ったらこんなに家事育児を楽しめるんだなと実感した(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
妻との関係がここまで疎遠になるとは思わなかった(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
特になし(子どもの母親(1人目)、20代後半、2歳0か月-2歳5か月)
働き方の制限 子供が生まれる前に 10年後も働けるか?を考えて会社を選べば良かった。子育てしにくい会社はマジで淘汰されるべき。<自治体名>から通勤遠いので夫がフレックスある会社でなかったら働けてない。そういうことを国や市からもっと伝えた方がいいと思う。 (子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
コロナ禍もあるがこんなに小児科の受診の予約等が大変と知らなかった。もっと気軽に受診できと思っていた。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
コロナ禍の妊娠出産のため、産前に産後に必要な知識があまり得られず、産んだその時から日々の育児に追われる日々が続き、2歳になるまであつという間だった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもの父親の自分勝手さが変化しないこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

おむつ替えスペースのありがたさ。総合体育館のだけれどもトイレはおむつ替えシートではなく引き出しベッドになっていて、ねんね期の赤ちゃんなどはベルトもなくとても使いにくかった。動くようになってからも、寝かせたり座らせたりしている間に用を足せないで大至急改善してほしい。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもは思っている以上に可愛い 子どもは親が大好き 大変なことでもやればなんとかなる 手を繋いで歩くことはむずかしい 子どもは力が強い(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
母体が妊娠前と妊娠後でガラリと変わる事。産後は文字を読ませるなど言われている事。 産後に無理をさせるなどは聞いたことがあったけれど、文字も読めなくなるとはしりませんでした。(子どもの母親(1人目)、40代後半、2歳0か月-2歳5か月)
車の無い生活ですが、夜間診療の終了時間後にケガや体調悪化を起こすとは想定してなかった(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てしやすいという環境と思いこちらの市へ移住してきましたが、駅周りが少々老朽化など目立っていると思います。(だいぶ目立ちます。) 少子高齢化なので、市税の使い道など急務なところへ使うのは分かりますが、インバウンドを狙うならばその方たちが利用しやすいようにそちらに力を入れてみても良いと思われます。 目先の利益を狙ってしまうと、お金のばら撒きや教育という部分が二の次3の次になってしまわれませんが、昔とは違う新しいやり方を模索して頂きたいと思います。 想定してなかったというのは、＜自治体名＞は大きい都市だから派手やかなところかな？と思ってましたが実はベッドタウンな場所という印象になってしまったこと。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てがこんなに大変で、母親の命を削るようなものとは、外から見ているだけでは幸せな面しか見えずに分らなかった。 同時に、命を削ってまでも自分を後回しにしてまでも、無意識に生かし育てたい存在であり、当たり前のように子育てをしているように見えるすべて母親の偉大さに気付いた。 虐待、育児ノイローゼは、まったく人ごとではなく、環境次第でだれにでもなりうるものだと分かった。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
・送り迎えが毎日発生するので、今は慣れたが、ここまでしっかり面倒を見るのだと改めて思います。 ・土日の時間や、自分の時間がないので、他の親はストレスはどうやって発散しているのか謎です。1人の時間(リフレッシュ)が欲しいと思います。 ・共働きの人は買い物はいつ、何処でしているのか？夫婦とも時間がありません。(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
イヤイヤ期が思ったより大変でした(笑)(子どもの父親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
私がイメージしていたよりも子育てにかかるお金の負担が少なかった。大変ではあるが、幼稚園なんて高いでしょ！というイメージ等が覆された。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
たくさんあったはずですが、思い出せません。ただ、思ったより育てやすかった印象でした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
ほぼほぼ全部。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
赤ちゃんの時の保湿がアトピーの発症率を下げることを知らず保湿をしていませんでした。 後から知って後悔しています。 熱性痙攣や食品アレルギーなど我が身にふりかかって知識を得たことも多くあります。 そういったことも前々から扱っていただけると嬉しいです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)

子供の賢さ、心の成長の早さ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子どもがこんなに具合が悪くなるなんて思わなかった。2人いるので倍。 コロナのせいもあり、解熱後24時間経たないと保育園に行けないのが大変。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、2歳6か月-2歳11か月)
成長が子どもによってバラつきがあり、さらに個性や持って生まれたものによって発達にバラつきがあるということ。 そこが育児本や、普通と言われる範囲から外れるととても心配になりました。特に第一子の時は手探り状態で、何が普通で何が普通でないのかが分からず不安が強かったです。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
自分が子供の時のように、母親中心に子育てできるものだと思っていたが、全く違った(子どもの父親(2人目以上)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
・ベビーカーでも抱っこ紐でも、子供を連れて出かけるのは想像以上にとても大変(ベビーカーでは入れない場所がたくさんあるし、抱っこ紐と荷物で出かけるのは重労働) ・寝不足はダメージが大きい(普段だったらイライラしたり落ち込んだらしないことに敏感になる) ・想像していたよりも、街中の人は妊婦さんや子連れのパパママに優しい(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ミルクを飲むのに30分くらいかかることや、頻回授乳は想定していなかったためとても驚いた。 一時保育の預け方がわからず戸惑っています。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもがとにかくかわいい。漠然と子どもが欲しいとは思っていましたが、こんなにかawaiiとは想像していませんでした。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
3時間おきの授乳やオムツ交換のお世話があることは知っていたが、自分の生活に実際に入ってくると、こんなにも大変なのかと驚いた。 子供中心の生活になるため、自分の時間が削られたり、今までよりお風呂だったり就寝準備だったりを早い時間帯にしないといけないのが想定以上だった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
区の支援がこんなにある(デイケアに安く行けたり、子育て講座があったり)ことはまったく知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
完全母乳育児の大変さ。ミルクでの育児と違い子供と離れることができる時間がほとんどないということ。(離れたいとは思っていないが)預けて長時間自由な時間をとるということとはできないということ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
助産師さんに気軽に相談できる場があること(デイケアなど)(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
洗濯物が増えるとは思っていたが、こんなにたくさん吐き戻し、うんちが漏れるなどは想定していなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳育児について。今混合で育てていますが、調べても相談しても人によって言うことが異なる事も多く、その中で自分で判断していますがそれが正しいかわからず、子の成長に直結することなのでかなり悩んでいます。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもの扶養控除がないことに愕然としました。各種手当やサービスに所得制限があることも多く、子どもを産んで、かつ子どものために頑張って働こうと思っていたのに、子どもを産んだら罰、頑張って働いたら罰かのような制度設計に不安が募っています。物価が上がり収入は増えずに手取りは減る中で、子どもにだけは美味しいご飯と良い教育をと思うと家系は苦しくなるばかりで、子どもは三人を希望していましたが二人で終わりにしなければならぬかと悩んでいるところです。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
自治体によってサポートの差が大きいこと(<自治体名>は手厚いと感じているので結果的には良かった) 駅のエレベーターでの乗り継ぎや、お店に段差があるだけで入店を諦めるなど、不便なことが多いこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

<地域名> 駅にエレベーターがないのがこんなに不便だとは思いませんでした(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
こんなに寝ない日があること。 母乳育児の難しさ（区の助産師さんは決められた余裕ありすぎる体重の数字がクリアするためだのアドバイス中心になってる。母親が母乳育児を希望しているのなら、母乳を続けるためのアドバイスをしてほしい）(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
保育園の送り迎えがこんなに大変だとは想定していなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
こんなに大変だと思わなかった 納税額が多い方が損をしている気持ちになる(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
こどもがこんなにも泣くとは知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月）
子育てにはこんなにお金がかかること お金が無ければ子育て難しい(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、0歳0か月-0歳5か月）
・オムツやお尻拭きの消費が想像以上に早く、思ってたよりも頻繁に買いに行かないといけないこと。 ・泣き声が思っていたよりも大きいこと。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月）
妊娠により、低血圧が酷くなることをはじめて知った。トイレに行くのにも息切れするほど辛く「さすがに聞いてない!」「これでは仕事はできない」と思った。 妊娠前は大変なのはつわりと産休期間くらいだと漠然と思っていたが、妊娠中ずっと低血圧やお腹が張りやすくて、身体が常につらく、仕事を辞めた。妊娠中のマイナートラブルでは傷病手当も使えず、これからお金が必要なタイミングで、働けなくなりやすく、お金もキャリアも簡単に絶たれること、仕事がなければ保育園にも入れず、仕事している状態への復帰がものすごく難しいこと、公的支援がとても少ないことを知った。 経済的に苦しくなればなるほど夫婦間での喧嘩が増え、DVからの逃げ場もなくなっていった。離婚しても主に男性側が養育費を払わず逃げ勝ちできることを知り、つらい気持ちになった。 また自治体によっては養育費の立て替えをしているところもあることを知った。 <自治体名>では男子へのHPVワクチンなど、ワクチン接種助成に積極的で嬉しい。これからも医学的根拠のある正しい知識をもとに、ワクチンなど予防医学への助成を続けてほしい。 赤ちゃんへの関わり方があまりわからないので、保育園にいておけば良かったかな？習い事をさせないといけなかな？と自分の選択に常に後悔がつきまとうのが親なのだと思います。 離乳食後期に入り、遊び食べが始まって、想像の10倍子どもと服と周りが汚れることが分かった。 夫は優しくて子ども好きな人だと思っていたのに、子どもと遊ぶのは少しの時間だけで、夫が家にいると子どもより夫に配慮しなければならない理不尽さ、自分との家事育児分担の差や、夫の精神的な幼稚さや自立心のなさ、セルフネグレクトも顕著になり、夫育てが必要とはこういうことなのかと思い知らされた。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月）
支援センターの閉館時間が早い。午後行こうと思うとすぐに閉まってしまう。子供の遊び場はそこそこあるが、赤ちゃんの遊び場が少ない。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月）
産後家事育児支援事業やベビーシッターの助成金などは出産後に初めて知りました。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月）

1番は<地域名>駅にエレベーターの設置がないこと、本当に不便です。ベビーカーや子どもをつれての移動がとても不自由なことは、子どもが生まれてから実感しました。また、<地域名>駅周辺で離乳食を取り扱っているドラッグストアがほとんどないこと。出先で買いたい時にとても困りました。<自治体名>役所が新しくなったら、離乳食や小さい月齢の子どもで食べれるおやつなどの自動販売機なども置いてもらえると助かると思います。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
父母2人とも体調不良になったときに子供の世話をするのが想像以上に大変。(子供にとっての)祖父母も遠方にいるのでサポートしてもらうのも難しく、熱が出ても身体を休められない。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育てがこんなに大変だとは思わなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
衣類や玩具など、こんなに子どものもので継続的に出費があるとは思っていなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出産に大金がかかること 地域の一時的預かりサービスはほぼ利用できないこと 駅のバリアフリーが意外と進んでいること(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
区界に住んでいると隣の区の保育園の方が近いのに申し込みができない。
<自治体名>は産後ケアが手厚い。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出産自体よりも産後の方が何倍もしんどかったこと(自分の身体と生活リズムの変化) 子供と離れての自分の時間が全く取れないこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
育休手当の延長のために保育園申請が必要なこと(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
<地域名>駅にエレベーターが無く、想像以上に不便に感じました。できる頃にはベビーカー卒業しています。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
日々の忙しさは想定以上だった。 階段、家のまどり、階段、家事動線に赤ちゃんを抱いて移動するのが楽かどうかなど想像が足りていなかった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
夫への気持ちは変わらないと思っていたけど、子供が関わるとイライラしてしまう。 少しの言葉尻をとってムカムカしてしまう。 逆に少しの言葉や行動で本当にこの人がパパで良かったとも思う。 気持ちの浮き沈みが多くて驚いた。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産まれる前にもっと産後の勉強が必要だった(主に子供の発達)(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにも毎日成長していくとは知らなかった。1年間がとても貴重に感じる。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
母乳だと2.3時間おきに授乳、搾乳をしなければならないこと(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
育児給付金の配布時期がズレること、自分の時間がここまでなくなること(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
再入院したときに子供も一緒に入院できなかったので預け先に困った。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに寝れない、お金がかかる、自分の時間がなくなるとはとは思わなかった。 また、電車での移動の大変さを知った。ベビーカーのスペースに人がいて置けないことや、エレベーターがないなど。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)

良いことで、他のママ友に聞いた話ですが、他地区より＜自治体名＞は、生まれた後、産後ケアに行ける回数が多い！（子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
子供を気軽に預けられる場や、一緒に参加できるものが少ないこと（子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月）
保活、赤ちゃん返り、早生まれが不利なこと（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
こんなにも自分の時間が無くなるんだということ。 子どもが2人いると上の子の習い事に連れて行くのも難しいということ。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
早生まれのため、保育園の1歳クラスに4月入園させるにも、離乳食が終わってなかったり歩けなかったり意志疎通ができない状態で入園させないといけない可能性があること。上の子は早生まれではなかったので保育園入園にあたってこうした心配ごとがなかった。育休期間との兼ね合いや2歳クラス4月入園の募集状況も考慮するとやむなしだが、生まれ月の遅い子のために下半期入園などを取り入れた方が、保育園としてもリスクが低いのではないかと思う。他にも早生まれならではの悩みを今後ずっと抱えるのかと思うと憂鬱である。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
子供が増えると本当に心身が疲れる（子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月）
学童の待機があるのは想定外だった。保育園が解消していても、小一の壁が解消していなければ依然として不安は消えないと思います。（子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
核家族の不便さ（子どもの父親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月）
幼稚園の情報が得にくいこと（子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月）
地域の子育て支援施設がたくさんある事を知らなかった。もっと初めから利用しても良かったと思った。（子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月） 寝かしつけの大変さ！ ねんねトレーニングの本を2冊※読んで乗り越えられて良かったが、知らないと苦労している人もいるかもなと思います。※電子書籍で読みましたが、最近＜施設名＞に2冊とも入ってました！良い予算の使い方だと思います！（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
保育園の申し込み方法や選定方法（子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
産後に手根管症候群を発症したこと。 産後8ヶ月くらいまではしびれがあり、まさか出産で手に痺れが起きるとは知りませんでした。（子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
予防接種のことや自治体の使い方、医療証や病院の利用のしかたは知らなくてびっくりした。（子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月）
旦那が過剰に気にするようになり生活しにくい（子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月）
病児保育利用のハードルの高さ（子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）
子どもの体調不良の多さ。 理解していたつもりだけれど、実際に育ててみるととても多く、仕事が思うようにできないことが多い。（子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月）

子育ての大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
外食に行ってゆっくり食べることができなくなった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
こんなに大変だと知らなかったが、とても子供が可愛い(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
育児をしながら働くことがこんなにも大変で過酷だということ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
助産院の存在 デイクア、母乳相談は本当にありがたい(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
上の子の赤ちゃん返り。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月）
慢性的に睡眠不足子育ては思い通りにいかない親のコンディションの調え方（慢性的に休みがないので）(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月）
一時保育の予約が取れない(子どもの父親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月）
夫婦だけでは子どもの面倒が見れないこと。(子どもの父親（2人目以上）、50代、1歳0か月-1歳5か月）
母体の産後の体調不良について （事前に聞いてはいたものの、体験してみると想定以上でした）(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月）
よく調べれば子連れ向けのイベントが結構いろんなところで行われてることを知った。 <自治体名>の情報もだが、近隣の区のイベント情報とかも（可能なら）流していただけるともっと嬉しい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月）
働かなくても預けられる場所があること。認証保育所 子育て広場があること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月）
噂には聞いていたけど、一時保育ですら入れない状況(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月）
保育園入ってから体調不良が多く親も子も大変だった(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月）
思いの外お金がかかる。今はとにかく物価の値上がりがきつい。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）
ここまで主人が子育てに協力的だとは思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）
保育園は希望すれば入れると思っていた。 なかなか狭き門でした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）
産休育休中のリスクリングは不可能だったこと。保育園入園後の引越しや転園が大変なこと。保育士の質が低いこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）
毎身体調を崩すこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）
こんなに自治体のサポートがあるのは知らなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）

子供の機嫌を付き合いながら電車に乗らなくてはならない時に周りの方が親切な対応では無い時に残念な気持ちになった。 特に一歳までの寝かしつけが大変で常に睡眠不足だった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
児童館の存在 助産院の活用法(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
交通インフラ(例えば駅のエレベーターや電車の車椅子エリア)が圧倒的に足りていない。＜地域名＞駅にてエレベーターがない事を駅員に笑顔で回答された時は嫌悪感を超えて殺気が立ちました。 また、所得制限のせいで、本来受け取る権利があるはずの支援が全く受けられない。都内、区内では同じような恨みを国や自治体に持っている家庭は多いと思います。 納税をすればするほど恩恵は受けられないこんな状態で第2子などのぞめません。(子どもの父親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
小規模保育園が無くなることもあるんだなと。働く親が多いため、増やす一方かと思ってました。(子どもの父親(2人目以上)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
特にないのですが、強いて言えば、仕事と子育ての両立が大変だろうなと思っていましたが、やはり大変でした。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
共働きの育児は想像以上に大変(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
・自分の時間を作るのに各所との連携が必要になること(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
エスカレータの少なさ(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
エレベーターがないと困ったり、授乳室がある施設を探したりしたので、遊びに行く場所の選び方が変わりました。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
全てにおいて未知でしたし、ほとんど知らない事ばかりだった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
熱が出たら当日や翌日に預けられるところがほとんどないこと。保育園の0歳児クラスのと看、土曜保育になかなかあずかってもらえなかったこと。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
各種イベント、お宮参りやお食い初めなど(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
孤独を感じるということ、(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育園の入園申し込みが複雑で、かつ、0歳、1歳クラスは、年度はじめ以外はほぼ100%と言って良いくらい入所できないこと。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
＜地域名＞駅にエレベーターがないこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
思ったよりも養育にお金がかかる。双子なので余計に負担が大きい。金銭面も体力面も。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子ども同士や近所との関わりについて。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
歯医者に行くのが、誰かに預けられないと行けないこと。 何かあった時にすぐに預けられる所の無さ。 事前予約だったり、場所が遠かったり近くに無い。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
母乳育児の大変さ 子供が生まれてから慣れるまでの育児の孤独感(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

療育について知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
想定以上に早い段階から個性は表れてくるということ。(子どもの父親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
知らないことだらけでした。 母乳をあげることがこんなに大変なのか(乳腺炎や白斑など)とか、離乳食の進め方がこんなに細かく決められているのかとか、病児保育の預け先の無さとか、経験してみないとわからないことだらけでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
<自治体名>の助成のひどさ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
2歳児になると、食べるものも着るものも出かける場所も出かける手段も、何もかも、自分が納得しないと次に進めないということ。子供は20時くらいに寝るものと思っていたが、保育園でお昼寝してる影響なのか、実際には22-23時くらいまで寝ないこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
・児童館や一時預かりなどの施設、サービス ・マンション暮らしでの子供の足音、声などの騒音を立てる側に自分になったこと、またその対策が非常に難しいこと ・ベビーカーで入れる店舗かどうか下調べするようになったこと ・おもつ交換台、ベビーチェア付きのトイレがあるかどうか下調べするようになったこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
幼稚園に面接があること。 イヤイヤ期が大変過ぎて買い物すらも難しく外出のハードルが高いこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
大半のことがそう(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子育ての何がそんなに大変なのか実感が湧かなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子育ての大変さ、子供が出来る事によって自分一人で思った以上にかけられなかったりする事。奥さん一人に任せると、心身共に負担をかける事。(子どもの父親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
たくさん風邪を引いたり、保育園に行けない期間があること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
体力の衰退。(子どもの母親（1人目）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
産後の精神面の崩れやすさや孤独感。出産した本人が想定していなかったのだから、夫はもっと想定していない、知識がない、対処（協力）できていなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
こんなに子どものことを1番に考えるようになるとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
男児2人の育児がこんなに話を聞いてもらえないのか…女の子は同年齢で凄く空気を読めるんだなと知りました。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
子どもとの体力差に愕然とする。(子どもの父親（1人目）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
賃貸を借りる際、子供不可の物件が意外と多いこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)

子育てがこんなに大変だということ。かわいさや愛おしさより大変さが上回る。幼稚園に入れる場合3歳まで自宅保育になるのに、2、3歳の子が遊べる場所や預かり保育などがあまり充実していない。児童館で遊べることや児童館、保育園での預かりがあることは知ってますが、結局どんなSTEPがあるのかはよくわからないとか、保育園に聞いてとかで本当に行政の窓口が親身じゃない。赤ちゃん時代の支援や遊び場も大切ですが、幼稚園に入る直前の方が子供も活発で相手するのが大変なので、例えばプレの案内とか紹介、預かりのSTEPについて知りたい。幼稚園に行かせる人は少なく、私立が多いから行政はタッチできないかもですが、その垣根を越えて、紹介するというスタンスで情報を伝えてほしい。赤ちゃんのときより、活発になってくる3歳前後の子育てが本当につらい。とにかく嫌だしかないので、子育てがとても嫌になる。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
幼稚園に入園するまでに、一時保育に預けたいことがたくさんあったが、一時保育の定員がいつもいっぱい、だいぶ前からの事前予約制で予約開始時の朝9時に電話しても予約が取れなかったりと、突発や日が迫った予約ができない事実を知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子どもが生まれてから引っ越すと、自治体の支援が受けにくい場面があること(一人目のときに税金を払っている期間が長い人の方が優先だと言われたことがあるため)(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
区内に出産できる病院が少ない。 <自治体名>北部の公園は遊具が少なく混み合っている。ゲートボールスペースは十分確保されているのに…。<地域名>公園を参考にして遊具の配置を見直して欲しい。 小学校最寄りの学童は定員オーバーで入所できない。しかし、学校から離れた学童には空席がある。区には、通学路上に無い等、空きがでる理由、学校最寄りの学童がキャパオーバーになる理由をきちんと認識して子ども、親の立場に立って早急に方針、計画を見直して欲しい。数年後子どもが減って自然に問題が解消するのを待つ作戦はやめて欲しい。今困っているんです。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
出産前にもらえる商品券など意外と金銭的支援があること(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、4歳0か月-4歳11か月)
生まれた後に突然離婚したので、なかなか理生活が苦しい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、5歳0か月-5歳11か月)
子育ての大変さ、孤独さ、産後の体調が戻らない事など(子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
ベビーカーでの移動、買い物が大変。エレベーターが少ない。あっても混んでいる。(子どもの母親（1人目）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
子どもを持つまでは、育児中の「自分の時間がない」の認識が大きく間違っていました。 飲み会に行けなくなる程度で、大変軽く考えていました。 キャリアを考えての資格取得などは、なるべく妊娠前にしておくべきでした。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月)
こんなにエレベーターの位置やトイレの位置を気にしないと行動できないとは思っていませんでした。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
学童に待機があること。 外出先(特に駅など)でエレベーターを使うルートが、とても時間を要すること。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
区によって全然サポート体制など違うということ(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
子どもと過ごす時間が負担になるとは思ってなかった。子どもがほしかったので、生まれてからは幸せな生活と思っていたが、子どものわがままや言い方に腹が立つことがあり、子どもに対してこんな感情を持つことがあると初めて分かった。(子どもの母親（1人目）、40代前半、6歳以上)
習い事にお金がかかる。(子どもの母親（1人目）、40代前半、6歳以上)

とにかく新発見ばかりです。子育てをしながら、自分の親もこんなに大変だったのかと尊敬と感謝の気持ちが、子どもが生まれてから日々湧いてきます。(子どもの母親(1人目)、40代後半、6歳以上)
子どもを産む前は、子どもがレストランなどで走っていたり、電車内で泣いたままにしている親についてなぜ?と思っていましたが、どんなに注意しても、子育てがんばっていても、無理なものは無理なんだ、ということは知らなかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、6歳以上)
たくさんある。 希望保育園への入りづらさ 不登校児に対する学校の融通の利かなさ、先生方の理解不十分さ(人によりますが) 給食費が意外と高い(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、6歳以上)
産前に産後の生活が想像ついてなかったか。夫婦、家族で想像できる話を、産前に聞いたかった(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、6歳以上)
赤ちゃんがなかなか寝ずに、次のミルク・授乳の時間になること。 こんなにも睡眠が取れないのかと思った。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ママ友のできにくさ。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上にお金がかかる。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーで行けるところが限られる。 ベビーカーでバスが乗れない。 道が狭い。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
散歩コースでのオムツ替えができる場所など、もっと出産前に確認しておけばよかったと思った。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ミルクやおむつなど消耗品は赤ちゃんファーストで賄えるため、出費を抑えられる 鼻水吸引機や搾乳機は出産前準備の必須ではない(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
新生児期に、こんなにちゃんと正確に3時間おきに起きるとは思わなかった。 母乳育児希望の場合、産後すぐに乳首保護剤のピュアレーンがあったほうがいいと知らなかったので、用意していなかった。 どのように調べればよかったのか今でもわからない。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなにも寝不足で、孤独で、うつになりそうなことを知っていたら、子どもなんて産まなかった。騙された、ハシゴをはずされた、そんな気分です。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想定外のことはあまりないのですが、やっぱり出産期にかかるお金や役所関連の手続きはそれなりに多くて大変です(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
昼寝(朝、昼、夕)の寝かしつけがこんなに大変だと思わなかった。 寝かしつけ=夜 と思ってしまっていた。 ねんねについてのもっと広い知識が知りたいです。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
お金が思った以上にかかること(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳育児のトラブルの多さ、離乳食のやり方は知らなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
児童館などのイベントがこんなに充実しているとは知らなかったです。(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
家事代行やベビーシッターの利用、補助 子育て支援金(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子育てがとても楽しいこと。 世間では夫が妻に育児を押し付けるなど育児が辛くて大変というイメージもありますが、毎日幸せを感じられていて、寧ろ子育ての時間が少なく一生懸命に働いている夫も大変だと思っています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
外出先での過ごし方(オムツ替えや授乳など)について(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子連れでの外出のハードルの高さは想像を遥かに超えるものだったが、一方で、子連れで行ける行政施設などがこれほど充実していることも出産するまで知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子育て世帯のためにさまざまな給付やサービスがあることを初めて知りました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんのさまざまな健康のこと、母乳に関する悩み事の多さ、授乳室やエレベーターの有無を調べないと外出できないこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
自分の体調が急に悪くなったときに子どもの面倒をどうやってみるか(夫や親にも頼れるがそれ以外の選択肢に関する情報)(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
<施設名>に0歳から入れないこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
自治体のほじょ(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
乳腺炎についてよく理解しておらず、子供の預け先さえ見つければ出かけられると思っていたが、外出先で母親が授乳時間に合わせて搾乳しなければいけないなど苦労があることを出産後に知りました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に自分の時間がない、どこに行くにも子どもを連れて行かないといけないということが想定できていなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなに子育てが楽しいことだと思いませんでした！例えば話で、仕事と育児を天秤にかけたとき、育児の方が大変だとよく耳にしていました。私の場合は今のところ断然仕事の方が大変でしたし、仕事の大変さを知っているからこそ夫への理解や共感もできている方なのではないか…とこれまでの自分を肯定できていることも想定外でした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳の量が安定するまでに結構時間がかかるんだな、と思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
義母の、子育てについての介入がやや前のめりで、無碍にもできるはずもなく、何も言えず、思い出すだけでもしんどいです。 子育て自体は楽しみたいですし、子は可愛いです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
事前に聞いていたり調べた情報よりも子育てに余裕（よく寝る、よく飲む、割と泣かない）があり、個人差が大きいと感じた。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
オムツやミルクが想定外に価格が高いこと。授乳室設備のある施設がとても少ないこと。段差があってベビーカーでは入れない店舗が多いこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ミルクの増やし方、赤子がうなりすぎることで、赤子の睡眠が浅くてすぐにうなったりすること、満腹中枢がないこと、おっぱいが軌道に乗るまでがこんなに痛くてしんどいということ、母乳は乳輪を咥んでもらってでるようになること、などなど、産んでから初めて知ることばかりだった。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)

色々と妊産婦・子育て支援事業(産後ショートステイやリフレッシュ時預かりなど)があると紹介されたのはいいが、蓋を開けてみると実際はなかなか利用できず、支援をやっていますよというパフォーマンスに感じてしまった。 産後ショートステイは産前強く勧められたが、何度施設に電話しても使用できませんと言われた。実際利用できるのは一日1-2人(しかも在住区だけでなく数区合わせて)であると聞いて、利用するのを諦めた。 保育園のリフレッシュ時預かりも、理由は問わないと書いてあったのに、しきりに保育士に仕事であるかどうか聞かれた挙句、同じような月齢の子(5ヶ月)がいないという理由で暗に断られた。 <自治体名>は待機児童がゼロと聞いていたが、週に一回の預かり事業に応募したところ倍率が高く落選した。 夫が子どもに虐待をする可能性があったため児童相談所に行って心理カウンセリングなどがないか聞いたが、ないと言われた。児童相談所と保健所、医療機関の連携体制を作っていただきたい。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園、どこにいれるか こんなに悩むなんて思っていなかった 想像以上に自分の事が出来なかった。 母乳育児、混合育児 ミルク育児 どうするかで悩むなんて思っていなかった。 、(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供のオムツ、おしりふき、ミルクなどの生活用品に想定よりお金がかかる。産休中の手当や児童手当は支払われるのが遅いため、収入がない期間の出費が気になる。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子が生まれて、今で行かなかったところ・参加しなかったイベントに積極的に出向くようになり自分とパートナーのその変化が一番びっくりしている。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に自分の時間がないこと。 家事が思い通りに進められないこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
上の子は3歳だが、子ども2人育児が想像してたよりも大変。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ぱっと出てきませんが、こんなに服が汚れるとは思いませんでした。子供自身の服も、世話をする親もおっぱいやよだれや砂で汚れるので、出産後は家で洗える素材の服ばかりになりました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ワークライフバランスの難しさ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
身体がすごく辛い期間が長いこと。色々と不便な上にとにかくお金がかかること。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
上の子に兄弟を作ってあげたいという気持ちがとても大きかったが、当たり前だけど2人目もとても可愛い(^-^)(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産褥期の体の状態や母乳が整うまでの体の変化や辛さ。子どもが体調不良で保育園に行けない時の仕事の調整負荷。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ミルクとの相性があり、変えることで体調がよかった。いくつかの銘柄を試してみる発想がなかった。(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

子供の育て方 大人とそんな変わらないと思っていたが、子供独自の接し方があるんだなと思っている(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
部屋の温度調整が必要なこと(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんの吐き戻しや平熱等の体調関係。(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
様々な補助制度(子どもの母親（1人目）、20代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーでの移動のしづらさや思った以上に時間がかかる 地域ごとにいろいろと子育て広場などがあること(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の子供の発達がゆっくりなのが想定していなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
急な保育園からの呼び出しにどう対応するのか、病児保育は空きがなければ利用できない、子供は想像以上に体調を崩しやすい、親も体調不良になった時には絶望を感じる等(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
知らなかったことはたくさんあるが、出産に際して、一時金があってもとてもお金がかかると初めて知った。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
エレベーター渋滞がこんなにもひどいと思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
眠れないとは聞いていたが、実際に3時間以上の睡眠を半年以上にわたってとれない、ことを体験してみるとこんなに辛いとは思っていなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
第一子なので毎日「知らなかった」ことばかりです。 頻回授乳で寝られない・抱っこでしか昼寝できない時期が長く、子が寝ている間も何もできない・人見知りが始まるとトイレにも行きづらく他の人に預けにくい・最初の3ヶ月が大変と聞いていたが、4ヶ月で一度夜も寝つきが悪くなり、6ヶ月くらいまで大変だった・添い寝は危険と聞いていたのですつもりはなかったが、ベビーベッドで寝てくれなくなり、結局添い寝している(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
睡眠不足が続くと精神的にしんどい時があり、ここまで想定していなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに大変なことだとは思っていなかった。(夜泣きなど)(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
母乳がたまると胸が張って痛くなること(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食を作ること、食べさせることの大変さは知らなかったです。アレルギーの心配もしながらも、食べれるものを少しずつ増やしていくのが大変です(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
トイレに行くのがこんなにも大変だとは思っていなかったです。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
乳腺炎など、母乳育児に関すること。うちの子供は、直接母乳を飲めず、搾乳した母乳をあげているが、こんなに色々大変だとは思っていなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
奨学金に所得制限があること。高校の無料化も所得制限があること。子どもを育てても扶養控除がないこと。支援が全くなく驚いている。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
育休明けの働く女性の大変さは想像を超えてました。育休を取る男性も増えましたが割と短期間の取得ですし、その後の時短勤務は女性がするものという風潮はなかなか変わらないと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)

産後の体調の変化（抜け毛、不正出血、術後の治り）、睡眠不足になること(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
仕事が休みの日に保育園が預かってもらえないこと。 仕事のギリギリのタイミングでしか預かってもらえず、就労時間ギリギリにしか職場につけず仕事の準備ができなくなって困っている。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
全てにおいて想定外ですが、特に子供を連れて外出した時に公共交通機関を利用するのですが、エレベーターの数が少なく、電車の乗り換えが不便だったり、目的地に到着するまでの凄く時間がかかること。都内のバスも混雑しているため、ベビーカーだと利用しづらい。出掛ける度、疲労困憊になり、出掛けるのが億劫になる。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
思った以上にお金がかかる。特に都内は出産費用が高い。また物価高でオムツ・ミルクがどんどん値上げして辛い。 寝られなかったり肩こりなど不調は多いが、びっくりするくらい子供が可愛くて頑張れる。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもという存在が、こんなにも愛おしいということは知りませんでした。 両親が不仲だったので、子どもに対して愛情が芽生えるかとても不安でしたが、杞憂でした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供を連れて出掛けていて、手助けをしてくれる人がいるとこんなにも嬉しいとは思っていませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
育休が2年は短すぎると知ったし、保育園無償化が3歳からだとなると、それまで保育料がかかるということを知らなかった(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
体力が思ったより必要だった(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
希望の保育園に入るのが厳しい(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ほとんど知らないことだらけでした。新生児期は特に初めて知ることばかりでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
待機児童ゼロとは言われているが、実際はそうではないこと。 保育園に入ることが難しいこと。 育休2年目はお金が出ないこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
2人目の子育ては2倍じゃなくて4倍くらい大変(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供はよく眠るものと思っていたが、思っていたよりは寝ない。 大人1人の自分だけの時間を確保する事が大変難しい。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
駅や商業施設内等の外出先でのエレベーターの場所、おむつ替え場所、授乳スペースがどこにあるかを気にしたことがなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食が準備から片付けまで大変。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
大変なこともあるけどとても幸せを感じるということ また、地域のことだが、独身者と持ち手が断絶されてるなど思う 見えてる世界が全く異なる(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
食物アレルギーのこと 癒合歯のこと どちらも子供がなって、色々勉強し、知識が増えましたが、それまでは名前を知ってる程度でした。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにこどもが可愛いくて幸せをくれる存在だと知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)

子供が生まれた時に、何を家に用意していればいいのか想像が付かず、また行政からの案内もあまりなかったこと。 季節に応じた服装がそれぞれ何枚必要で、ベビーバスが必要で、哺乳瓶やその付属物が必要で、といった網羅的な情報が欲しかった(子どもの父親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ここまで眠れない、休めないとは全く思っていなかった。時間とお金が湯水のようになくなっていき、想定以上だった。 育児はエンドレスのフルタイムの仕事で、とてもではないが何か他のことができるような状況ではなく、リスクリングとか机上の空論と白々しく感じた。また、色々なサポートがあるように表面上見えても満員、予約が取れない等で結局利用できないものが多いのが残念だった。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
忙しそうだとは思っていましたが、細々したタスクが本当に多いなと思っています。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
泣いてるときのほうが安心。大人しくなると何か食べたり危険なことしてないかととても心配になる。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園に関すること(子どもの父親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
知らないことばかりです。これだけやることが多い、子育ての細かいところは、やはないとわからないと思います。 <自治体名>役所視点でいえば、基礎自治体がこれだけのサービスを提供していることは知らなかったですし、サポートにとっても感謝しています。(子どもの父親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
家事負担が大きいこと。自分のペースで家事ができないということ。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てが思ったより大変だった。育休中は子どもと2人だけで時間が潰せず悩み、復職したら保育園に行ってくれるので助かったが子育てと仕事のバランスが大変で。収入も減り悩みは尽きない(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
生後半年は授乳は3時間も開かないし、夜も1-2時間もたたず起き、ここまでとは思わなかった。片や、知り合った方のお子さんは夜通し寝たり、起きてても1回くらいと聞いて驚いた。離乳食も全然進まず今もあまり食べない。子供によって違うと思うが、こんなに差があるとは知らなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後の体調が回復するまで時間がかかったこと、母乳は始まってからも乳腺炎などトラブルが起こり大変なこと、自分の子供が10ヶ月頃まで2-4時間毎の夜間授乳が続いていたのでずっとまとまって寝れず睡眠不足が続きしんどかったこと、出産や育児は人によって大変さが異なり、人それぞれで比べすぎないこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後母乳をあげる難しさ、半年位までの世話の大変さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもが産まれてから、自分のキャパがなくなり、夫と喧嘩するようになりました。 また復職し、育児と仕事との両立がこんなにも不安になると思いませんでした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供を自由に遊ばせることのできる場所が思ったより少ないこと。 公園でボール遊びができないことがあること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
夜泣きのつらさ！！！！復職したあとめっちゃくちや寝不足で大変でした。やっとまともに寝られる今は天国です。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
低年齢であればあるほど、子供によって成長のスピードは全く異なるということを知りませんでした。 子供を産む前と後では、働ける時間が全く異なることを想定してませんでした。保育園で風邪等を子供がもらってきて、それが大人に移ると重症化するというのは想定外でした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに自分の時間がなくなるなんて知らなかったし、育児書通りになんて育たないんだとびっくりしました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
小学校進学後の放課後問題(学童保育)。ぼんやりしたイメージで、子供が小学生になれば育児負担も減って仕事にもっとコミットできるのだと思い込んでいた。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

子育てのサービスが色々あった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
母乳育児の大変さ。痛みがあったり手術をしたり食事制限をしたり辛い事が多かった。 また、こどもは思っていたよりも起きている時間が長くて自分の時間が全くない。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに仕事を続けることが難しいと知らなかった。 「ワーキングマザーには責任のない、代わりのきく業務を任せるべき」「子育て中の女性に重要な仕事を任せるべきではない」という考えの人が多すぎる。 「無理しないで」「がんばらなくていい」という言葉は、こんなにも仕事への意欲を削ぐ言葉だと知らなかった。そう言われ続けてプロジェクトから外されると、期待されていないんだと強く感じ、辛い。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
一歳超えたところからも、思った以上に靴や服のサイズアウトが早い(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供がこんなに愛おしくなるなんて想像していなかった。だからこそ、余裕で復職してバリバリ働き、子供は遅くまで預けるつもりだったけど、そんなこと全然出来ない。子供が保育園で寂しくならないよう最短で迎えに行く。なので、仕事は超過密、帰宅後も子供との時間が長く、心身が摩耗していく。愛おしいからこそ、しんどい(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに腰痛が続くと思わなかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保活の大変さ 保活鬱の存在(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
夫や家族に家事ができると思っていたが 能力の差が大きかった(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
思った以上に、子育てと仕事の両立が大変と感じる。毎日ヘトヘト。仕事も子どもも中途半端感が否めない。(子どもの母親(1人目)、40代後半、1歳0か月-1歳5か月)
多胎児につきベビーカーは必須アイテムですが、ベビーカーでの外出や外食がとても大変であることは想定外でした。外出がとても億劫になり、うまく気分転換ができないときがあります。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園の入りにくさ、公共の交通機関への乗りづらさ、バリアフリー化が進んでおらずベビーカーでの移動が想像以上に大変なこと(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園の預かり時間の厳しさ(お迎え時間について勤務時間や在宅勤務かいなか厳密に問われる) 病児保育室を利用するのに病院を受診しなければいけないこと・1度保育園に行って熱が出たら再度受診が必要なこと 仕事復帰する場合、その当月からしか保育園に預けられず、事前にお迎えや病気の際のシミュレーション、仕事への準備期間・勉強期間が確保できないこと(子も親も初めての保育園で病気が続いたまま仕事復帰しなければいけない)(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
2人目が産まれて、2人育児のワンオペが想像していた以上にマルチタスクだったこと。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
国や都などからの補助がたくさんあって驚いた(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
年齢差もあると思うけど、2人になるとこんな大変なのかと思いました。ご飯やお風呂、外遊びなど多岐にわたりそう思う。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)

・子どもの衣類やおもちゃ、抱っこ紐やメリーなど、想定以上に場所を取る。・手が動かせるようになってから、物と物をぶつけて鳴る音に興味湧いていたが、ハイハイができるころには力もついてきて、壁や家具にもブツけるので割れやすいものや壊れやすいものを部屋から排除すること。・「ダメ」と言っても伝わらないこと。声色や表情を変えたからと言って伝わるものではなく、何百回と言いつける必要があるのか、または理解できる年齢まで言っても意味がないのか。(子どもの父親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
寝ている時間以外ここまで自由がなくなるとは思わなかった(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てに関して色々便利な道具があること(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
意外と自分の時間がなかったこと 通院がこんなに多いとは思わなかったこと 子供が泣いたら大変でイライラするかなと思ったが、意外と泣いてても可愛いと思えたこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
授乳が大変だった。ベビーシッターの助成など、＜自治体名＞のサービスが手厚く、住んでいてよかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
ファミリーサポートや一時預かり事業など(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育てがここまで大変であることに驚きました。またそれ以上に子供を相手にした卑劣な事件の多さから日本社会全体の子供への人権意識の低さに驚きました。こういう社会で2人目は絶対に育てられないとも強く思います。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもの病気時の預け先がなかなかないこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもが生まれるまでは子育てひろばの存在は知りませんでした。また、一時保育を受け入れてくださる保育所がたくさんあることも知りませんでしたので、産後とても活用させていただきました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
自分の時間がなくなること(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
産後うつ(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子育ての体力的な大変さ(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
周囲の親の習い事、受験への熱心さ(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
生まれたて、生後数ヶ月、生後一歳、赤ちゃんといっても、数ヶ月違うだけで全然違うこと。 子育てが大変ということの大変さ。（体力面、精神面、金銭面、いろんな大変さがあって、人によって感じ方も負担感も変わる） ベビーシッターさんを使うことは特別じゃないし、意外と気軽に利用できるような社会になってきていること。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自営業なのですが、育休も産休も無いことが体力的にも金銭的にも、こんなに負担になるとは想定していませんでした。 現在も続けて行くことは大変で、辞めるかどうか考えています。 制度が変わらないと、または補助などが無いと、女性の自営業主（特に固定費のかかる場合）が事業を継続するのは大変困難な社会だなと感じています。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)

祝日保育園が休みのときの子供との過ごし方。休日出勤があったときの対応。(子どもの母親(1人目)、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)
離乳食の進め方、親がなぜ荷物が多いのか、赤ちゃんは3時間おきにミルク等飲んだら寝て自分も休めると思っていた無事に生まれてくることが奇跡的なこと 夜間や休日診療でどこに電話すればいいのか なぜ頻繁に選択するのか ベビーカーで移動する大変さ(エレベーターがない駅がある、乗り換えが階段だけ、バスで肩身の狭い思い)(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
2人目を妊娠出産育児するときに、1人目とは同じようにはいかないこと。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
地域イベントは気にしていませんでしたのが、よく目につくようになりました。 夫が子供に厳しすぎるのと健康管理をしてくれないので(無理させる)、そのうえ頑固で話にならないのが日々しんどいです。子育てより夫育てがつらすぎます。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに大変だと思わなかった。体力的にきつい、お金もかかる、仕事もフルパワーでは無理。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
予防接種だけでなく、通院がけっこう多いこと。虫刺され、便秘、中耳炎、水いぼなど、1歳11ヶ月ですが定期的に通院しており、夫婦で分担して通ってはいますがけっこう大変です。(子どもの父親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
・保育園の平日の行事の多さとそれによる仕事制限 ・病児保育の空きのなさ ・「子育ては母親がやるもの」という世間の偏見の大きさ。私がフルタイム就労していると「時短にしなくて大丈夫？」夫が保育園の送迎や行事参加をすると「いい旦那さんね～」なのに私がやっても誰も褒めない。収入が高いことも家事育児への参加も評価してもらえない。 ・子どもの写真をSNSにあげる人の多さ。目にするとうとうしても自分の子どもと比べてしまい、イヤな気分になるのでSNSのアカウントは閉鎖しました。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
フルタイムで働くことの大変さ。
子どもは可愛いが、満足に仕事をする上では弊害になっていることを強く実感。 産まれる前は仕事はほどほどに、と思っていたが、産んでみたら仕事もキャリアもを諦めたくないという欲が出てきた。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
産後はメンタルがボロボロになること。夫との価値観の違いやこちらの受け止め方の変化により関係性が悪くなったこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
一時預かり保育をお願いできる場所が限られていること、幼稚園の降園時間の早さ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
夫婦だけの生活であれば気にならなかったお互いの生活の仕方の違いに、どうしても踏み込まざるを得なくなるのが辛い(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
ありすぎて何から特記すべきか迷う。 <地域名>周辺に住んでいるが、公共の施設(児童館や図書館等)が古い、エレベーターが少ない、自転車の歩道往来が2歳児を連れ歩くには脅威、公園は割と充実、ドラッグストア無い、スーパー遠い(遠く感じるだけかも)、地域の夏祭りなどのイベントごとは人多すぎて2歳児には無理、などなど。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
時短勤務による賃金の低さ。初任給並の給与に物価高騰が家計に重くのしかかり、これから子供が成長していくにつれかかる費用のことを考えると生活していけるのか不安になる。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
想像以上に、それまでしていたことが何もできなくなりました。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

育休中、思っていた以上に孤独に感じた(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
仕事との両立の難しさ(体調管理、スケジュール管理、時間が足りない、等)(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもってこんなに目が離せないんだなということ 出かける場所や行けるところがかなり制限されること（想定以上） 自分自身の通院にかなりの労力がかかること(子どもの母親（1人目）、40代後半、2歳0か月-2歳5か月)
ママ、ママとひっきりなしに言われて、トイレ中でさえも自分の時間が全く取れないということの辛さ。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
0歳児から、生まれ持った性格があること。こんなにも子供によって性格が違うのかと驚いた。 未就学児だけでなく、意外と小学校にあがっても悩みはたくさんあること。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子供を持つとお金が足りない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
自分が親になって初めて親の偉大さを感じました。人間の子どもが色々できるようになるまで、こんなに時間と手間がかかるのか、と実感しました。子育ては人生をかけた最大プロジェクトだと知りました。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
下の子の産休育休中、上の子が育成室をやめなければいけないこと。 また、3年生までであること。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育料が高すぎる(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
兄弟げんかの激しさ、どこへ行くにも移動時間がとてもかかること(子どもの父親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
大変さ(子どもの父親（2人目以上）、50代、2歳0か月-2歳5か月)
子の体調不良時の預け先がなかなか見つからないこと。ベビーシッターの使い方（支援制度の活用方法）がわかりにくいこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
悪露、後陣痛、母乳マッサージが痛い、自治体の支援が少ない、急な自分の体調不良などでの預け先がない(緊急一時保育は当日だとかも断られた)、公園などの近場で遊べる場所が小さくて少ない、子連れでの買い物の大変さ、優先席譲って貰えないことの多さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子育ては大変、と頭では分かっていたつもりだったが、こんなにも自分の時間がないと思わなかったし、こんなにも社会から孤立した気分になるなんて思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子供が思った以上に主張が激しいこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
学童が入りにくいこと(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
仕事と家事と育児の大変さ 特にワンオペ時の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子供のためならと自分を後回しににしても、それを辛いと思わない自分がいることに驚きました(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
子供が生まれる前とは全く違う世界で、知らなかったことだらけです。子育てしやすい社会を作るには、体験しないと分からないことも多いものの、子どものいない人への発信も大切と感じます。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)

いつ公園にいつでも遊ばせ辛いこと。公園の数は多いと思うのに、どの公園に行っても午前中は、園庭のない保育園や幼稚園に通う園児たちが外遊びに来ていて、午後は小学生がいっぱいです。児童手当に所得制限があること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
自分の時間が想像以上になく、子どもがすぐに風邪をひくことと、自分にもうつること(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
なかなか自分の時間が取れない。しかし、子どもがいなくて感じなかったであろう幸福感を感じる(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
公園などのトイレに補助便座があるかないか確認するようになった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こんなに目が離せないと思わなかった(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
妊娠中の変身は同僚や友達を見て理解してしていたが、出産後の大変さを知らなかった。特に1歳になるまでのことです。会陰切開の傷で座れない、抜け毛、まとまって寝れない、ガルガル期などメンタルが不安定になるなどです。コロナ 禍もあって、勉強会に出れなかったのもあるのですが、出産後から1歳までがとても大変だったので、そのことをあらかじめ知れていたら良かったです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
とにかく忙しく、1人では無理な事。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
ワンオペが大変なこと 子育て支援(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
育児の大変さを見にしみて実感しています。もっと保護者や子どもに優しい国、みんなで育てる環境になれば良いと感じています。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
思った以上に自分の時間が取れなくなってしまい、気持ちが鬱々としてしまうこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
思っていた以上に都心の暮らしでも遠方に両親がいると大変だと感じた。周りの核家族ではない家庭と距離を感じてしまう。(子どもの母親(1人目)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
人は変化する生き物だということ、親が子どもの成長を見守りながら待つことの大変さは知りませんでした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
働いていない、近くに家族など頼れる人がいないと子どもの預け先を探すのが大変。 母親の自分が体調が悪い時も子どものお世話で体を労われない。こんなにも自分の体調のメンテナンスが上手く出来ないものかと想定外でした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
育児は心身ともに過酷であること(とくにワンオペの場合) 自分が産んだ子供は本当に愛おしいこと(子どもの母親(1人目)、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
子育てするには想像以上にお金がかかること、地域によって保育園に入るのが難しいこと(子どもの母親(2人以上)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
働きながら子育てをするにあたっては、保育園・児童館の学童保育の利用の選択肢くらいしか知らなかった。幼稚園の預かり保育・アクティ・民間学童などの利用も候補として入れると、ワークライフバランスの選択の幅が広がると思った。実際に様々なバランス(フルタイムなのかパートタイム・非正規なのか、どのタイミングで仕事を再開したかなど)で働きながら子育てをしているママ達の情報をもっと得られたら嬉しいと感じる。(子どもの母親(2人以上)、30代前半、3歳0か月-3歳11か月)
保育園に入園する際には慣らし保育が必要で、入園初日から職場復帰できるわけではないこと。(産休に入る前に復職日を申請するが、慣らし保育の分を考えておらず、あとから焦りました)(子どもの母親(2人以上)、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)

3人育ててみて、それぞれの子供の違いやその時々の子育て環境（様々な制度やサービス）の違いを実感しています。様々な方のお陰で、子どもを育てやすい環境が整ってきたと思います。 一方で、共働きで日々忙しくしていると、各種サービスを各家庭で選定して利用し、そこだけで完結してしまいがちのようにも感じます。もっと地域とのかかわりを持ちながら、助け合うあたたかな関係の中で子どもたちに育って欲しいという思いもあります。（一時期地方で子育てをしたこともあり、特に地域との関わりが希薄になりがちな点に違いを感じます） 個人や町内、様々な活動団体など、なんらかの形で地域との接点を持てればと思います。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月）
家事、育児、仕事の両立がこんなに大変なものだと知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
兄弟それぞれの予定が入る年齢になると、ワンオペだとスケジュール管理が想像以上に大変である。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
チャイルドシートに座ってくれない トイレットレーニング期間が1年くらいあり、長かった 地下鉄を嫌がる ベビーカーに乗らず、だっこをせがむ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
二人目が幼稚園に通うまでの、2、3歳児の時に家事も育児も回らなくなりすごく辛かったので、2歳児の子育てサポート券で、掃除を外注できたことで部屋が綺麗になり、精神的にも本当に助かりました。できたら3歳児でも幼稚園に通うまでは使いたかったです。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
自分の時間が子供に吸い取られてしまうこと。 親の思い通りに子供はならないならないということ。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子育ては生まれたときがいちばん大変で、だんだん楽になると思っていたがとんでもなかった。長男を出産して5年たったが、今が一番大変で、今からもっと大変になりそうな予感がしている。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こんなに育児がたくさんのタスクにあふれていること。やりかたや対応方法が明確になっていないので、他の人(夫や両親やヘルパーさん)に分担するにも一苦労なこと。昔は、両親親戚や育児経験者の隣人が近くにいて手を貸していていたのか、専業主婦がひとりでがんばっていた(いまも)か、それで成り立っていたのかもしれないが、核家族で都内で共働きとなると、それでは育児への心的物理的ハードルが上がる一方だと痛感しています。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
こどもたちの遊び場に制約が多いこと。公園で大人がタバコや飲酒をしゴミを放置すること。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
出産するまで家庭でも病院でも主役扱いだったママは、産後はどこでも脇役になり、後回しです。後回しに「される」だけでなく、ママ自身も後回しに「します」。もちろん、ひとりでは生きていけない弱い赤ちゃんを最優先にするのは当然のことですが、赤ちゃんファーストを何年も維持するのは簡単なことではなく、そのためにはママの心身の安定がなにより大切です。子育てという立派な仕事を担うのですから、ママたちには自分自身を労ってほしいし、労っていいんだよとママたちに伝えたいです。自分を大事にすることは、大切な人を大事にすることにつながります。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子育て中の仕事のしづらさ、（育休前は長時間残業していたため）給与が激減すること、介護保険料の加算（と健康保険料等の上昇による）による手取り額の激減(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
保育園を探し始める時期と申込方法 これは小学校の育成室なども同じことで調べることが大変(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
自分の時間が全く取れなくなることは想定外だった。週末は子供最優先且つ家事もあるので自分の事に使える時間がほとんどない。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)

子どもを一時保育で預けるのに手続きが煩雑。 就労している母親と主婦とのサポートの手厚さの違い。(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
3週間おきに数日間発熱するので仕事に支障が出る(子どもの父親（1人目）、30代後半、3歳0か月-3歳11か月)
子供が出来て初めて経験したこと全部です。例えば幼稚園に入園し、保護者の集い、決め事が多いことなど。色々です。(子どもの父親（1人目）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
保育園の施設状況。 当初<地域名>に住んでいましたが、<地域名>では保育園がビルの一角といったことばかりで、子供預ける環境を考えて区内で引っ越しました。(子どもの父親（1人目）、40代後半、3歳0か月-3歳11か月)
親のダブルケア(子どもの母親（1人目）、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)
自分の時間がこんなにもなくなるのかと、出産後思い知りました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)
自分と子とは別の人間と、頭ではわかっているけど、実際は体当たりの毎日です。笑(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子ども全般への考え方と、友達の子、自分の子への考え方に違いがあること(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
書ききれませんが、子どもは頻繁に熱を出すということや子どもの興味関心の移り変わり、成長による変化などまた周囲の子どもへの優しさや配慮など(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子供は寝るのが仕事というので、子どもは自然と寝ると思っており、寝かしつけをしなければ寝ないことに衝撃を受けた。(子どもの母親（1人目）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
子供がいなかったころは、外で暴れている子供を見て、親は何をしてるんだ！と思っていましたが、それは大半は仕方がない（親が手を抜いているわけでは無い）ことを知ることができ、世の中に対しての視野が広がりました。まわりの方への挨拶（たとえば子供のために横断歩道で旗を振ってくれるボランティアの方々が、大切であることも気づき、子供も自分も挨拶について大切にできるようになりました？(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
赤ちゃんの頃はこんなに親も眠れないものだとは知りませんでした。今も子どもが風邪をひいたりすると夜中起きて看病したりするので、睡眠不足になります。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
5歳になる子どもを妊娠したころは、無職の私が保育園に入れることは不可能で、区役所の方にも笑われましたが、いまは求職中なら認可保育園に預けられるとそうしている方がいて少し羨ましい。親同士の本音の情報交換ができる場所が欲しいです。(子どもの母親（1人目）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
ママ依存がひどく、自分自身の時間が僅か。(子どもの母親（1人目）、40代後半、4歳0か月-4歳11か月)
児童館や図書館、公園の場所について全く知らず、使うこともなく、妊娠してから知った。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
入院するほどつわりが酷い場合があること。 産後ドゥーラの存在(早く知っておきたかった)。 ベビーシッター制度の使い方。 <自治体名>のキッズルームの存在。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
授乳の回数、寝られないこと(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、4歳0か月-4歳11か月)
控除がない、手当が所得制限がある 安定的に得られる金銭的支援がなく、習い事などの長期的な教育計画が立てられない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)

妊娠中やお産よりも産後の辛さ。 育児の楽しさや子供の可愛さ。 共働きにおける朝夕の忙しさ（同僚ママさんたちの大変さ）。（子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月）
ありすぎてパッと出てこない(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、4歳0か月-4歳11か月）
上の子の時は保活しなければ入れなかった保育園。いまは全入時代で上の子の時の経験が全く役に立たないことがたくさんありました。男の子と女の子では成長も全然違い、そういう意味では想定していないことばかりです。ただ、二人目なのでそれなりに想定外も楽しめるようになってます。（子どもの父親（2人目以上）、50代、4歳0か月-4歳11か月）
共働きだから夫婦で分担しようと言う話だったはずだが、夫の家事育児の割合が想定より少ない、言われないとやらない場合が多い（妻が体調不良、不在の時は最低限やってはいる）（子どもの母親（1人目）、30代前半、5歳0か月-5歳11か月）
・産まれてすぐから2時間おきに昼夜問わず授乳orミルクをあげなければならないこと。 ・出産翌日から母子同室になり、出産し身体がボロボロなのに全く休めないこと。 ・会社にもよるが、弊社の場合、育児休業給付金は出産後6ヶ月経たないと給付されなかったこと ・都内での出産額は高額で出産手当金を数十万以上オーバーすること ・3歳くらいまで夜なかなか寝ないこと ・児童扶養手当は全てのひとり親に支給されるものではないこと。かつ、前年度の住民税で決定され、貰いたい時期（休職期間中）に柔軟に支給にならないこと。（子どもの母親（1人目）、30代前半、5歳0か月-5歳11か月）
たくさんあり過ぎて挙げられない。全てです。逆に、子育てしてない人にはあれもこれも全て分からないだろうな、話しても悪いな。と思っています。（子どもの母親（1人目）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月）
想定していたよりもお金がかかる。（子どもの母親（1人目）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月）
<自治体名>はベビーシッター利用料の助成があるのが有り難かったです。ただ利用してみて、ベビーシッターさんとの相性や子供の性格上、子供が泣き続けてしまい預けるのが難しかったことも多かったので、活用に関しては、子供に合わせて家庭で工夫しなければならないということが、想定していなかったことでした。 また、病児保育ことは産前は知識がなかったので、産後、必要になってから自分で調べました。（子どもの母親（1人目）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月）
ベビーカーで通るにも子どもを連れて歩くにもそれなりの下調べが必要だったこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、5歳0か月-5歳11か月）
ほとんど自分の時間がないこと。（子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月）
子育て自体がこんなに大変だと思わなかった(子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月）
フルタイム・残業有りの出社勤務を継続し、子育て・子どもの教育に力を注ぐことは、必ず必要なことですが、実際におこなうのはとても大変なことです。正直ここまでとは思いませんでした。（子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月）
離乳食のことです。母親学級は、ふんわりしがちですが、生まれるまでに離乳食の本や小物、保存や出し方、全て準備をすませておきたかったです。（子どもの母親（1人目）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月）
妊婦の睡眠や、幼少期の子供の睡眠が、胎児や乳児の脳の発達に与える多大な影響について(子どもの母親（1人目）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月）

全て知らない(子どもの母親（1人目）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
行政サービスを使う際の煩雑な手続き。(子どもの母親（1人目）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
子育ては毎日毎日続くこと。聞いていたけど、実際に体験するときつい。(子どもの母親（1人目）、50代、5歳0か月-5歳11か月)
世間は子育てに冷たい　どんな人も昔は子供だったのに…(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
わたし自信が地方出身。東京で子育てをすることの難しさをうすうす感じていたが、実際に体験してみて、ああ、あのときもっとこうしていればよかったと思うことがたくさんあり、一番上の子には申し訳ないと思っている。
お金や時間がかかることはもちろん、 情報量が多いので、それを取捨選択する手間…。選べるのがチャンスだとも思うが、本当に一度やってみないとわからないことが多くて失敗ばかりしてしまったと思う。こちらに知り合いが多いわけではなかったのも、都会での「お母さん」の先輩から学べる機会があると助かったかな…と思いました。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
赤ちゃん時代の夜泣き、頻繁な授乳(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、5歳0か月-5歳11か月)
母乳育児など、産後もいろんな意味での痛みが伴うことや、子供の性格やタイプによって子育ての仕方に工夫しないといけないこと(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、5歳0か月-5歳11か月)
想像以上に大変！(子どもの母親（1人目）、20代前半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんは思ったよりもかわいい(子どもの母親（1人目）、20代前半、0歳0か月-0歳5か月)
日中は全くと言っていいほど泣かないが夜は深夜から明け方まで泣き続ける。 自分の体もホルモンバランスの変化により鞭打ちのような痛みが連日続き、ベッドから体を起こすのも大変。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
妊娠検診は意外とお金がかかること。母子手帳もらうまで自費診療なこと。産後の身体は思ったよりもボロボロで子育ては毎日本当に大変なこと。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
産褥期は無理をしてはいけないと言うが、その理由（いつ身体にどんな影響が出るか）と具体的に何を避けて家族に頼るべきなのか。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
扶養控除がないこと(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
出かけるために考えなければいけないことが多く、出掛けるのが面倒になりました。ある程度は、想定していましたが、エレベーターがあるか、授乳室はどこにあるのか毎回考えるのは、大変です。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
想像以上に自分(母親)が寝られない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
ミルクやオムツ代がかなりかかる。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんが笑うまで、時間がかかること。外出がここまで難しいとは思わなかった。ほっとる一むなど、授乳室がある施設だけを利用する日々。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもからこんなにも抱っこをせがまれるとは思っていなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

思っていたより子育て支援の場が多いこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなにやることや気にしなくてはいけないことが多いと思わなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
赤ちゃんの鼻水が出やすい事、体の洗いにくさ(首の皺、脇等)、授乳の体勢の難しさ、抱っこの仕方、外出の仕方、オムツや粉ミルクにかかる費用(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
こんなにも暇な時間があるとは思わなかった ずっと忙しくて寝れないと思ったがそんなことはなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
3ヶ月過ぎるまでは体力勝負と聞いていたがここまで寝れずふらふらになるとは想定外でした。 赤ちゃんが泣き止まないことがあるとは知りませんでした。あやせば泣き止んでくれると思っていました。1時間以上泣き続けるとは思わなかったです。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
・オムツ代、ミルク代など結構お金がかかる ・まとめて眠ることができない ・子どものためのサポートが充実している(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
我が子は本当に世界一かわいいと思います！親になるまではわからなかった感情です。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
・抱っこしていないと昼寝してくれない ・昨日OKだったことが今日NGになっている(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の身体は腰痛、便秘、尿もれなどのマイナートラブルだらけで育児が想像以上に大変だった。 妊婦中や産後の健診費用が思ったよりかかった。 ベビーカーや抱っこ紐は想像以上に高価だった。(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
知らない人から沢山話しかけられる 赤ちゃんを触られる(子どもの母親(1人目)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子供があまり好きではなかったが、我が子はとても可愛いと思える！オムツやミルク、水などたくさん使う頻度が高く驚いた。 小児科を探しておくのと良いと周りに言われるが、調べたことがなかったので情報をもらえると助かる！(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の1ヶ月は特にこんなにも寝れないとは思っていなかった。でも、想像以上に子どもは可愛かった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
病児保育の予約の取りづらさ。予約の勝率低すぎてもはや選択肢に上がらなくなった。とてもいい制度だけど使い勝手は良くないと感じる。(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳育児に関すること全般(飲ませ方のコツ、咥えさせ方、抱き方、分泌の増やし方、マッサージ、乳頭が切れたときの対処などすべてにおいて、情報が少ない或いはネットの情報は方向性がいろいろで結局迷う)(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
預け先がない(育休中のため)と、銀行や役所の手続き、通院などが非常に困難になること(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
当たり前だが子供によって特性は違うので、2人目の子育てでも上の子の時と違うと感じることにしてはよくわからず心配になるし2人目の慣れなどはあまり関係ないと思った(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
先天性の病気を持って生まれてきた。(妊娠中には分からなかった)(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
子供の預け先が保育園の他に小規模園もあったこと。小学校入学まで通える保育園が少ないこと(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

夜寝れない時期は思っていたより長い(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
・ 駅等でエレベーターやエスカレーターを使うのが難しく、ベビーカーでの移動が困難な時がある。(エスカレーターやエレベーターが無い、遠い所にある、狭い等) ・ 保育費用が所得に応じての金額なので、働きながら預けると子供とほとんど過ごせないのに保育料が高額で共働きするメリットがない(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
幼稚園児の行事が多く、下の子を連れて行く機会も多くて大変。毎回徒歩で数時間抱っこで参加は体力的にも精神的にもきつい。特に月齢が低い間は下の子の体も心配になる。預け先が無いのが辛い。 幼稚園等で行事の際は兄弟の託児をしてくれると助かる？(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
①ベビーカーで通りにくい道や、行けない場所もある。高齢化社会で子育て世代が必要とするものを共有するためストレスが溜まる。例エレベーター、優先席 ②道端で高齢者にやたら話しかけられることがストレス。触られる人もいたり、怒鳴られたことがある人もいと聞いて腹立たしい。私は知らない人とはしゃべりませんが、しゃべってあげないことでこちらが悪いかのような暴言をはかれたり、反応するまでついてこられたりします。何故赤ちゃんの月齢を教えなくてはいけないのでしょうか。注意喚起してほしいです。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
・ おやこ広場が妊婦さんも行けること。子どもが生まれて広場に行くようになってから知ったので、知っていたら妊娠中にも行ってみたかった。 ・ <自治体名>が子育てしやすい街、待機児童なしと言われているが、こんなに保育園に入れないと思わなかった。小規模ばかり増えているものの、3歳からの行き場がない。 ・ 病児保育の施設があると知って安心したが、いざ使おうと思うと数が少ない、受け入れ人数が少ない、いつもいっぱい一度も使えたことがない。 ・ 図書館がどこも微妙。 ・ 子連れで行きやすい飲食店、子連れで楽しめる遊び場などの情報。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-
1人目だけの時はずっと子供と一緒にいることが全く苦じゃなかったが、二人目を出産し、2人をずっと見ていると少し離れて自分の時間や働く時間が欲しいと思うようになった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ちょっとした段差でベビーカーのタイヤがハマり進めなくなること。 公園でタバコを吸う大人が沢山いること。 スーパーに子供用の小さなカゴをおいてくれているところがあること。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
歯磨きとトイレトレーニングがこんなに大変とは。毎日イヤイヤでとても大変。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
1人目2人目の出産時には、心身のトラブルはなかったが、3人目を出産後、心身に不調を感じるようになったのが想定外だった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園への入りづらさ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の体調不良や、子供の体調不良での自宅保育を余儀なくされる回数が多いこと。兄弟が具合悪いと保育園に元気な兄弟は預けられず、自宅保育が辛い。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
トイレする時間もないくらい自分の時間がなくなること 子供が想像以上に愛おしい(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園の自由がないこと(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

保育園の入園情報が全く分からず苦労した。 待機児童ゼロは建前で、入りたいタイミングで入園できる訳ではない。4月以外の入園は難しいこと、申し込みが11月末であること等々、産後動けるようになったのが遅かったこともあり知らずに苦労した。 近所の福祉センターで情報を仕入れようとしたが門前払いだったこともあって、第一子のときは心身共にボロボロになった。 せめて市のHPにももう少し詳しく情報を載せてほしい。 今は第二子ということもあり、前回の失敗をもとに動くことができています。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母乳について。夫との関わり方。夫の自覚のらない育児への無関心さ。子供の発達の個人差。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、0歳0か月-0歳5か月)
とにかく手がかかる！という点は想定を超えてきました。(子どもの父親(1人目)、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
吐き戻しが多いこと(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
3時間おきに授乳が必要なこと。夜通しで寝られないことがしんどかった。(子どもの父親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
適正な保育所への預け入れの難しさ 小児科の少なさ(子どもの父親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
0歳の第二子を連れながら第一子を保育園に送迎することの難しさを感じた。(子どもの父親(2人目以上)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園のお金の負担感です。 早くから子供を預けることがこんなにお金がかかるとは思いませんでした。 確かに3歳以降であれば、無償で行ってくれますが(給食費や超過時間分は払いますが、)それでも、月10万を超える負担はキツイです。 子供の環境を思って、＜自治体名＞に引っ越し予定ですが、今住んでいる＜地域名＞では財政的に潤っているのかも知れませんが、第2子以降は保育料免除をすでに行ってくれています。 もちろん他の市区町村に先駆けてではありますが、＜自治体名＞もぜひ導入して欲しいです。 ＜自治体名＞を選んだ理由として、共働き夫婦が選ぶ自治体だからこそです。 子供や家族のために長く働いていたいですし、そういう環境を探して、初めての土地で家も買いました。 だからこそ、子供の教育にもっとお金をかけたいとも思います。保育料は保育士さんのお給料にもなるので、人材確保の意味合いも強いと思いますが、結局子育て世帯により実質的なサポート、手当も充実させなければ、今後先細るしか道はないと思います。 ぜひ、皆さんには今一度これから先の未来を考えて政策に予算を使っていただければと思います。 こちらも頑張って働いて、税金は納めるので、お互い未来に投資出来ればと思います。 長くなってすいません。 若い子たちに負債を残さず、自分達の事は自分で面倒を見ればと思います。(子どもの父親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
ベビーカーでの移動が大変で、エレベーターがこんなにも貴重なものかと思った。＜自治体名＞はここ数年で駅にも増えたのでありがたい。(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
家事とのバランス 気軽に預けられたり相談する窓口の少なさやハードルの高さ(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供がとってもかわいいこと(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
産後うつについて(子どもの母親(1人目)、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)

赤ちゃんはもっと寝ているものだと思っていましたが、思いの外眠らず、体力が続く限り動き回っていること(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
知らないことだらけ、初めて見たうんちの色がタール色なんて病気かと思った。 赤ちゃんは目を離したら死ぬということを身をもって体験した。新生児の時はミルクを飲んだ後上向きでベッドに置いておいたら無音で吐き戻して鼻の穴にも入っていて息が出来てないことに後で気がついた。7ヶ月の今はベビーベッドから落ちかけたり、コンセントを食べていて焦る。あと私の場合は夜は寝れない、イライラしてパートナーと喧嘩が増えたので離婚も考えた。もともと子供が好きな方ではなかったが、産まれたら幼児は可愛いと思えるようになった。早く喋れるようになってお出かけするのが楽しみ。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
自分が体調不良の時(病院受診したい時)の子どもの預け先がないこと。祖父母も遠方で、当日予約で預けられる場所がない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
赤ちゃんと過ごす一日、何が具体的に大変なのかわかっていなかったです。出かけるのも授乳できる場所があるかチェックしてから、赤ちゃんの一日の生活スケジュールが大きく崩れないか等、考えながら外出するのが大変です。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
金銭面の負担がとても大きいこと。ミルク、オムツ代だけで児童手当はほぼなくなるし育休手当は安いが保育園に入れても3歳までは保育料も高額なので働いても手取りが変わらない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもを預けてもっと出歩けるかと思っていたが、完母で預けるのも2〜3時間が限界であったり、子どもが泣いたりしてほとんど預けられなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに自由がきかなくなるとは思わなかった。楽しいけど。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
赤ちゃんがこんなに可愛いこと。子宝という言葉の意味を心から知りました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
本当に生活が180° 変わること。月齢が低い頃は孤独感を強く感じて、産後うつ寸前までいったこと。そして我が子が想像を絶するほど可愛くて尊い存在だということ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園の入りにくさ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
自治体のサービスでは5ヶ月まで預け先がほとんど無く(あっても満員で使えない)、民間のシッターに頼るしか無かったので金銭的に苦労した。冠婚葬祭、免許更新、自身の通院など産後すぐに子供を連れて行くしか無く困った。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
予想外に旦那との喧嘩が増えてしまいました。子育てについてや家事についてです。でも2人で妥協点を探ってより仲良くチームになった気がします。また夜中寝れないのがこんなに辛いのは予想外でした。今は寝れないことにも慣れてきました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
離乳食がこんなに大変だとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもを預けることが出来ず、歯医者や美容室等になかなか行けない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
中学生までの子供には扶養控除がないこと。 累進課税なのに保育園は収入に応じて費用が変わること。 児童手当など子育て支援において所得制限があるため、可処分所得の逆転が起きていること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の時間が想像より遥かに無くなるということと、慢性的な寝不足がとにかくしんどいということ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

こんなに自分の時間がなくなると思わなかった。 こんなに世の中には優しい人がたくさんいるとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもと2人での時間が長く感じるとは想定していなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
日本の今後(現在の政府や子どもへの施策)について不安を感じる。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
産まれてからも子の体調や生活習慣の心配が尽きない(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ベビーカーで街中を歩いていると舗装が不十分な道路であったり、エレベーターの場所がわかりづらかったり遠かったり いろいろな不便なことが多いこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
覚悟はしていましたが、あらゆる面で子どもを持つことがこんなに大変だとは想像以上でした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
3時間毎の授乳、産後の入院中の体の変化の凄まじさや、退院後2週間ぐらいのしんどさ。わりと旦那が一番ボロボロのパートナーの姿を見る機会がない。入院中や里帰りがすんで回復しかけてるけど、まだまだボロボロの中で育児してるのが伝わりにくい。あとは寝かしつけはママしかできないと思われてるが、抱っここの仕方とか地域の助産師さんにアドバイスをもらったりして出来るようになるということ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
生活がここまで変わるのかということ 寝かしつけやごはんや、ただただ子を育てるという言葉だけでは語れない毎日の時間(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
赤ちゃんがいても意外と外出できる パーキングやサービスエリアの授乳スペースの少なさ(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園は働いているか住んでいないと預けられないということ。最寄駅が<駅名>なので、すごく困る。思った以上に児童館やサポートがあるなあと思った。自分の母から羨ましがられました…。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもがいるだけでこんなにも自分の時間（特に美容院に行ったり、自分の病院の受診だったり）がしづらいんだなあと感じた。子どもがいればいるほどよりそう感じるようになりました。(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園に求職活動だと入れないこと。 市役所の保育課も冷たいこと。 幼稚園の方はとても優しいが保育園に関してはすごく冷たいと感じた。 また<自治体名>は小規模ばかりで3歳からは幼稚園を推奨していること。 日曜、祝日は預けられないこと。(子どもの母親（2人目以上）、20代後半、0歳6か月-0歳11か月)
育休2年目以降の育児休業に関する給付金や手当金が条件によって出ないこと 育休を子の満3歳まで取得できる職場があるなら育児休業に関する給付金や手当金についても、育休を取得している間は条件なしで拡充してほしい(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
急な発熱時、受診できる小児科が朝から探しても受診出来るのは午後や、予約さえ出来ない。。小児外科も受け入れてくれる所が見つからず、<地域名>に行った。 以前住んでいた神奈川県ではありえなかったので大変驚いているし、毎回困っている。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなにも子育ては育児ならぬ育自だということをしなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園が時短になること。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

保育園の預かり時間。 育休になると預かり時間が短く、下の兄弟を連れながら、荷物を持ち、上の兄弟を保育園に送迎する日々が辛い。夫の勤務時間に合わせて預かってくれば、夫の送迎が可能になるので、助かる。改善してほしい。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
第一希望の保育園に入りにくいということ、幼児向けの公園が少ないこと、＜自治体名＞駅付近にエレベーターが少ないこと(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
エレベーターが少ない、せまい。年子で二人乗りを使用しているが、移動が大変。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
1歳後の情報 1歳までは色んな本や情報があるけど、その先の情報を得る場所がないことは想定してなかったし、いま必要としてます。 イヤイヤ期の対応の仕方 食べさせすぎなのか？ 睡眠時間について など(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子どもを連れて出かけることが、こんなに大変なのかということ。上の子が自由に動きたがるので、下の子を連れて私1人で連れ出すのは難しい。抱っこ紐やベビーカーだと、咄嗟の時に間に合わない。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
二人育児は大変と思っていたけど、想像以上だった。旦那が協力してくれると言ったけど期待してはいけなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
・保育園は以外と入りやすい ・兄弟の学年差に恩恵を受けら無い事が多くある(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに眠れないとは思わなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
理不尽に耐えることの辛さは想像できておりませんでした。(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
夜泣きによる寝不足(子どもの父親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
基本的には全てが知らなかったことです。(子どもの父親（1人目）、40代後半、0歳6か月-0歳11か月)
夜がここまで寝られないとは思わなかった(子どもの父親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに離乳食を作るのが大変だとは想定していなかったです。また、産後支援センターを知り、毎日のように行っており、ありがたさを感じる毎日です。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
妊婦健診が補助券があれば無料ではないこと※実費があることを知りませんでした(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
約1年間毎晩こんなにも夜泣きするとは思っていなかった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
発達の程度をあまり気にしたことがなかったが 自分の子になると月齢で発達を過度に気にしてしまう(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
離乳食について自分で調べないと知らないことが沢山ありすぎた。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育て支援センターについて知らなかった(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳0か月-1歳5か月)

保育料の高さ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
毎日の生活でここまで子ども中心になること。生活が一変すること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
産後の心身のダメージが想像以上に大きかったです。産後うつになり、産後ケアや家事支援を1年くらい使えると良いなと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育ての大変さと孤独感。 お金がかかることへの将来の不安(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに抱っこちゃんなこと。すぐに色々な場所に手が届くようになること。子の探究心。人見知り度合い。子のための安全対策。育児の疲れ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
外出するのに時間との勝負なこと。一人の時間がかなり減ること。ベビーカー移動では大変な場所がたくさんあること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもが歩くようになってから車道に出たがり、安全に歩くことがいかに困難であるか痛感した。 考えてみると交通安全教室は、小学生からのイメージがあり、就学前にどんなことに気をつけて歩道を歩けばよいのか手探りなことに気が付いた。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
たくさんの支援があること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
新生児から、保育園に預けるまでの期間。 夫婦だけの育児がこんなに大変なのにこんなに孤独なものだとは思いませんでした。間に子供が大きい病気をしましたが、自分で必死に調べました。子供がいることは幸せですが、全て自分がどうにかしないといけない手探りの中調べ回って走り回って、つらかったです(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
希望の保育園に入りにくい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
日本がここまで外国人にも、国民にも、子育て世帯にも冷たい国だということを思い知った。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
自分の体力がこんなに落ちている、子供の体調不良は想定していたが自分もやられながら働いて子育てする大変さをわかってなかった。回復している暇も無い。夫への怒りが止まらない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
電車にベビーカー優先スペースがあること(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
すべてが子どもが生まれないと実際にはわからないものだったと思う。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育所の利用料が想定以上に高額。 一人分でも高いが、双子のため一気に1.5人分かかるためさらに厳しい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
実家が頼りにならないこと、AB型ベビーカーを使える期間が短かったこと、離乳食作りの大変さが予想を超えていたこと(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
道路にある少しの段差をベビーカーで乗り越えるのが大変。歩道から車道にむかって斜めになっているところも危ない。車イスの人と同じような気持ちだと思う。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなにも子供から目が離せないとは思わなかったし、預かり場所になかなか預けられない。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)

たくさんあります。 自分の子どもがこんなにかわいいと言うことが1番知らなかったことです！ 育児グッズなど、実際に経験してみないと実用的かどうかはわからなかったです。無駄だったものもたくさんあり。出産からの一年間は特に出費がかさんでしまった。やはり、子育てはお金がかかると実感。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなに寝不足になるとは。 臨月の頃から胎動がすごすぎて夜は眠れず、今も何度も夜中起こされるので眠れない。。 母乳吸わせるのに大変苦労したのに、今では大好き過ぎて辞められないのがまた辛い。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもが第一優先なので、思っていた以上に、仕事、経済面で制限があるなと感じました。 子ども医療費助成受給券はめちゃくちゃありがたいです！ ただ保育園に通うと親も今までになく、体調不良に見舞われていますが、親の医療は思ったより高いのと、子連れで通院に行きたくないこと、仕事との調整も子どものために使いたいという気持ちもあり、後回しになり、風邪を引くと長引いてるのが現実でもあります。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
歩き始めなど成長の速さ。半年でサークルがないと目が離せないようになり、9月で歩き始め、今では小走りしたり階段登り降りしたりして、させてもらえないと怒る。追いかけて回す毎日。もっとゆっくり過ごせる期間が長いと思っていた。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
街の人が優しいこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園がなかなか決まらないこと、育児休業給付金が途中で減ること(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
広場やほっとる一むなど、子供を遊ばせられる場所がありがたかったこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てがこんなに大変だとは思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
こんなにも夫が子育てに無関心である事は想定外。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子供を産む前の自分、母親になってからの自分との気持ちにギャップがありすぎてどう消化していいかわからない。自分が自分でないような気持ちになるが世の男性にはもちろん理解されないだろうし、こんな気持ちになる事を生む前に教えて欲しかったと思う。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
<自治体名>の市役所や支所の保健師さんが丁寧に相談に対応してくれたのが好印象だった。相談すれば対応してくれる体制があることを長所としてアピールしていくといいと思う。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもを連れての外出や外食が大変なこと。保育園事情など。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
吐き戻しがなかなか無くならないこと、自分の体力が子供の体力についていけないとわ想定してなかった。ここまで子育てが大変だということなど。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園の話の聞くと準備が大変そうと感じます。アレルギーチェックをするようリストを渡されたりするのは知りませんでした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもが産まれてから自分が家族以外の人と話す機会がなくなってしまったこと。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てがこんなに大変だと思わなかった。私自身4人兄弟で皆歳が近いのですが、我が子は3歳半離れて二人居て、二人だけでお手上げなのに…自分の親は偉大だなと感じました。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)

志阻の時の上の子の預け先がない。 1人目、2人目と悪阻が重かった。今後、子供が欲しいと思った時にすでにいる子供達の預け先がない。身近に頼れる人がいない時には子供を希望していても諦めるしかないと思った。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子育て支援の多さ。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
仕事、家事、育児を夫婦二人だけでこなすことのあまりの大変さ、辛さ。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
まさか自分の子供が発達障害と診断されるとは思っていなかったので、そういった情報がほしいです。 あとは出産後に生理痛やPMS(頭痛)がひどく出たので、その時の和らぐ方法など知れたら助かります。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもがいると、自分の買い物はもちろんのこと、スーパーやドラッグストアに行くこともいちいち大変になる(車の積み下ろし、荷物の量、2歳を超えればスーパーで走り回る、余計なお菓子を毎回買わされるなど)、家でも目を離せないでクローゼットの整理や、子どもの靴を外で少し洗ったりすることだけでもタイミングを身図らないと(昼寝の時など)できないのが大変。 大人の目や手が足りない。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保活がこんなに大変だとは思っていなかったです。1人目出産後、産休が終わるタイミングで仕事をやめましたが、その後6年間仕事をしたくてもできない環境にありました。(保育園に入れない、預け先がないと仕事が見つからない、コロナ禍で幼稚園お休みなどの不安など) 1人目の失敗から、2人目は妊娠中から保育園見学を開始し、仕事も見つかり来年から保育園に預けて働く予定です。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子連れでの外出の大変さ。 外食は一度行ってみて、子供イスの有無を調べる必要がある。イスの種類によっては使い勝手が悪く、子ども父母も食事が困難。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもがこんなに体調をくずすこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
<自治体名>は沢山の子育て支援センターがあり イベントや講座なども充実しているので 本当にありがたいです。他の地域のママ友と話すと、改めて<自治体名>の良さを知ります。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子連れだと入りにくい場所があったり 小児科の予防接種や医療機関が受診しにくいこと(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
<自治体名>での子育て環境がすごく充実していて 色々なイベントなどに参加して毎日色々な広場に出向いています。 こんなに、充実しているとは思いませんでした。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
かかりたい時に写真できない小児科。 予約したい時には満杯のことが、ほとんど。保育園的には受診して診断結果が、知りたいと思うが受診できない。 毎回どうしようかと思う(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
沢山の有り過ぎてわかりませんが一番は自分自身の気持ちの変化です。子供が出来る前は全く興味を持てなかったのが180°考え方が変わった様に思います。(子どもの父親(1人目)、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子どもがこんなに熱を出すなんて知らなかった(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
子供が小さく産まれたため体重増加不良に陥ったとき、妊娠中は「お腹空けば勝手に母乳やミルク飲むだろう」と思っていたが実際は無理やり飲ませなければ体重が増えないパターンがあった事を知らなくてとてもショックで辛かった。(子どもの母親(1人目)、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)

友達の子でもでなんとなく知った気になっていたが、実際は育児のことを全くわかっていなかった。初めてのことばかりで日々勉強の毎日です。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもが泣くことが仕事で泣くことはお腹の中にいるのか外にいるのかわからないからこんなに夜泣きが大変なことも抱き方もお世話の仕方も手続きも知らなかった。皮膚トラブルの症状、熱が出たときもミルクの上げ方すらわからないことがわからないことだらけ。 産後ケアへ利用できてなければ、産後鬱になってたかもしれないくらい、知らないことだらけだった。産後ケア前後の不安の程度が違う。分らないことが分らない。 クリニック(日中のみ)で妊婦健診をしていたが、夜間なにかあったとき(実際切迫早産気味になり医療センターへ受診した)のかかりつけがなかったことがとても焦ったし、どこでも受診できると思ってた。なんでかかりつけ作らなかったの?来なかったの?と言われたが初めての妊娠で分からないし、調べてもそんなこと書いてもない。親とは不仲でなにも相談できなかった。母親のせいと言われてるようで辛かった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
知らなかった事 ・ 予防接種に関する事全般 ・ 保活が大変な事 想定していなかった事 ・ 妊娠中、産前産後の数ヶ月間は上の子を保育園に入れられると書いてあるが実際は枠が空いていなくて保育園に預けられず上の子を自宅で見ながら産前産後も過ごさないといけない事(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもも体調を崩すが、親も崩す(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
・ 自分の子供がとても可愛いこと ・ 遊び方や声の掛け方がわからなかった ・ 室内の遊び場が少ない ・ 自分の時間がなくなる ・ 良くも悪くも皆子供に関心があること(電車移動時は特に話しかけられやすい、混雑時助けてくれる人がいる一方迷惑がられ舌打ちされたケースもある)(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
自分の体がいつまで経っても不調(腰痛がなかなか完全には治らない)で、身体的に子育てがしんどい時がある(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
共働き子育てしやすい街をうたっているので、共働きフルタイムなら保育園に預けられると思っていたが、実際には小規模保育園を卒園後は幼稚園の預かり保育が多いと知り、子供に与える精神的影響が不安である。(他の子は早く帰るのに、他の子は休みなのに、ときにしてしまうのでは無いか等)(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供が産まれる時に退職し、そこから仕事を始めにくい。就活のためだと保育園に入りにくいことは想定外だった(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに自由時間がないとは思わなかったです。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
道の狭さや段差等(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
障害を持った子供を産み育てるとは思ってなかったので、全てがそうです。 そして、流れてくる情報はほとんど健康児を対象としたものばかり。 どんな子供にも役立つ情報をもっと流して欲しい。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子どもがいる状態でひとりて家事をこなすことがこんなに大変だとは知らなかった。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)

自分の時間が無い(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに保育園に入れないとは思っていませんでした。来年度は保育園に受かるといいなぁと思っています。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
支援センターのありがたみ（ほっとるーむをほぼ毎日利用しているため）(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
小児科の予約を取るのが大変なこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
雨の日などイレギュラーの日の送迎やこんなに小児科の予約が取りづらい、病児保育が利用できないと思わなかった。金銭的な面でも思った以上にお金がかかり、低所得ではなく、高所得ではないのでほとんどの支援の対象にはならないが、かなり2人の生活より苦しくなった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
幼児食を別に作っているので、大変。 子育て支援センターがもう少し近場にあると楽。 近所の公園が汚く、虫も多く、遊ばせるのが嫌なので駅前の綺麗な公園まで行っている。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
夫が植物状態になった際のこれからの生活(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
主人の会社は働き方に柔軟性がなく、こどもが病気になると私が休まざる得ず、この半年でつき平均71時間しか働けず、社保から外れることになりがっかり。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
産後の鬱まではいかないが、ホルモンバランスが崩れると落ち込んだり、悲しくなったり、寂しくなったりするのが、こんなに顕著に心身に現れる事が想定外でした。(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
多子の為、頑張って仕事して稼ぐ、 そうすると何でも所得制限されてしまうんだ。親は関係なく子どもは平等にしてほしいなど。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
電動自転車の助成を1人親や未就学児2人と設定せずに上の子と差が開いて出産してる場合も対象にしてほしい(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園、幼稚園に入れても病児保育に入れないので仕事を休む回数が多く働きづらい(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなにお金がかかるということ！思っていたよりも！ 自治体によって手当等も結構違う事。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
第二子以降、育休をとった場合、上の子が保育園を退所しなければいけない状況になること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自分の体の産後のケア(骨盤矯正の大切さ)はそこまで重要とは思っていなかったの为先に知っていたらもっと早く整骨院に通ったのにとします。また、産後骨盤矯正を謳っている整骨院も、子供連れでは行けない(子連れOKと言われてもベビーカーがベッド隣に置けたりキッズスペースがあったり施術中見ていてくれる人がいない場合は現実的でなく結局連れていけない…。)ところばかりなので、今は<地域名>の保育士さんがみてる整骨院まで通っています。整骨院以外にも、美容院とか、近場に子連れで自分のケアをできるところがあるか、は産前には思い至らず気にしていなかった点でした。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
お金がかかる ストレスの捌け口が見つけにくい 自分の時間が思ってた以上にない(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)

とにかく時間と体力が足りない
楽しいことも沢山あるし 大変なことの方が 本当によくて
想像以上
親に改めて感謝です(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
一時預かりと名ばかりの場所に預けられた試しがない。病児保育も朝からそんな暇があったら自分で見てる。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
頻繁に熱を出し、翌朝熱が下がっていても 仕事を休まなければならないことが多く、仕事と子育ての両立が厳しいこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
保育園に入りにくいこと、小児科が予約制が多く、必要な時にかかれないこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなにも気力・体力がいること、こんなにも毎日子どもが成長すること。(子どもの母親（2人目以上）、40代後半、1歳6か月-1歳11か月)
配信する内容で先回りアドバイスをいただいていたので、あまり想定外の事象が発生しませんでした。(子どもの父親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
妻が怒りっぽくなった。妻が異常に寒がりになった。(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
仕事と家庭を両立させたいと思うと、自分の努力だけではどうにもならないこと(子どもの父親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに病気をもらってくとは思ってなかった。(想定以上だった)(子どもの母親（1人目）、20代後半、2歳0か月-2歳5か月)
心の波があり、自分自身が寝れる時と寝れない時がある。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
ファミリーサポートがけっこう安く申し込めることを知りませんでした。利用したいなと考えていますが働き始めてしまったのでなかなか登録しにくいのが億劫になっています。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育園に入れる大変さ。 二人きりの日々的大変さ。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てをしながら働くことがこんなにきついとは思わなかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
自分の時間がこんなにもなくなると思ってなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育園の情報収集は本当に早めの方が良いということ。なんなら産まれる前にやった方がよい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
発達についてこんなに悩むと思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
発熱してもすぐに病院にいけない。発熱は電話予約必須で少しでも遅れると予約できない。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)

子供を保育園に預けたら発熱するもんだというのは知っていたが自分まで伝染とは思わなかった。今まで風邪しらずだったのに体調不良の連続で辛かった。人間ドックでは授乳中との理由でバリウムとマンモグラフィーもうけられなかったし親知らずも抜きたかったが強い抗生剤のむことになるため一年抜くのをまった。育児中は身軽に動けないので妊娠前に自分の健康面をちゃんとしておけば良かったと思いました(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
仕事をしながら子育てをする大変さは想定外だった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
産後に心身の体調不良がこんなにしんどいとは思ってもなかったです。回復するまで1年以上かかってしまったので、産前から栄養等の情報をもっと集めておけば良かったと思いました。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもの世話に時間が割かれて、一人で落ち着いて過ごせる時間が減ってしまう。周囲には「子どもという時間があれば幸せ」という人も多いので、一人で旅行したいとか、一人で勉強したいとか、たまには思いっきり仕事したいという欲求を打ち明けにくい。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
幼稚園にプレ保育があること。 これを知らないで幼稚園に入れたいと思って一般枠の抽選になるため、0歳児から周知して欲しかったと思う。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなに風邪をひくなんて。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
こんなにも育児書通りにいかないものかということ(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
保育園に入れない。保留になった。 仕事時間は睡眠を削るしか無い状況になる。(子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
ひとりなら簡単に出来ることが子どもがいるだけで難しくなるとは想像できていなかった(ゴミ捨てに行くだけでも子どもから目が離せないため、一緒に行かざるを得ないなど)(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
①どこへ行くにも前調べが必要。ベビーカーは使えるのか？子どもも入れるお店なのか？小さいお子さんなら授乳やオムツ替えの場所があるのか？など。 ②荷物が重い。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
ファミサポなど支援が充実していると思っていたが、住んでいる地域に提供会員がいなく断られたり、一時預かりも場所が遠く予約もすぐに埋まるので、子供を預けることができない事は想定していなかった。 また、講師をしているので、書籍や論文の執筆や仕事の準備時間や移動時間は就労にカウントされず、講義を行う時間のみの計算で保育園に預けられないと思わなかった。介護や保育士を養成する学校の講師をしているのに、仕事を減らさざるを得なかったことも想定していなかった。福祉の充実をあげていても、実際は表面的だということを知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てしながら働くのがこんなに心身共に大変なんて誰も言っていなかったな。と、思う。育休明けと育休前の働く時間が違うとダメだと言われ吐きながら保育園取り消しにならない様に働いてるのがおかしいなって思ってる。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
学童保育が学校休暇中は8時〜しか開かず、かつ送迎が必要ということ 仕事をしていると、休みが休みとして機能しない(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
あまり怒らないようにしようと思ってたけど無理。 泣いている子を放置している親を見て疑問に思ってたけど、子どものタイプによっては何をしても無理で諦めることも必要なんだと思った。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
育児と仕事の両立が想像以上に大変だった。2人目は育休を最大限活用しているが、無収入になったのでお金のことが心配。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

産後の不調。無理は禁物というのを知らないで無理して、結局心身のバランスを崩す事になりました。下の子の出産から2年経ち、今は適度に力が抜けました。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
2人目育児がこんなに大変だと思わなかった…(体力的、精神的に)(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
自分だけの時間の無さ(子どもの父親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
想定していなかったことばかりで、市からの各種情報提供が大変役立っています。いつもありがとうございます。(子どもの父親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子育てがこれほどまで大変なこと、イライラすること、お金がかかること。(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
休日当番医は知らなかったです。 教えていただき感謝です！(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
仕事と子育てがこんなに大変とは想像していなかった。改めて働きながら私を育ててくれた両親への感謝が深まりました。(私は3兄弟)(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
生まれたばかりの赤ちゃんのお世話は本当に大変だということ。イヤイヤ期がこんなに辛いとは思わなかったこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の時間がほばないこと。夫婦2人だけで子どもの面倒を見るのは肉体的精神的にきついということ。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の自由になる時間が本当に少ない。 イヤイヤ期の子供の理不尽なこと。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子育てをしてたくさんの方に支えてもらえていること、まわりの方のあたたかさを知りました。こどもがぐずっていると きあたたかく見守ってくださる方や、声をかけてくださる方がたくさんいてとても嬉しかったです(たまに怒鳴られたり、 文句を言われたり、舌打ちされることもあります) <施設名>や保育園、こども館、ふれあい22など相談にのってくださるところがたくさんあることも知らなかったです(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
公共施設(公園やお店、駅など)でベビーカーが通れるところ(エレベーターやスロープ)の場所を事前に把握できていれば良かったと思う事がよくありました。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなにたくさんワクチン接種がある事を知らなかった！！(子どもの母親(2人目以上)、20代後半、2歳6か月-2歳11か月)
家庭保育をしている人の日中の過ごし方(公園へ行ったり、児童館などにどんな頻度でいっているとか)(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
2歳までの働く親のハードルの高さ。専業なら楽だったけど、自分の生きがいなくなる、悩んでいます。 あとは、こんなに孤独になること、産前のまともな精神状態のときによくパートナーを教育しておかないと辛い目に合う、というのもしらなかつたです(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の時間が想定していたよりも取れない。自分が具合が悪くなったときに、常に保育園を利用しているわけでもないのに預け先もなく医療機関への受診もままならない、というのが想定外、というかそこまで考えたことがなかった。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなにも子供にお金がかかると思っていたかった(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)

共働きだったら家事育児の負担は半々になると思っていたが、女性が一度育休を取ってしまうと女性が育児家事をすることが当たり前になってしまうことは、想定していなかった。負担が大きい。
子育てに関する悩みは相談しようと思ったら、支所や子育て支援センターなどたくさん相談先はあることは知らなかった。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
子を育てていく中で親がここまで自己犠牲が当たり前と気が付かなかった。孤独感も強い。親にも自由と尊厳が必要。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
扶養控除が子供には無いんだと言うこと。子供の医療費は、どの地域に行っても無料だと思っていた。 子供が2人になってより一層お金が出ていくのに、母が時短勤務になるので世帯年収が下がり、物価は上がり続けて、生活が苦しくなっていくのを自治体が見て見ぬ振りし続けるんだと言うこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
自分の時間が持てない(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
仕事をしていない間の孤独感(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
年少扶養控除がないこと。老人より生きていくためのお金がかかるのにありえない。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
<自治体名>はバスが少なくて車がないと移動が大変。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
自ら調べなければならないことが多すぎる。どのタイミングで何を練習すればいいか自分では分かりません。3歳7ヶ月まで自宅保育の予定なので、保育園に通っている子がどんどん自立しているのを見ると焦ります。(スプーン練習や着替え、トイレなど)(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子育てが漠然と大変だとは思っていたけど、こういう大変さがあるんだということ 家の中に危険いっぱいということ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こどもを育てることの責任感と予想以上の楽しさ(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
子供を産んだら子育ての仕方(月齢に合わせた離乳食やミルクの量など)をお医者さんなどに丁寧に教えてもらえるものだと思っていた。実際は自分で調べたり、積極的に相談しなければ情報が得られなかった。定期検診も思っていたより少なくて第一子だったから不安だった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなにも毎日が幸せなこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
こんなに入れる保育園が限られるのかということと、妊娠したら保育園を退園させられること。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
成長や発達について知識を持っていたとしても、理由なくぐずぐずする時もあり、どうしようもない時もある事。(笑) (子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)

夫婦だけの時はとても広い家で一生ここでいいかと思っていたが、子供が育つにつれて、部屋が足りず、引っ越しや家を建てなければならないかもしれないことに気がきました？(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
NHKがとても素敵でそれがないと1人で育児は家事も回らないこと。 旦那の単身赴任の打診。 子育てへかかるお金が、高い高いときいていたものが、すぐに使わなくなってしまうこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
未満児は2人目が生まれたら保育園に通わせれないこと。ありえないと思う。変えて欲しい。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
地域の保育園についてや申し込み方法や制度については知らないことが多かったです。4月入園の申し込みが9月にあることや、下の子の育休中3歳児未満の上の子は退園になることは想定外でした。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
アパートで狭いので外出しないとおもいきり遊べないが、チャイルドシートに嫌がって外出もしにくい 東部に住んでいるので近くでのイベントや催し物が少ないので、親子で参加できない。 1歳2歳向けの親子で参加できる習い事やワークショップをやってほしい(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
物価高の影響もあり、思っていた以上にお金がかかり先が不安。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
夜間預かってもらえる認可園がなくなってしまったことで仕事復帰が難しくなってしまったこと。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
頭では知識として大変だとは分かっていたが、子育ての大変さを実体験として身をもって初めて分かった。 また、子どもの可愛さも同時に体感した。 周りの子育て中の親御さんへ、仲間意識のようなものを持つようになり、声をかけたり、少しでも楽になるように協力したいと強く思うようになった。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
就労予定では、保育園に一次で申し込みもできず、地域によってはほぼ二次の申し込みもできない事(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
他人から声をかけられて見守ってもらっているのだと安心する気持ちになることを知った。(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)

ママ友とランチに行ったりするのを想像していたが、一緒に行く人がいない。 自分の両親はまだ働いているので、平日の日中はずっと子どもと2人で過ごすのがこんなに孤独だとは思わなかった。 子どもといろんな場所に出かけたたりするのを想像していたが、行く場所がない。 <施設名>の産後リフレッシュに行っていたが、1歳になってしまったら年少から対象の教室ばかりで参加できない。 東部地区でのイベントが少ない。 チャイルドシートをいやがるので、乗せるのに30分くらいかかりそれだけで疲れて、外出するのも嫌になる。 自分は両親と祖父母と暮らしていたので5時半頃夜ご飯で、おばあちゃんとお風呂に入っていたが、旦那さんが帰って来たら、ご飯とお風呂になるので子供の寝るのが24時になってしまう。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
行政の動き、活動は全く知りませんでした。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
支援センタープレイルームなど、子ども関連のことは全て初めて知った。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
買い物をすることがこれほどまで大変になるとは思っていなかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
1人であるよりも、赤ちゃんと2人である時の方が孤独感が強いこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
学校行事の多さ(小学校) 産後の自分のメンタル不調 地域と自分、子どもとの関わり(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
こどもを預けることのハードルの高さ こどもや家族が病気や入院になった際の大変さ 産後の自身の肉体的精神的疲労 自身の健康の大切さ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
少子高齢化過ぎて自治会 PTA毎年係やらさせられる本当に嫌(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
ほとんどすべて。イメージでしかなかった(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
年度途中だと保育園入園が極めて難しいこと。選択肢が4月入園だけだと生まれ月によって育休期間が大幅に違ってくるので、0才や1才児ねえ関しては10月入園などの枠を確保するとかできないものか。まわりのお母さんたちは育休期間を逆算して生まれ月まで気にしながら妊活していたりします。2歳児未満の育休退園についても早く改善されないものでしょうか。これがあるために2人目は4歳差以上あけて産まなければという考えが定着しているように思う。(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
待機児童の問題は知っていたが育休退園という問題がある事を知らなかった。また現在住居のある<自治体名>では対応が不十分である事も知らなかった。最優先で解決してほしい。(子どもの父親(1人目)、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)

○自分の作業が全然進まないこと

子どもから目が離せなくて野菜を洗って切るだけなのにこんなに時間かかるのかと驚いた。

○一歳未満は特に死んでしまうんじゃないかと不安が多かったこと

特に大病をしたわけではないが、鼻水が出たり、うんちが水っぽいなどでよく不安になった。寝てる時に死んじゃわないかと不安で夜中をしてくれるのは逆に安心した。

○子どもがすごく可愛いこと

自分と似たような性格だったら好きになれないかもなどと思っていたが、杞憂だった。

○プレイルームが楽しいこと

特に小さい頃は遊ぶせたら良いかと思っていたが、室内遊びが充実してて凄かった。欲を言えば＜地域名＞の児童センターのように幼児車の部屋や図画工作できるようになると嬉しい。（室内で運動できるところがあると最高）

○公園が楽しいこと

自分の小さい頃にはなかった3歳未満専用のエリアがあって、さらにその小さい子用の遊具が備わっていたのには感動した。（子どもの母親（1人目）、20代後半、2歳0か月-2歳5か月）

仕事に復帰しようと前向きに考えている時に、市役所に相談へ行ったが、対応が悪くなく、何をしに行ったのかと残念だった。私だけではなく、多くの人から、そのような話を聞く。初めての子育てで不安がある中で、保育園入園も母たちにとっては大きな不安要素のひとつだと思う。それを解決するために、足を運んでいる人に対して、もう少し丁寧、どの職員も同じ対応、説明ができるようであってほしい。

忙しいことは承知ですが、お願いしたいことです。（子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月）

仕事がこんなにもできなくなる(時間的に)とは、なんとなく分かっていたものの、心理的負担がここまで大きいとは思わなかった。

子どもの事については、自分で情報をとりにいかないと、本当になにも分からないことだらけ。（子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月）

周りとの関係。かなり変わった。子供の保険のこと。（子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月）

妊娠をするまで、不妊で悩んでいる人がこんなにもいるということを知らなかった。

自分もそうだが、そのことで悩まなかった人は知る術がないと思う。

子どもを育ててみて、子どもにつきっきりになることの重要性を実感し、共働きではそれが叶わずそれでも労働人口を増やそうとする世の中の流れに疑問を持っている。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

孤独感はあまりないけど、孤立感はちょくちょく感じた。

お金がかかる！(かけるところ節約していいとこの判別がつきにくい)

寝不足がこんなに辛いとはわからなかった！

リフレッシュ時間の使い方がわからない！(ここぞとばかりに家の片付けやタスクをこなすだけでは疲れるだけだと気づけた)

産後ケアの専門家でさえ「辛い」と言ってもわかってもらえないなんて思わなかった！(デいの予約までドゥーラさんのアドバイスをもらいながら帰省するなどなんとか辛抱強く耐えて、やっとデイにいけて、助産師さんに話を聞いてもらって、彼女の提案で市役所の方にも繋げてもらったのに、うまく支援に繋がらなかった。最終的に助産師からは「私は市役所の人間ではないので」と保身的な発言をされてとても傷ついた。私は自分から市役所に繋げてほしいなんて一言も言っていないのに酷いと思った。結局、産後ドゥーラさんのサービスで乗り切った。文面の都合上詳細には書けないけど、「専門職だから安心して頼れるとも限らない」というのは想定外の事実だった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

子どもの頃からしっかり個性が出ており、子育てに手を焼くことが多いこと。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

ほとんど知らないことばかりでした。子供が新生児からこんなにも夜寝ないとか、母乳はすぐ出るとあってたけど、出ないとか、知識ゼロで産んだので、妊娠中に本読んでおけばよかったと後悔しました。子育て支援センターというものがあることも知らなかったし、働きながら子育てする大変さや保育園の入りにくさとかも、想像以上で、妊娠を機に仕事を辞めちゃうと保育園にすぐ入りにくくなるとか知らなかったです。簡単に仕事を辞めちゃいけなかったなあと後悔しています。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)

二人目を希望していたものの、ただでさえ1人でも大変なのに、果たして自分に育てられるだろうか、姉妹の相性が悪かったら、と色々心配してましたが、姉妹はこんなにも仲が良いものなのかと驚いてばかり(私自身は男兄弟しかいなかった)ので(子どもの母親(2人目以上)、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)

思っていた以上に体調を崩すことが多いこと、また子供との入院は想像以上に大変だったこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

新生児育児の大変さ(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

1歳で保育園に入れてバリバリ働く予定が、全て想像と違うことになった。自分だけの問題ではなくなったこと。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)

子どもがかかる病気、子どもが入院したらどうなるか、上の子と下の子との関わり方、2人いっぺんにお世話する事の大変さ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
下の子が生まれると、上の子が2歳児クラス以下の場合、強制的に保育園を退園しないといけないこと。自分時間を作るのが難しいこと。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
自分のための時間がほぼないこと(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
トイレトレーニング、授乳の終わり方(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
赤ちゃんの睡眠が重要なって知らなかった。出産前に、妊娠中にもっと早く眠育推進協議会の眠育を知りたかった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
これは絶対に妊娠期の方に伝えてほしいのですが、授乳(ミルクも含め)のために3時間おきに飲ませなければいけないという事を、誰からも一切聞いていませんでした。3時間起きに飲ませるためにはほぼ2時間おきに起きなければいけないなんて聞いてない！！！！って本当にびっくりしました。生まれてから知りました。 子供が泣いてなかなか寝られないとかは聞いてたし、想像もしていたのですが、システムチックに3時間おきに飲ませる、本人がほっしていても飲ませる、飲まなかったら体重が減ってとっても大変なことになる、なんて、思ってもいなくて、こんなに寝られないなんて思いもしなくて、本当にしんどかったです。 生まれてすぐから3ヶ月間、飲んでくれなくて体重減って心配で心配で、検索しても不安になるだけで、まとめて寝られないことがこんなに辛いだなんて思いもしなくて…。頭おかしくなるかと思いました。 ぜひ母子手帳を受け取る人に伝えてあげてください。覚悟のために。そして、いっぱい寝られる今、いっぱい寝ておくと伝えてあげてください。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
保育園の育休退園があること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
未満児保育の場合、下の子が生まれると育休中には退園して自宅保育になるとは知らなかった。なんとか幼稚園の満3歳児クラスに入れたから良かったが、入れなかったら生活が成り立たないところだった(子どもの父親（2人目以上）、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
こんなにお金がかかるとは思っていなかった。また、＜自治体名＞はこどもや教育にお金をかけているイメージなのに小児科が少なく、どこも混んでいて不便。小児科へのアクセスを良くしてほしい。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
産後の身体の状態(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
思ったより家事ができない。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
家族に対してとてもイライラしてしまう事。悲しいけれど夫や夫の家族はあまりあてにならない事。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
子どもが、1人が2人になったときは大変だと思ったが、次に子どもが産まれても上の子ども同士が遊んでいて焼きもち焼かれずに済んだこと(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
母体にかかる負担と相談、医療機関について。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)

1人目は里帰り出産で、2人目が＜自治体名＞で出産。2人目の妊婦健診、入院費が1人目と比べて予想より高くて負担になった。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
ずっと見てないといけないし付きっきり。 好きな時にご飯が食べれない。 時間との勝負。(子どもの母親（1人目）、20代前半、1歳0か月-1歳5か月)
特になし。全て想定内。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園も祖父母が面倒を見てくれることを前提で行事を開催したりすること。 私は夫も親も頼らないので、保育園の行事で下の子を連れて行ってはいけない、と言われると預け先がなく困る。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育てをしながらの食事作りがこんなに大変だとは思わなかった(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)
子供が月に1回は体調を崩し、その度に会社を休むので、自分の体調不良の際、有給の残りを気にして治っていなくても出勤しないとならない。(子どもの母親（1人目）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月)
子どもの検診の頻度が低くて驚きました(子どもの母親（1人目）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
想定していなかった、知らなかったことだらけです笑 産後3ヶ月後、持病の悪化で育てるのも大変だったこともそうですが、子育て自体、とてもハードなこと、メンタル、精神力共に、とても使うこと、でも鍛えられること笑などです。 子育て支援センターが、本当に素晴らしくて、こんなにも素晴らしい機関があるとは、全く知らなかったです！(子どもの母親（1人目）、40代前半、3歳0か月-3歳11か月)
子供が頻繁に風邪をひくため有給休暇がすぐに無くなる 学童に比べて保育園のほうが預けられる時間が長いにも関わらず、時短が取れるのが未就学児までの企業が多いこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、4歳0か月-4歳11か月)
子供の習い事、病院を探すのが大変。（情報が出てこない） コロナにより下の子とやりたかった事（ハイハイレース参加など）行きたかった場所、習い事が全て出来なかった。 ＜自治体名＞待機児童ゼロとなっているが実際は隠れ待機児童が多数いる事を市は知らないのかな？保育園入園が大変だった。(子どもの母親（2人目以上）、40代前半、4歳0か月-4歳11か月)
頻回授乳しないと、胸が張って痛いこと。そのため、長時間寝れず辛いこと。母乳育児の大変さは、想定していなかった。(子どもの母親（1人目）、20代後半、0歳0か月-0歳5か月)
授乳のつらさ、出産後のタイムスケジュール、母体の体調面のつらさ、出費(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)

知らないことだらけでした。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
自分は元来子供が苦手で、子供がいる生活をしている人にもとても冷たかったと思います。 子供が生まれて、知らない人に、親切にしてもらえたり、子供を褒めてもらえたりする事が、こんなにもありがたいということを痛切に感じています。そして反省しています。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)
可愛さも大変さも想像以上だった(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
想像以上に寝ない。どこでも寝ると思っていたらベッドでしか寝ないことに驚いた。 また大人並みに食べること。離乳食期なので、大人と同じ食事というわけにはいかず一日中食事の心配や準備をしている気がする。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
小児科の救急病院がない。土日祝やってる病院少なすぎる。(子どもの母親（1人目）、40代前半、0歳6か月-0歳11か月)
こんなに公園や児童館や支援センターとか子育てに関するモノがこんなに地元にあるなんて知らなかった(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
毎日お世話する大変さ(子どもの父親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
4ヶ月から保育園を利用させて頂いているのですが、子供がすぐに風邪をもらってくるのと、それが親に強力になって移ることが知識としては知っていましたが、いざ体験するとかなりしんどいです。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子育て事業全般(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
イヤイヤ期が想像以上に激しかったこと。 トイトレの難しさがここまでとは思わなかったこと。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
孤独を感じる事、食事補助が大変なこと、寝る時間をたくさんとれないこと(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
産後3ヶ月間の大変さ。 友人や親族、夫に相談しても「母親は笑顔でいなきゃいけない」、「子育てを楽しんでね」と言われ母親はこうあるべき、辛いことを吐き出してはいけないという圧がとにかく苦しかった。 そのため、街中で小さいお子さんを連れているママを見ると大変ですね、眠れないけどもう少しで楽になるから頑張ってくださいと寄り添う声かけするようになった 自治会で相談会があることは知っていたが顔を見ると言いたいことを控えてしまうので、ネット上の掲示板があるといいなと思った(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳6か月-1歳11か月)
時間的制約、仕事との両立の大変さ 病児保育の少なさ、住んでる自治体により受けられるサービスに違いがあること、民間事業も提供範囲が都心の方が充実してること(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
体調が悪い中の育児家事が思っていた以上につらいこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、2歳0か月-2歳5か月)

一時保育先を探していた時、アレルギーがあるためなかなか入園が難しかったこと。特にそのような記載もなく、電話の時には言われず、面接をした時に言われてとても悲しい思いをしました。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
新米ママの会など、初めて子育てをするママのためのサポートが充実していることを知らなかった。また、思っていた以上に児童館などのイベントが多く、育休中は退屈せず市内を周ることができた。(子どもの母親(1人目)、30代後半、2歳6か月-2歳11か月)
実家に息抜きに帰りたいが、パパに理解して貰えない(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳6か月-2歳11か月)
0歳をあずけることができる保育園が意外と少なく、時短の給料-保育料と育休延長の手当と手取りが変わらないこと(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
出かけると他の子どもに目がいくようになり世の中にはこんなに子育て世帯が多いのかと思った。公園や出かけ先でキラキラ見えていたファミリーも家事や育児をみんな頑張ってるんだと思った。 お金も必要だけど体力も要るということを痛感しています。(子どもの母親(1人目)、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
ちょっと考えればわかることだけど、子どもがいるだけで、自分の時間がこんなに制限されると思わなかった。子どもとの時間は楽しいけど、一人の時間も必要だと感じる。(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
買い物や外食など、気を遣わないといけない機会や拘束される時間が思っていた以上だった(子どもの母親(1人目)、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)
ずいぶん前のことになりますが、産まれて数ヵ月でうつ伏せの練習をしてもよいということを知らず、驚きました。また、授乳のために寝不足になることや、テープのオムツからパンツ型のオムツへの移行時期や、離乳食の内容や段階、幼児食やオヤツ、歯の生え方や歯磨きの仕方、こどもの肌着の種類などについても初めて知ることや考えることが多く、やってみないと分からないなあと思いました。子育ては親や学校から教わる機会の無い内容がたくさんあるので、その時々で目の前の子どもに合わせて試行錯誤しながらやっていくところが面白くもあり、大変なところでもあるのかなと思いました。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
支援施設がこんなふうにあるということ。妊娠中でも利用できると出産後に知って、もう少し早く知りたかった。(子どもの母親(1人目)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
高齢での子育ての過酷さ(子どもの母親(2人目以上)、40代前半、2歳0か月-2歳5か月)
市内の幼稚園に入れるのに苦労すると思ってなかった(子どもの母親(1人目)、30代前半、2歳6か月-2歳11か月)
帝王切開で産んだこと、生後5ヶ月現在で思ってたよりも辛くなかった、子供と2人で買い物をするのが少し億劫・ドライブスルーのありがたみ(子どもの母親(1人目)、30代前半、0歳0か月-0歳5か月)
保育園に申し込むのに1、2号、3号と条件や申込が違うことをしらなかった。 かわるがわる子どもが病気になり、仕事との両立の困難さは予想以上だった。(子どもの母親(2人目以上)、30代後半、0歳0か月-0歳5か月)

おもつにしたうちはトイレに流すこと。(子どもの母親（1人目）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
月齢が大きくなってから寝なくなった事(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
自分の時間がなくなる事 テレビを観る時間や余裕がない事 子どもの風邪や病気が親にも伝染するという事(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
正期産だったが低体重児として産まれた子どもの喉頭軟化症という病気。成長とともに改善するものの、インターネットなどでも情報が少なく困った。保育園には看護師のいる園もあるということ。(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
保育園の事(子どもの母親（1人目）、30代後半、0歳6か月-0歳11か月)
子供と一緒にでかけるには出先でオムツを取り替える設備が整っていないととても苦勞するということを感じました。オムツの交換台がある。捨てるゴミ箱まである。子供ができるまではあってもなくても気にしないところでした。ママになった今そんな設備が備わっている所に行くと、当たり前と思わず感謝の気持ちが込み上げてきます。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、0歳6か月-0歳11か月)
子育てと家事と仕事のバランス(復職前で不安)(子どもの母親（1人目）、40代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供が生まれる以前の妊娠中のことになりますが、妊娠がこんなに辛いなんて！と何度も思いました。妊娠前にもう少し予備知識があれば心構えもできたのと思わずにはいられませんでした。(子どもの母親（2人目以上）、30代前半、1歳0か月-1歳5か月)
子供との関わり方。アンガーマネジメントの難しさ(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
外出、旅行などが想定していたより大変だということ。(子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳0か月-1歳5か月)
保育園に入れる大変さ。(子どもの母親（1人目）、20代後半、1歳6か月-1歳11か月)
外出する時の道の段差や下り坂、ポイ捨てのゴミ、歩道の広さなど道路環境が大切になることを知った(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
<自治体名>には病児保育がないこと、ファミサポのお願いする人は地域によっていないこともあることをしらず、意外とハードルが高かった。けど<自治体名>には社会福祉協議会の催しなど穴場子育て支援やあったり、穴場の公園があるのはラッキーだった。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
現在育休中ですが、自宅保育もかなり大変だと思った。発達も育児書通りにはいかず、個人差が大きいと分かるが、不安も感じている。(子どもの母親（1人目）、30代前半、1歳6か月-1歳11か月)
家の中の危険を想定して対策しても、子どものほうが上手だったりする(子どもの母親（1人目）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月)

仕事と家事育児の両立が思っていたよりも大変だった。

お金が想像以上に掛かる。（出産前は普通に母乳が出ると思っていたが、中々出なくてミルクに頼る事になり、ミルク代が掛かった）

保育園に通ってから色々な感染症を貰ってきてしまい仕事を休まないと行けない事が多くなる。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、1歳6か月-1歳11か月）

自分1人になれる時間がほぼない。子どもは可愛いが、時には1人でゆっくりしたり、自由な時間がほしいと思ってしまう。（子どもの母親（2人目以上）、30代後半、2歳0か月-2歳5か月）

病児保育と病後児保育の二種類があること。私は＜地域名＞在住ですが、近くに病児保育がなく、困った経験をしたことがあります。（子どもの母親（1人目）、40代前半、2歳6か月-2歳11か月）